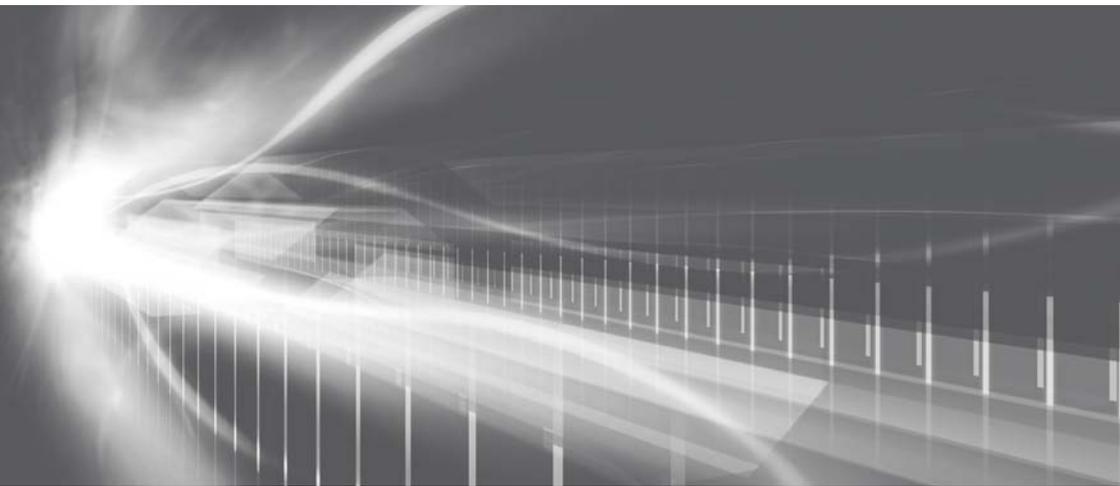




# トヨタ ウェルキャブシリーズ



## ウェルキャブ 車いす仕様車(スロープタイプ) 取扱書

よくお読みになってご使用ください。  
取扱書は車の中に保管しましょう。

# SIENTA





イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 シート・室内装備

シート・室内装備に関する説明

3 車いすの車内外への  
乗り降り

スロープを使用して車いすに乗ったままでの車内外への乗降、車いすの車内での固定・解除に関する説明

4 お手入れのしかた

ウェルキャブ装備のお手入れに関する説明

5 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

6 点検・整備項目

定期点検整備についての説明

さくいん

症状から検索

五十音で検索

イラスト目次 .....	4
本書の見方 .....	12

## 1 安全・安心のために

### 1-1. 安全なドライブのために

車いすの車内外への乗降について.....	14
車いすの固定およびシートベルトの着用について.....	21
車両火災・故障・損傷を防ぐために.....	24

## 2 シート・室内装備

### 2-1. シート

シートの構成および標準車との相違点.....	28
専用助手席シート（タイプⅡ）.....	30
専用セカンドシート.....	36

### 2-2. 室内装備

ハンドグリップ.....	44
夜間照明灯.....	45
収納装備一覧.....	46

## 3 車いすの車内外への乗り降り

### 3-1. スロープを使用する前に

ご使用前に確認していただきたいこと.....	50
スロープ使用前の準備・作動条件の確認.....	60

### 3-2. 車いすの車内外への乗降・固定

操作の流れ： 2 列目位置への乗降・固定 ...	62
操作の流れ： 1.5 列目位置への乗降・固定（タイプⅡ）.....	66
車高降下装置.....	70
手動スロープ.....	76
車いすの車内外への乗降・固定：2 列目位置.....	83
車いすの車内外への乗降・固定：1.5 列目位置（タイプⅡ）.....	99
車いす用シートベルト.....	111
走行する前に（2 列目位置）.....	120

## 4 お手入れのしかた

### 4-1. お手入れのしかた

手動スロープの清掃.....	122
ベルトの清掃.....	124
車いす固定装置の清掃.....	125

### 4-2. 簡単な点検・部品交換

ガレージジャッキ.....	126
---------------	-----

## 5 万ーの場合には

### 5-1.パンクしたときは

タイヤパンク 応急修理キット.....	130
ジャッキ.....	131

### 5-2.故障かな?と

#### お考えになる前に

ヒューズの交換.....	133
車高降下装置が 作動しないときは.....	136
セーフティベルトが 引き出せない・後退防止作動 しないときは.....	137
車いす固定装置が 作動しないときは.....	138

### 5-3.緊急時の対処法

けん引されるときは.....	139
----------------	-----

## 6 点検・整備項目

### 6-1.点検・整備項目

定期点検整備.....	142
-------------	-----

## さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	146
五十音順さくいん.....	152

本書はウェルキャブ 車いす仕様車（スロープタイプ）の装備について記載しています。

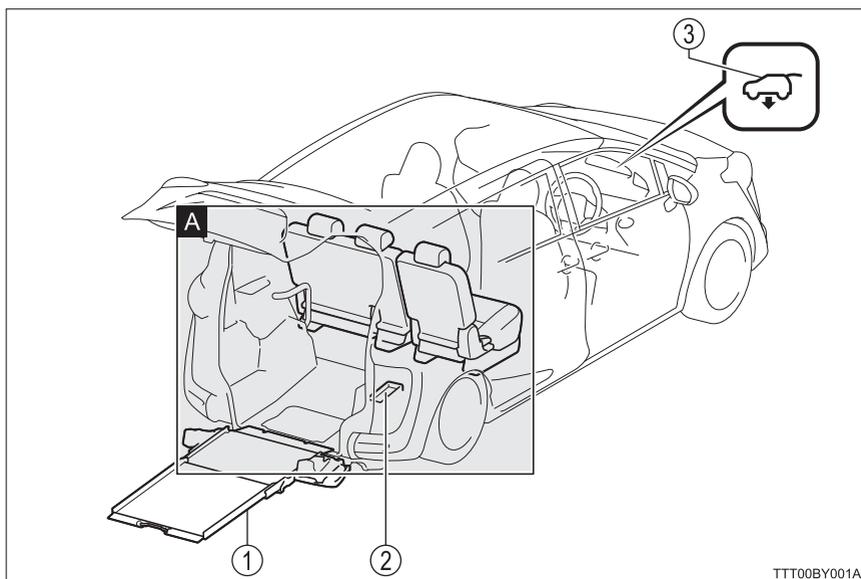
車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊の標準車取扱書をお読みください。

ただし、ウェルキャブ装備により、お車と標準車取扱書の仕様や機能が一致しない場合がありますのでご了承ください。

タイプⅢに装備される助手席回転チルトシートの取り扱い方法や注意事項などは、別冊のウェルキャブ 助手席回転チルトシート車取扱書をお読みください。

# イラスト目次

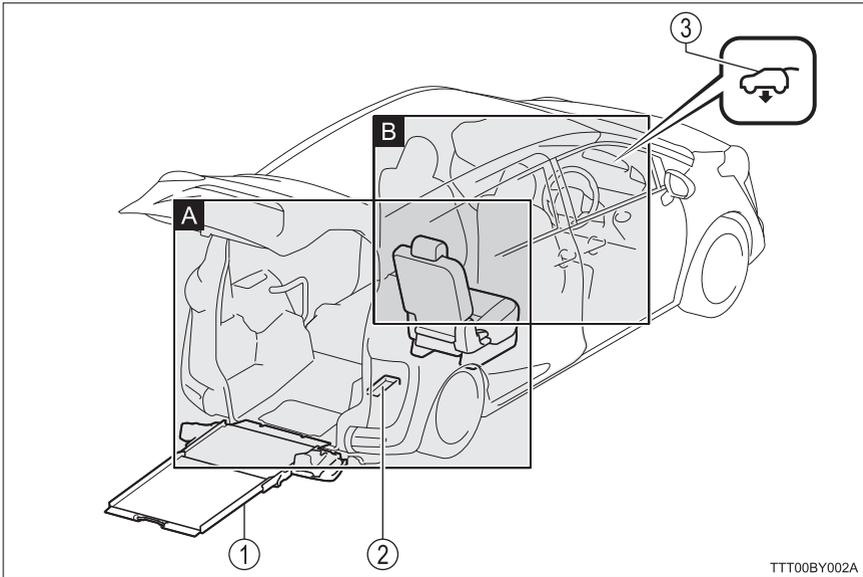
## ■ タイプ I



TTT00BY001A

- ① 手動スロープ
  - 展開 ..... P.76
  - 格納 ..... P.77
  - 手動スロープ前倒れ機能 ..... P.78
  - 清掃 ..... P.122
- ② 停止表示板収納スペース ..... P.47
- ③ 車高調整インジケーター ..... P.70
- A** 車内中央～後部 ..... P.8

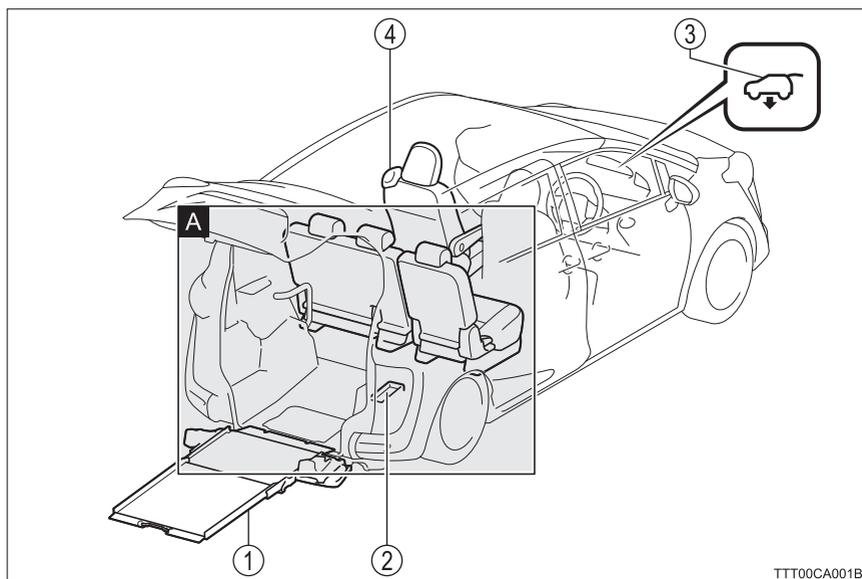
## ■ タイプⅡ



TTT00BY002A

- ① 手動スロープ
  - 展開 ..... P.76
  - 格納 ..... P.77
  - 手動スロープ前倒れ機能 ..... P.78
  - 清掃 ..... P.122
- ② 停止表示板収納スペース ..... P.47
- ③ 車高調整インジケータ ..... P.70
- A** 車内中央～後部 ..... P.8
- B** 1.5列目位置 (タイプⅡ) ..... P.10

## ■ タイプⅢ



TTT00CA001B

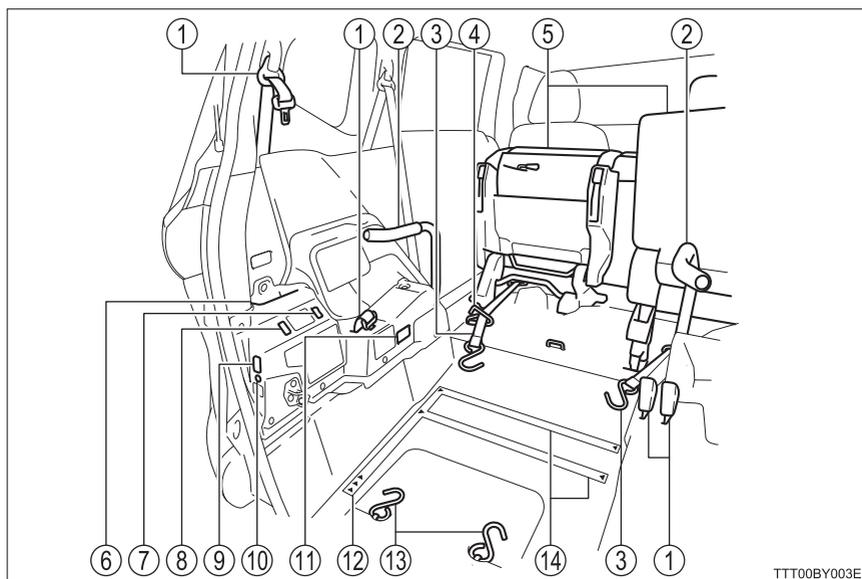
- ① 手動スローブ
  - 展開 ..... P.76
  - 格納 ..... P.77
  - 手動スローブ前倒れ機能..... P.78
  - 清掃 ..... P.122
- ② 停止表示板収納スペース ..... P.47
- ③ 車高調整インジケータ ..... P.70
- ④ 助手席回転チルトシート\*
- A** 車内中央～後部 ..... P.8

\*：別冊「ウェルキャブ 助手席回転チルトシート車取扱書」を参照してください。





## A 車内中央～後部



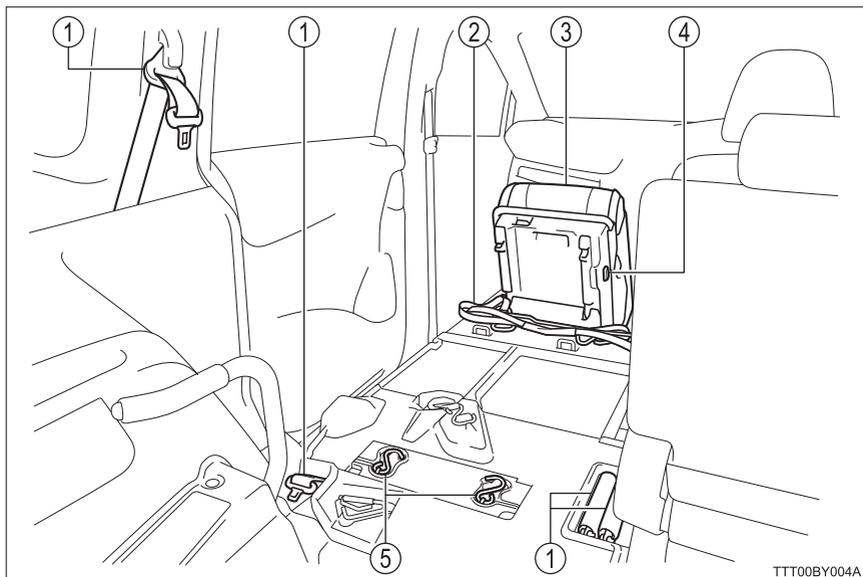
イラストはタイプ I “助手席側セカンドシート付”

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| ① 車いす用シートベルト (2列目用) ..... | P.111 |
| 着用 .....                  | P.112 |
| はずし方 .....                | P.117 |
| 清掃 .....                  | P.124 |
| ② ハンドグリップ .....           | P.44  |
| ③ セーフティベルト                |       |
| 作動条件 .....                | P.60  |
| 車いすの車内への乗り入れ .....        | P.84  |
| 車いすの車外への降車 .....          | P.90  |
| 清掃 .....                  | P.124 |
| 作動しないときは .....            | P.137 |
| ④ セーフティベルトガイド .....       | P.85  |

⑤ 専用セカンドシート※	
調整	P.36
折りたたみ	P.37
ISOFIX ロアアンカレッジ	P.41
トップテザーアンカレッジ	P.41
⑥ セーフティベルト仮置きボックス	P.91
⑦ 後退防止スイッチ	P.86
作動条件	P.60
作動しないときは	P.137
⑧ 車いす固定装置スイッチ (2列目用)	P.88
作動条件	P.60
作動しないときは	P.138
⑨ 車高調整スイッチ	
作動条件	P.60
車高降下	P.70
車高復帰	P.71
作動しないときは	P.136
⑩ 車高降下装置異常ランプ	P.73
⑪ 夜間照明灯	P.45
⑫ 車いす誘導線	P.87
⑬ 車いす固定装置 (2列目用)	
作動条件	P.60
車いすの固定	P.88
車いすの固定解除	P.90
清掃	P.125
作動しないときは	P.138
⑭ 車いす固定目安線	P.87

※：タイプⅠ“助手席側セカンドシート付”／タイプⅢ“助手席側セカンドシート付”は運転席側・助手席側セカンドシートが装備されます。  
 タイプⅠ“助手席側セカンドシート無”／タイプⅡ／タイプⅢ“助手席側セカンドシート無”は運転席側セカンドシートのみ装備されます。

## B 1.5 列目位置 (タイプII)



① 車いす用シートベルト (1.5 列目用) .....	P.111
着用 .....	P.115
はずし方 .....	P.118
清掃 .....	P.124
② フロント固定ベルト (1.5 列目用)	
長さ調整 .....	P.99
サポートバー .....	P.102
車いすの固定 .....	P.102
車いすの固定解除 .....	P.104
清掃 .....	P.124
③ 専用助手席シート	
調整 .....	P.30
折りたたみ .....	P.31
④ 車いす固定装置スイッチ (1.5 列目用) .....	P.103
作動条件 .....	P.60
作動しないときは .....	P.138

**⑤ 車いす固定装置（1.5列目用）**

作動条件 .....	P.60
車いすの固定 .....	P.101, 103
車いすの固定解除 .....	P.104, 105
清掃 .....	P.125
作動しないときは .....	P.138

## 本書の見方



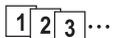
**警告**

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



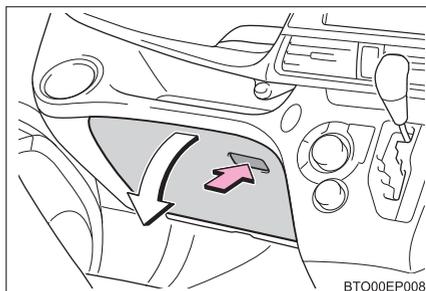
**注意**

お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

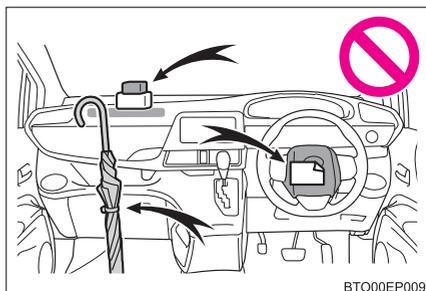
- ➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。
- ➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



BTO00EP008

- ➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

- ⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



BTO00EP009



**知識**

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

### ■ 車いすについて

本書では車いすについて、次のように定義しています。

普通車いす	リクライニング機構付車いす	小児用車いす
背もたれ角度調整不可の汎用車いす	背もたれ角度調整可能な車いす	お子さま用車いす

## 安全・安心のために

～必ずお読みください～

### 1

#### 1-1. 安全なドライブのために

車いすの車内外への 乗降について.....	14
車いすの固定およびシート ベルトの着用について.....	21
車両火災・故障・損傷を 防ぐために.....	24

## 車いすの車内外への乗降について

- 本書におけるウェルキャブ 車いす仕様車（スロープタイプ）の操作はすべて介助の方が行ってください。
- この項目では、スロープおよびセーフティベルト（2列目位置乗車時のみ）を使用しての車内外への乗降について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

### 警告

#### ■ウェルキャブ 車いす仕様車（スロープタイプ）の操作をするときは

操作はすべて介助の方が行い、車いす乗車の方に合図し、安全に十分注意しながら行ってください。

- 車いす乗車の方が操作すると、手足を挟まれたり、車いすがスロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 急に車いすの乗降を行うと、車いすが転倒するおそれがあり危険です。（車いすを車外に降ろすときは特にご注意ください）
- 車内を移動するときは、車いす乗車の方の手足や腕がシートなどに挟まれないように注意してください。



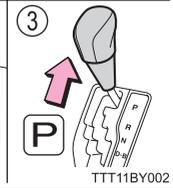
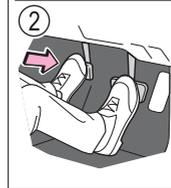
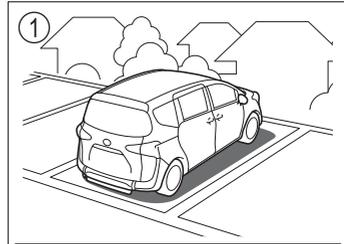
TTT11BY001



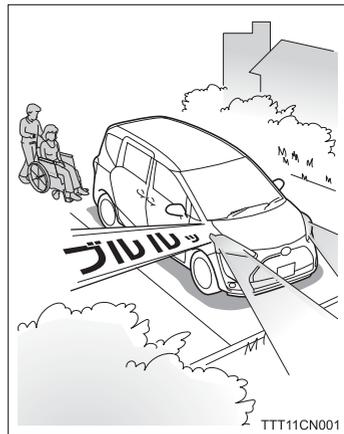

**警告**
**■スロープを使用する前に**

- 安全で平坦な場所に駐車してください。交通量の多い道路や狭いところ、不整地や傾斜地でスロープを使用すると、思わぬ事故や車両の損傷につながるおそれがあり危険です。

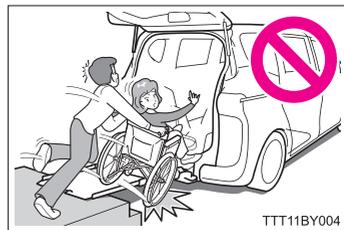
- ① 安全で平坦な場所に駐車する
- ② パーキングブレーキを確実にかける
- ③ シフトレバーをPの位置にする



- 乗降するときはヘッドランプを点灯および非常点滅灯を点滅させ、周囲へ注意をうながしてください。
- 車高降下装置を使用するときは、エンジンをかけた状態にしてください。エンジン停止状態では車高降下装置は作動しません。



- 階段や段差を利用して車いすの乗り入れをしないでください。段差を利用すると車いすがスロープから転落したり、スロープが段差からはずれて破損するなど、重大な事故につながるおそれがあり危険です。



## 警告

- 可燃物付近に駐車しないでください。  
車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると、火災になるおそれがあり危険です。  
スロープ使用時、車高降下により排気管の位置が大きくなり下がりますので、特にご注意ください。



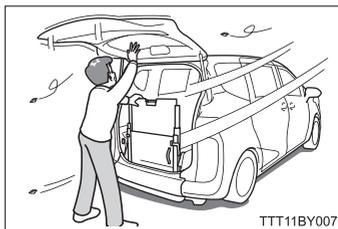
TTT11BY005

- 悪天候時、スロープを使用するときは、すべりやすくなりますのでご注意ください。  
風の強い場所や風雨の強い日、降雨時や降雪時などは特に注意してください。



TTT11BY006

- 強風時、バックドアが閉まることがあります。  
バックドアが頭にあたるおそれがありますので、注意してください。



TTT11BY007

## 車高を下げる前に

車両周辺・下側、バックドア下側や後輪付近に人や突起物がないことを確認してください。

車両後部の車高が下がるため（バックドアも車高に合わせて下がります）、頭を打ったり、手足を挟むなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

また、車両を損傷するおそれもあります。



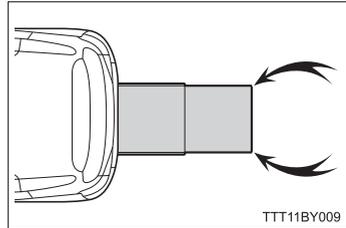
TTT11BY008

- 不測の事態により車高降下を途中でやめたいときは、作動途中で車高調整スイッチの「上」「下」どちらかを押し、車高降下が停止します。

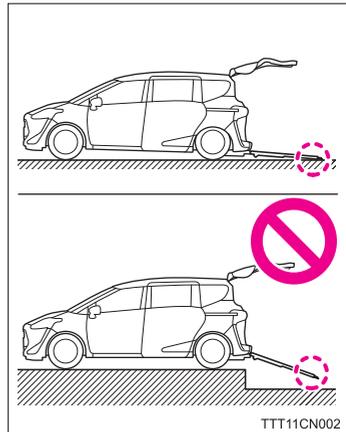
## 警告

### ■ スロープに車いすを乗降するときは

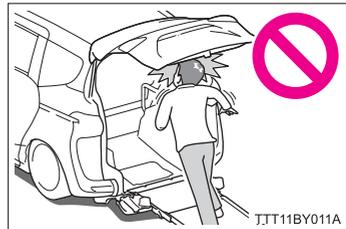
- スロープに乗降するときは、足元および車いすの車輪がスロープ端部より出ないように注意してください。スロープ端部より出ると、スロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 車高降下装置による車高降下およびスロープ展開完了後、スロープ先端が完全に接地していることを確認してください。段差やスロープ下部にものがあたるなどにより、スロープ先端の接地が不十分な状態で乗降すると、介助の方が足を踏みはずして転倒したり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、スロープが破損するおそれもあります。



- 頭上の安全を確認しながらゆっくり乗り入れ、頭をバックドアやドア開口部にあてないように注意してください。

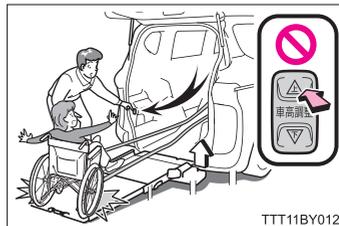


## 警告

- 不要なスイッチ類の操作およびシフトレバーを操作しないでください。装置の不意な作動により、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ▶ 車高調整スイッチの「上」を押した場合

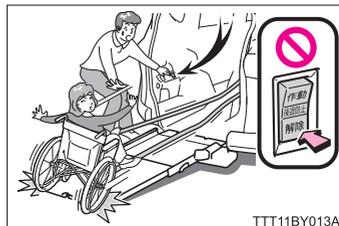
車高が復帰するため、スロープの角度が変わります。



TTT11BY012

### ▶ 後退防止スイッチの「解除」を押した場合：2列目乗車時

後退防止作動が解除されます。



TTT11BY013A

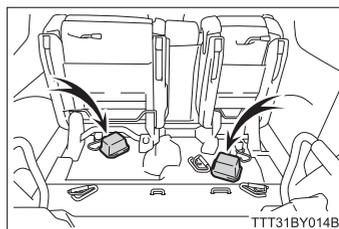
### ▶ 車高降下中にシフトレバーをP以外の位置にした場合

車高が自動復帰するため、スロープの角度が変わり、車いすが転落するおそれがあります。

## ■ 車内を移動するときは

足元に注意してください。セーフティベルトのカバーが出っ張っているため、車内を移動するときにつまずいて転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあります。

(イラストはタイプ I “助手席側セカンドシート付”)

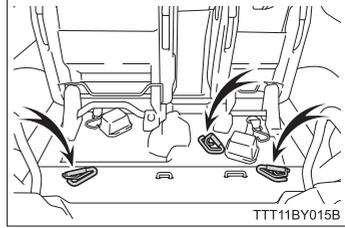


TTT31BY014B

## 警告

### ■ セーフティベルトガイドについて（2列目位置乗車時）

- 車いすを2列目位置に乗り入れるときは、乗り入れる車いすの種類および運転席側セカンドシートの状態に合った位置のセーフティベルトガイドを使用してください。（→ P.85）  
誤った位置のセーフティベルトガイドを使用すると、車いす前側の十分な固定力が確保できず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- セーフティベルトガイドを使用しないときは、セーフティベルトガイドを必ず車両後方に倒してください。  
セーフティベルトガイドを立てたままにしておくと、車内を移動するときにつまずいて転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



### ■ 助手席側スライドドアを開けて車内外に乗降するときは

足元に注意してください。  
ステップの端に足をのせると、足を踏みはずし、転倒したり車両から転落するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



### ■ 車内後部のカバーについて

車内後部のカバーの上に乗ったり、座ったりしないでください。

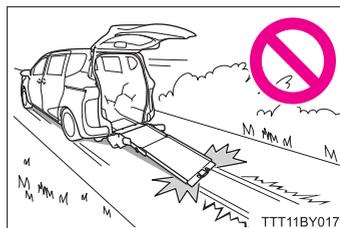
- カバーから転落してけがをするおそれがあります。
- カバーの中には装置の作動をコントロールする機器が設けてあります。過度な力が加わるとカバーの破損や機器の故障の原因になります。



**警告****■ 走行するときは**

スロープを展開したまま車を移動させないでください。

スロープを展開したまま車を移動させると、スロープの損傷やスロープおよびバックドアが車外の人やものにあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



## 車いすの固定およびシートベルトの着用について

車内に乗車後の車いすの固定およびシートベルトの着用について、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

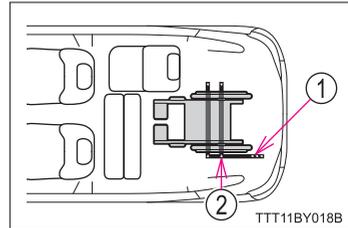
### 知識

#### ■ 車いすの停止位置について

▶ 2列目位置：普通車いす（→ P.12）

- ① 左右位置：床面の車いす誘導線に車いす左後輪を合わせる
- ② 前後位置：車いす固定目安線（後）と車いすの後輪中央が合う位置に停止させる

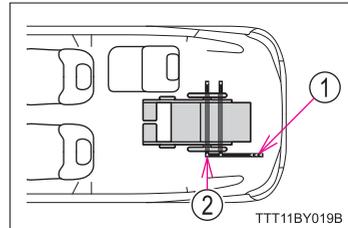
車いすの車内への乗り入れ方（→ P.84）



▶ 2列目位置：リクライニング機構付車いす（→ P.12）

- ① 左右位置：床面の車いす誘導線に車いす左後輪を合わせる
- ② 前後位置：車いす固定目安線（前）と車いすの後輪中央が合う位置に停止させる

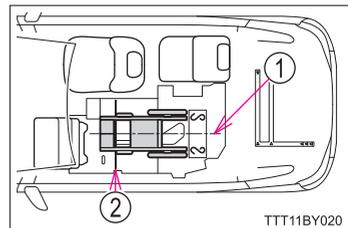
車いすの車内への乗り入れ方（→ P.84）



▶ 1.5列目位置（タイプⅡ）

- ① 左右位置：車いす固定装置と車いすの中央付近を合わせる
- ② 前後位置：車いすの前輪が専用助手席シートの床面ロック手前の車止めにあたる位置に停止させる

車いすの車内への乗り入れ方（→ P.100）



**警告****■ 走行前の車いす固定状態の確認**

走行前に車いすが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、走行中に車いすが動きだし、転倒したり車いすが損傷するなど重大な事故につながるおそれがあります。

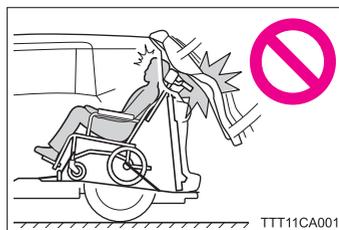
- セーフティベルトの固定状態を確認するときは、ベルトを強く引っ張り、ベルトが確実に巻き締まっていることを確認してください。
- 車いす固定装置での車いすの固定状態を確認するときは、車いすを前後にゆすり、ワイヤーにたるみがなく、確実に固定されていることを確認してください。(→ P.89)

**■ バックドアを閉めるときは：2列目位置乗り入れ時**

バックドアが車いす乗車の方および車いすにあたらないことを確認しながら、ゆっくり閉めてください。

バックドアが車いす乗車の方の頭にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあります。

また、車いすおよびバックドアが破損するおそれもあります。

**■ 車いすのタイヤ空気圧について**

車いすのタイヤが適正な空気圧でないと、車いすを固定する力が弱くなり、車いすを確実に固定することができません。お使いの車いすの取扱説明書を参照し、適正なタイヤ空気圧に調整してください。



## 警告

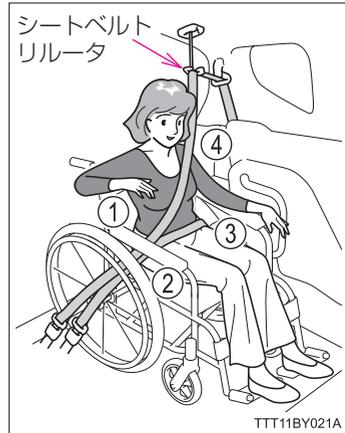
### ■ 車いす乗車の方のシートベルト着用確認

走行中は必ずシートベルトを正しく着用してください。

正しく着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ▶ 2 列目位置

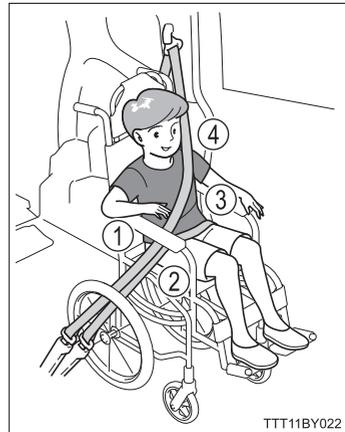
- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② アームレストの下とスポークのあいだを通す
- ③ 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる  
腰部ベルトがねじれがないようにしてください。
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける  
・ 首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。(このようなときは、シートベルトリルータを使用してください→ P.113)  
・ 肩部ベルトがねじれがないようにしてください。



TTT11BY021A

#### ▶ 1.5 列目位置 (タイプII)

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② アームレストの下とスポークのあいだを通す
- ③ 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる  
腰部ベルトがねじれがないようにしてください。
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける  
・ 首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。  
・ 肩部ベルトがねじれがないようにしてください。



TTT11BY022

## 車両火災・故障・損傷を防ぐために

車両火災・故障・損傷を防ぐために、必ず守っていただきたいことをまとめてあります。

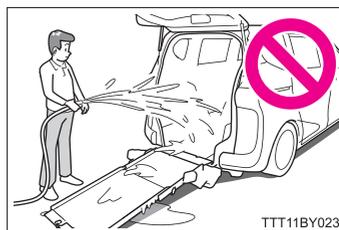
### 警告

#### ■ 清掃するときは

車内を水洗いしないでください。電気部品に水がかかると、故障の原因になったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。

万一、電気部品に水がかかってしまった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

手入れ、清掃のしかたは、装置により異なります。「4-1. お手入れのしかた」(→P.122)を参照し、正しく手入れ、清掃をしてください。



### 注意

#### ■ スロープおよびセーフティベルトについて

セーフティベルトを使用して車いす以外のものを車内外に出し入れしたり、耐荷重200kg(車いす+車いす乗車の方+手荷物+介助の方の合計重量:スロープ先端接地時)をこえないでください。

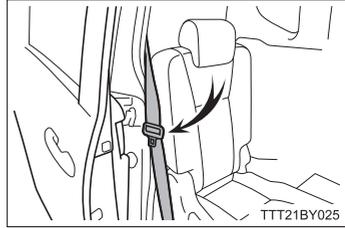
スロープは車いすの乗り降り専用です。荷物を載せたり耐荷重をこえるとスロープが損傷したり、セーフティベルトの後退防止機構が故障するおそれがあります。



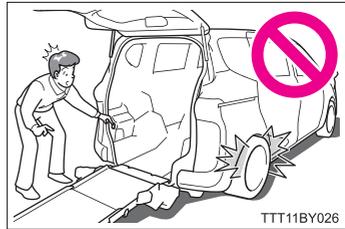
**⚠ 注意****■ 運転席側セカンドシートに乗車するときは**

スライドドアを閉める前に、シートベルトのプレートが車内に収まっていることを確認してください。

シートベルトのプレートが車外に出た状態でスライドドアを閉めると、シートベルトのプレートをスライドドアに挟み、シートベルトおよびスライドドアを破損するおそれがあります。

**■ タイヤ交換をするときは**

装着されているタイヤサイズ以外のタイヤを装着しないでください。





## シート・室内装備

# 2

### 2-1. シート

シートの構成および 標準車との相違点 .....	28
専用助手席シート (タイプⅡ) .....	30
専用セカンドシート .....	36

### 2-2. 室内装備

ハンドグリップ .....	44
夜間照明灯 .....	45
収納装備一覧 .....	46

## シートの構成および標準車との相違点

標準車のシートと本車両のシートの相違点をまとめてあります。

この項目に記載されていない使用方法（シートベルトの着用やチャイルドシートの取り付けなど）は、標準車取扱書を参照してください。

タイプⅢに装備される助手席回転チルトシートの使用方法は、別冊の「ウェルキャブ 助手席回転チルトシート車取扱書」を参照してください。

### フロントシート

車両タイプ		シート構成
タイプⅠ	助手席側セカンドシート付	運転席・助手席ともに標準車と同様
	助手席側セカンドシート無	
タイプⅡ		運転席は標準車と同様、助手席は専用助手席シート（シートスライド+リクライニング+タンブル機構付）（→P.30）
タイプⅢ	助手席側セカンドシート付	運転席は標準車と同様、助手席は助手席回転チルトシート（シートスライド+リクライニング機構付）※
	助手席側セカンドシート無	
（参考）標準車		シートスライド+リクライニング+運転席シート上下アジャスター付

※：別冊「ウェルキャブ 助手席回転チルトシート車取扱書」を参照してください。

## セカンドシート

車両タイプ		シート構成
タイプⅠ	助手席側セカンドシート付	専用セカンドシート (7 : 3 分割、シートスライド+リクライニング+タンブル機構付) (→ P.36)
	助手席側セカンドシート無	専用セカンドシート (運転席側 1 人用シートのみ、シートスライド+リクライニング+タンブル機構付) (→ P.36)
タイプⅡ		
タイプⅢ	助手席側セカンドシート付	専用セカンドシート (7 : 3 分割、シートスライド+リクライニング+タンブル機構付) (→ P.36)
	助手席側セカンドシート無	専用セカンドシート (運転席側 1 人用シートのみ、シートスライド+リクライニング+タンブル機構付) (→ P.36)
(参考) 標準車		5 : 5 分割セカンドシート (シートスライド+リクライニング+タンブル機構付)

## サードシート

車両タイプ		シート構成
タイプⅠ	助手席側セカンドシート付	
	助手席側セカンドシート無	
タイプⅡ		なし
タイプⅢ	助手席側セカンドシート付	
	助手席側セカンドシート無	
(参考) 標準車		5 : 5 分割サードシート (リクライニング+ダイブイン格納機構付)

## 専用助手席シート (タイプII)

### シートの調整

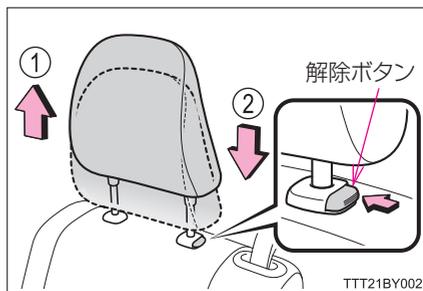


TTT21BY001

- ① 前後位置調整 (スライドレバー)
- ② リクライニング調整 (ストラップ)

### ヘッドレストの調整

- ① 上げる
- ② 下げる  
下げるときは、解除ボタンを押しなが  
ら操作します。



TTT21BY002

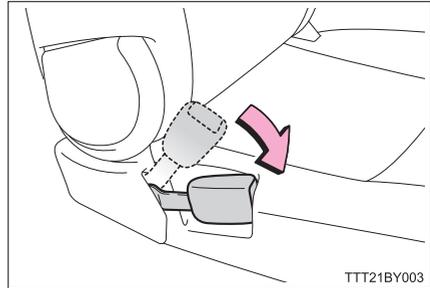


## 専用助手席シートの折りたたみ

車いすを 1.5 列目位置まで乗り入れ・固定するときは、専用助手席シートを前方に折りたたみます。

### ■ 折りたたみ方

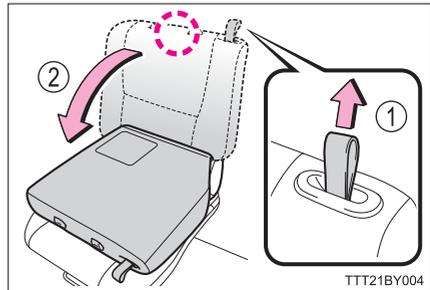
- 1 車を安全で平坦な場所に停止させ、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーを P の位置にする
- 2 シートベルトバックルを格納する



- 3 専用助手席シートのヘッドレストを取りはずす (→ P.33)

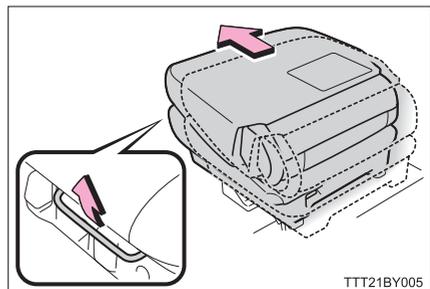
- 4 専用助手席シートの背もたれを前側に倒す

- ① ストラップを引いてロックを解除する
- ② 部を目安に持って、背もたれを前に倒し、確実にロックさせる  
背もたれが動き始めたらストラップから手を離します。



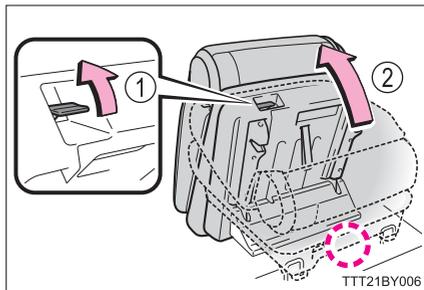
- 5 スライドレバーを引いたまま、専用助手席シートをいちばん前まで移動させる

“カチッ”と音がするまで移動させます。



- 6 専用助手席シート全体を引き起こす

- ① レバーを引いてロックを解除する
- ② 〇部を目安に持って、専用助手席シートを引き起こす  
“カチッ”と音がする位置まで引き起こして固定します。

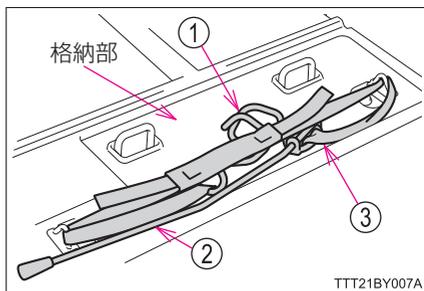


- 7 専用助手席シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認する

### ■ もどし方

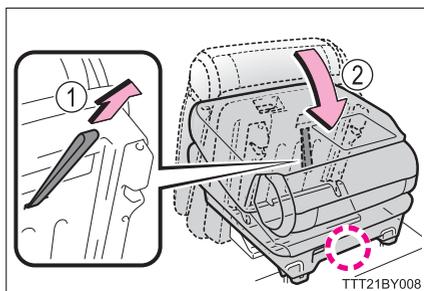
- 1 前輪固定フック、サポートバーおよびフロント固定ベルトを床面の格納部に格納する

- ① 前輪固定フック
- ② サポートバー
- ③ フロント固定ベルト



- 2 専用助手席シート全体を床面にロックさせる

- ① ストラップを引いてロックを解除する
- ② 〇部を目安に持って、専用助手席シートを押し下げ、床面にロックさせる

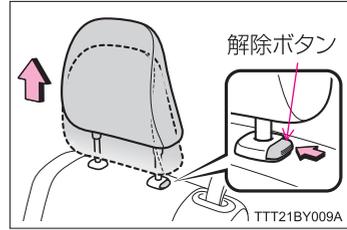


- 3 ストラップ (→ P.30) を引いてロックを解除し、専用助手席シートの背もたれをもとにもどす
- 4 専用助手席シートを軽くゆさぶり、さらにシートクッション後部を持ち上げ、確実に固定されていることを確認する
- 5 ヘッドレストを取り付ける  
解除ボタンを押しながら取り付けます。

 知識

## ■ ヘッドレストを取りはずすときは

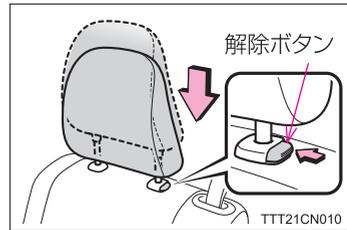
解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



## ■ ヘッドレストを取り取り付けるときは

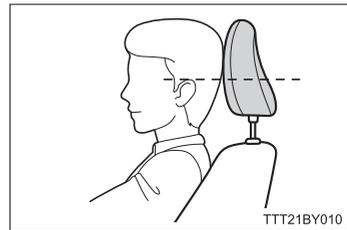
ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。

さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作してください。



## ■ ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。



 **警告****■ シートを調整するときは**

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。  
手や指を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

**■ リクライニング調整について**

- 背もたれにもたれかかったままリクライニング調整をしないでください。  
背もたれに力が加わっていると、レバー操作が重かったり、突然背もたれが倒れるおそれがあります。
- 背もたれは必要以上に倒さないでください。  
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートが確実に固定されていることを確認してください。

**■ ヘッドレストについて**

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストは正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない
- ヘッドレストの取り付け・取りはずしをするときは、指を挟むなどけがをするおそれがあるため、十分注意する

 **警告****■専用助手席シートの折りたたみ・もどす操作をするときは**

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

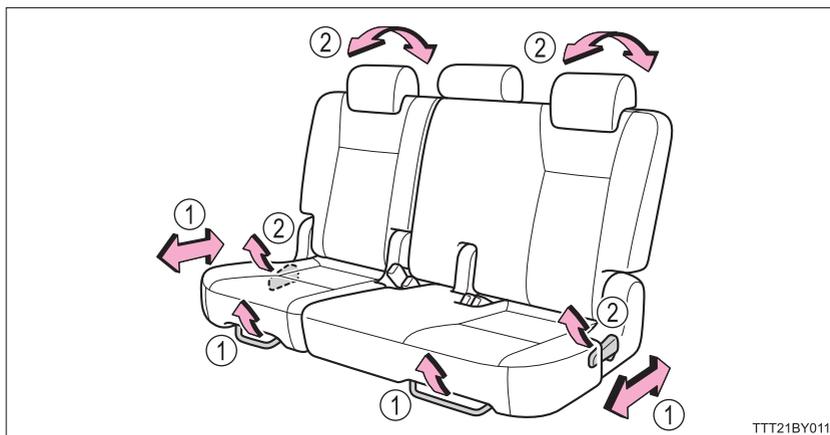
- 走行中にシートの折りたたみ・もどす操作をしない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 操作中は、可動部や結合部に手足を挟まないように注意する
- お子さまに操作させない
- 同乗者や荷物にあてないように注意する
- 折りたたんだシートの上およびシートを折りたたんだときにできる床面に、人や荷物を乗せて走行しない
- シートを勢いよく後方に倒さない
- 背もたれをもどすときは、背もたれを押さえながらストラップを操作する
- シートをもとにもどしたときは、シートを前後左右にゆすり、さらにシートクッションを持ち上げるなどして、シートが確実に固定されていることを確認する

 **注意****■破損・損傷を防ぐために**

- シートを折りたたむときは、背もたれを前に倒して確実にロックさせてからシート全体を折りたたんでください。  
背もたれがインストルメントパネルにあたり、傷が付くおそれがあります。
- グローブボックスを開けた状態でシートを折りたたまないでください。  
グローブボックスが破損したり、傷が付くおそれがあります。
- シートクッションをもどすときは、床面にものがないことを確認してから行ってください。  
ものがある状態でシートクッションをもどすと、シートやものが破損するおそれがあります。  
前輪固定フック、サポートバーおよびフロント固定ベルトが床面の格納部に格納されていることを確認してください。

## 専用セカンドシート

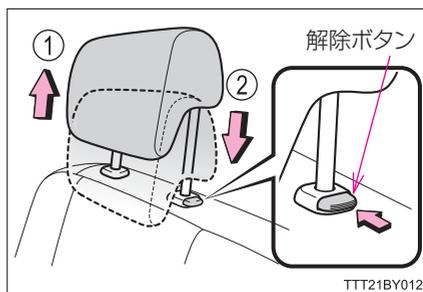
### シートの調整



- ① 前後位置調整 (スライドレバー)
- ② リクライニング調整 (リクライニングレバー)

### ヘッドレストの調整

- ① 上げる
- ② 下げる  
下げるときは、解除ボタンを押しなが  
ら操作します。



## 専用セカンドシートの折りたたみ

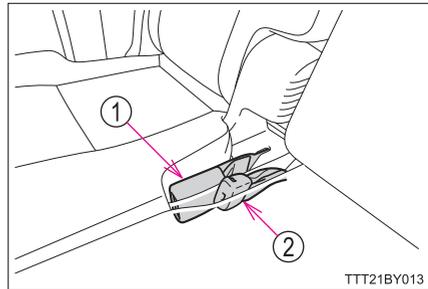
### ■ 折りたたみ方

ここではタイプⅠ“助手席側セカンドシート付”／タイプⅢ“助手席側セカンドシート付”の折りたたみ方を説明しています。タイプⅠ“助手席側セカンドシート無”／タイプⅡ／タイプⅢ“助手席側セカンドシート無”にお乗りの方は、運転席側セカンドシートで同様の操作を行ってください。

- 1 車を安全で平坦な場所に停止させ、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 2 フロントシートを前方にスライドさせ、背もたれを起こした状態にする（→標準車取扱書の「フロントシート」）
- 3 シート格納部周辺に、人やものがないことを確認する

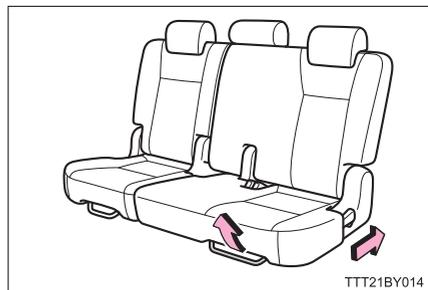
#### 4 バックルを格納する

- ① 運転席側セカンドシート用
- ② 中央席用（タイプⅠ“助手席側セカンドシート付”／タイプⅢ“助手席側セカンドシート付”のみ）



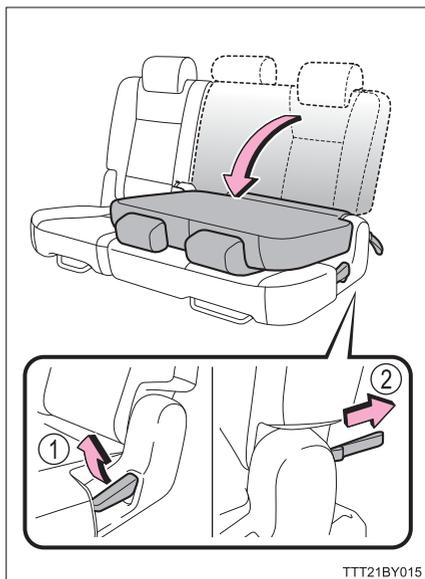
#### 5 専用セカンドシートのヘッドレストを下げる（→ P.36）

- 6 スライドレバーを引いたまま、専用セカンドシートをいちばんうしろまで移動させる  
“カチッ”と音がするまで移動させます。



- 7 リクライニングレバーまたはストラップを引き、背もたれを前方に倒す

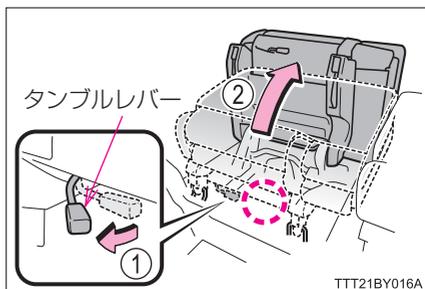
- ① リクライニングレバー
- ② ストラップ



TTT21BY015

- 8 専用セカンドシート全体を引き起こす

- ① タンブルレバーを引いてロックを解除する
- ② 部を目安に持って、専用セカンドシートを引き起こす  
シート脚部は自動で格納されます。

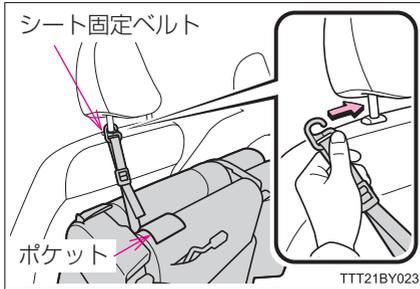


TTT21BY016A

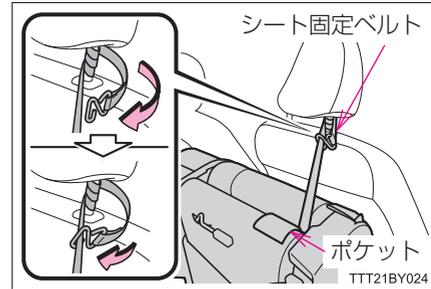


- 9 専用セカンドシート後面のポケットからシート固定ベルトを取り出し、専用セカンドシートを固定する

## ▶ 助手席側セカンドシート



## ▶ 運転席側セカンドシート



- ① フロントシートのヘッドレストステーにフックを引っかける
- ② 調整ベルトを引き、ベルトのたるみを取る

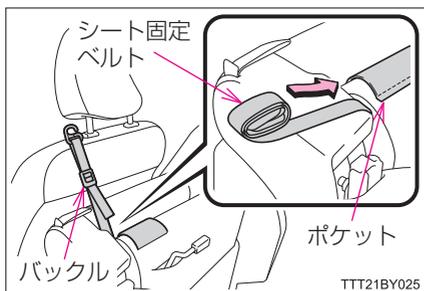
フロントシートのヘッドレストステーに通して固定する

- ・ベルトの長さがあまる場合は、ヘッドレストステーに巻き付け、長さを調整します。
- ・ベルトがヘッドレストステーに届かないときは、運転席シートを後方にスライドまたは背もたれを後方に倒します。(→標準車取扱書の「フロントシート」)

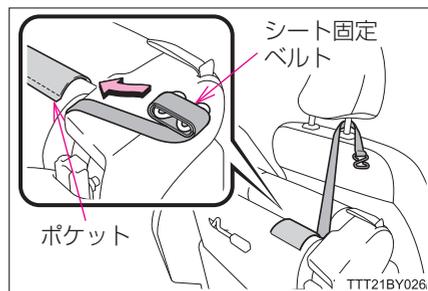
## ■ もどし方

- 1 車を安全で平坦な場所に停止させ、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 2 シートをもどす位置周辺に、人やものがないことを確認する
- 3 シート固定ベルトをフロントシートのヘッドレストステーからはずし、専用セカンドシート後面のポケットに収納する

### ▶ 助手席側セカンドシート



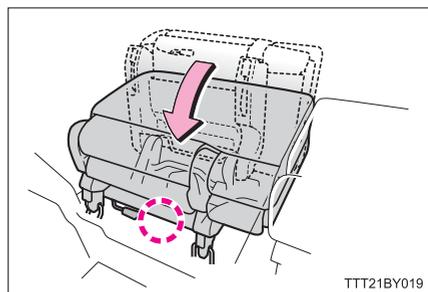
### ▶ 運転席側セカンドシート



バックルを引き上げ、ベルトをゆるめる

- 4 専用セカンドシート全体を床面にロックさせる

- ・ 部を目安に持って、専用セカンドシートを押し下げ、床面にロックさせます。
- ・ シートを下ろすとシート脚部が自動で展開されます。



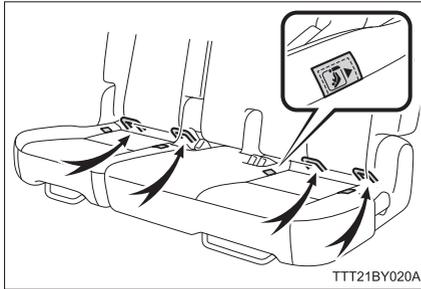
- 5 専用セカンドシートの背もたれを起こす
- 6 専用セカンドシートを前後左右にゆすり、さらにシートクッション後部を持ち上げ、確実に固定されていることを確認する

## ISOFIX ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ

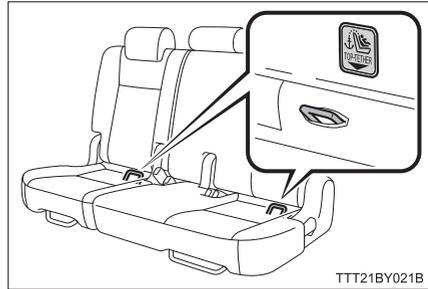
次の場所に ISOFIX ロアアンカレッジおよびトップテザーアンカレッジが装備されます。

チャイルドシートの取り付け方法については、商品に付属の取扱説明書および標準車取扱書の「チャイルドシート」を参照してください。

### ◆ ISOFIX ロアアンカレッジ



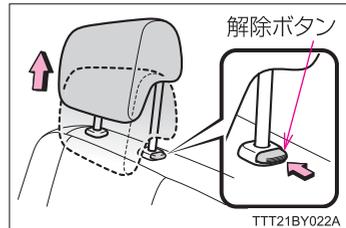
### ◆ トップテザーアンカレッジ



### □ 知識

#### ■ ヘッドレストを取りはずすときは

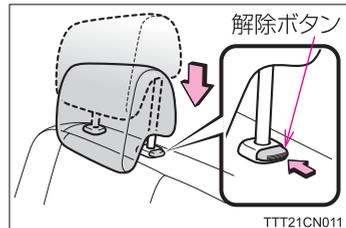
解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



#### ■ ヘッドレストを取り取り付けるときは

ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げてください。

さらに下げるときは、解除ボタンを押しながら操作してください。



### ■ヘッドレストの使用について

常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

### ■折りたたんだ助手席側セカンドシートを着座状態にもどすときは（タイプⅠ“助手席側セカンドシート付”／タイプⅢ“助手席側セカンドシート付”）

運転席側セカンドシートのシートベルトのバックルをシートのあいだに挟まないように注意してください。バックルが取り出せなくなるおそれがあります。

## ▲警告

### ■シートを調整するときは

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。  
手や指を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

### ■リクライニング調整について

- 背もたれにもたれかかったままリクライニング調整をしないでください。  
背もたれに力が加わっていると、レバー操作が重かったり、突然背もたれが倒れるおそれがあります。
- 背もたれは必要以上に倒さないでください。  
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後はシートが確実に固定されていることを確認してください。

### ■ヘッドレストについて

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストは正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

 **警告****■専用セカンドシートの折りたたみ・もどす操作をするときは**

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

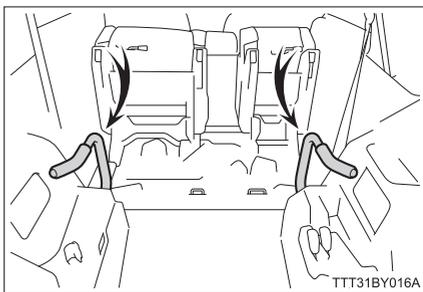
- 走行中にシートの折りたたみ・もどす操作をしない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 操作中は、可動部や結合部に手足を挟まないように注意する
- お子さまに操作させない
- 同乗者や荷物にあてないように注意する
- 運転席側・助手席側のシートを同時に折りたたまない  
手や指を挟み、けがをするおそれがあります。シートを折りたたむときは、片側ずつ操作してください。
- 折りたたんだシートの上およびシートを折りたたんだときにできる床面に、人や荷物を乗せて走行しない
- シートを勢いよく後方に倒さない
- シートをもとにもどしたときは、シートを前後左右にゆすり、さらにシートクッションを持ち上げるなどして、シートが確実に固定されていることを確認する
- シートのあいだにシートベルトが挟み込まれていないか確認する

 **注意****■破損を防ぐために**

シートをもどすときは、床面にものがないことを確認してから行ってください。ものがある状態でシートをもどすと、シート脚部やものが破損するおそれがあります。

## ハンドグリップ

2列目位置の車いす乗車の方用の  
ハンドグリップが左右に装備され  
ます。

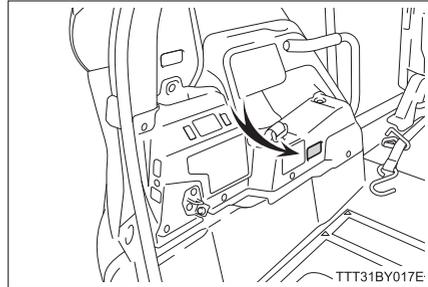


## 夜間照明灯

夜間の乗降時、足元を明るく照らします。

### 点灯・消灯のしかた

バックドアを開けると点灯し、バックドアを閉めると消灯します。



### 知識

#### ■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジンスイッチが“LOCK”（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）、またはOFF（スマートエントリー&スタートシステム装着車）の場合、夜間照明灯が点灯したままのときは、約20分後に自動消灯します。

### 警告

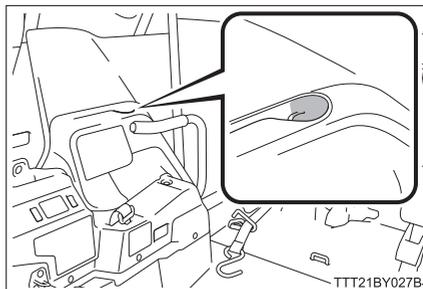
#### ■ 点灯時および消灯直後は

夜間照明灯のレンズにふれないでください。  
夜間照明灯のレンズは高温のため、やけどをするおそれがあります。

## 収納装備一覧

### ボトルホルダー

2列目位置の車いす乗車の方用のボトルホルダーが左右に装備されます。



### 知識

#### ■ ボトルホルダーとして使用するとき

- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

### ⚠ 注意

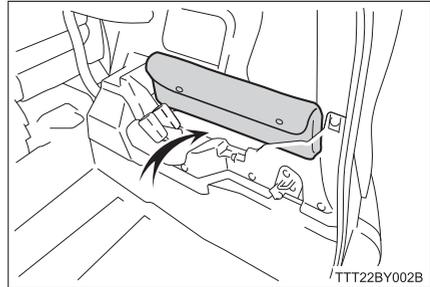
ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。



## 停止表示板収納スペース

運転席側デッキサイド部に停止表示板を収納することができます。

停止表示板のケースの大きさ、形によっては、収納できないことがあります。



### 知識

#### ■ 収納可能な停止表示板のサイズの目安

長さ	幅	高さ
480mm 以下	40mm 以下	130mm 以下

#### ■ 停止表示板収納スペースについて

小さなものを入れるとカーペットのすき間からジャッキ収納部（→ P.131）にものが落ちるおそれがありますので注意してください。



## 車いすの車内外への 乗り降り

### 3

3-1. スロープを使用する前に	
ご使用前に確認して いただきたいこと .....	50
スロープ使用前の準備・ 作動条件の確認 .....	60
3-2. 車いすの車内外への 乗降・固定	
操作の流れ： 2 列目位置への乗降・固定 ...	62
操作の流れ： 1.5 列目位置への乗降・固定 (タイプII) .....	66
車高降下装置 .....	70
手動スロープ .....	76
車いすの車内外への 乗降・固定：2 列目位置 .....	83
車いすの車内外への 乗降・固定：1.5 列目位置 (タイプII) .....	99
車いす用シートベルト .....	111
走行する前に (2 列目位置) .....	120

## ご使用前に確認していただきたいこと

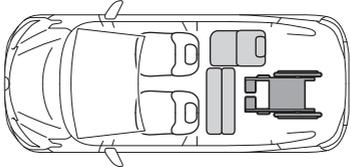
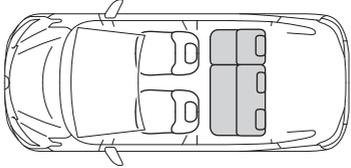
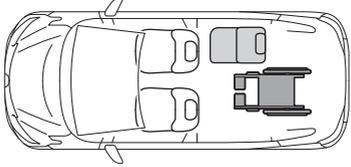
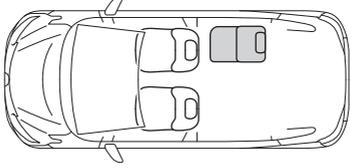
車いすまたは人を乗せた車いすを、スロープ上を移動して車に乗り降りさせます。

車高降下装置で車両後部の車高を低下させ、車いすの車内外への乗り降りを容易にします。

操作はすべて介助の方が行ってください。

### 室内レイアウト

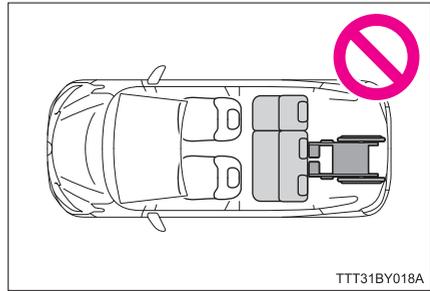
#### ◆ タイプ I

車両タイプ		室内レイアウト	乗車人数
タイプ I	助手席側 セカンド シート付		車いすご利用時 乗車人数 4 名 (3 名+車いす 1 名)
			車いすを ご利用しないとき 乗車人数 5 名
	助手席側 セカンド シート無		車いすご利用時 乗車人数 4 名 (3 名+車いす 1 名)
			車いすを ご利用しないとき 乗車人数 3 名

### ■ 乗車できないレイアウト (タイプ I “助手席側セカンドシート付”)

助手席側セカンドシートを折りたたまない状態での車いす乗車 (5名+車いす1名) はできません。

乗車人数は最大5名です。

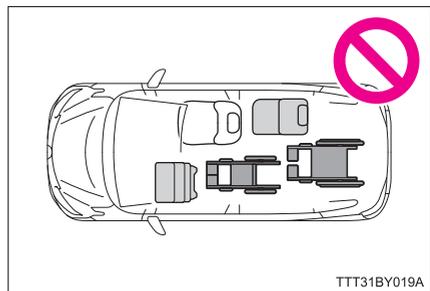


### ◆ タイプ II

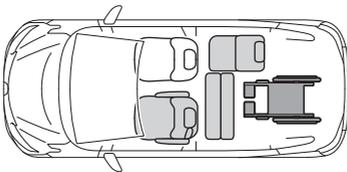
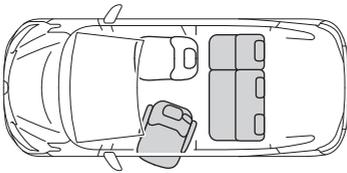
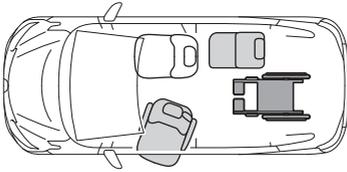
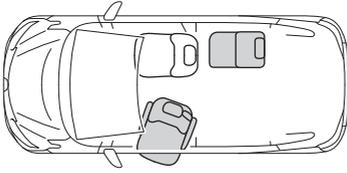
車両タイプ	室内レイアウト	乗車人数
タイプ II		車いすご利用時 (1.5列目位置乗車時) 乗車人数 3名 (2名+車いす1名)
		車いすご利用時 (2列目位置乗車時) 乗車人数 4名 (3名+車いす1名)
		車いすを ご利用しないとき 乗車人数 3名

### ■ 乗車できないレイアウト (タイプ II)

車いすの2脚同時乗車はできません。



## ◆ タイプⅢ

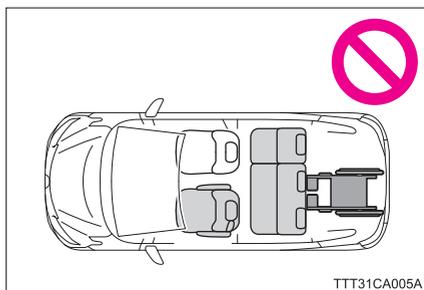
車両タイプ		室内レイアウト	乗車人数
タイプⅢ	助手席側セカンドシート付		車いすご利用時 乗車人数 4 名※ (3 名+車いす 1 名)
			車いすを ご利用しないとき 乗車人数 5 名
	助手席側セカンドシート無		車いすご利用時 乗車人数 4 名 (3 名+車いす 1 名)
			車いすを ご利用しないとき 乗車人数 3 名

※：車いす乗車の方と助手席回転チルトシートをご利用の方が同乗することができませんが、車いす乗車時、助手席回転チルトシートの操作はできません。  
(→ P.53)

## ■ 乗車できないレイアウト (タイプⅢ “助手席側セカンドシート付”)

助手席側セカンドシートを格納しない状態での車いす乗車 (5 名+車いす 1 名) はできません。

乗車人数は最大 5 名です。



TTT31CA005A

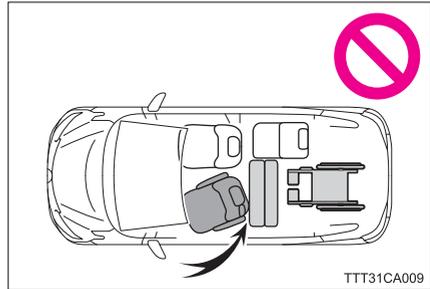
## ■ 助手席回転チルトシートの操作をするときは（タイプⅢ）

### ▶ 助手席側セカンドシート付

助手席回転チルトシートの操作をするときは、助手席側セカンドシートの状態により、次の制約があります。

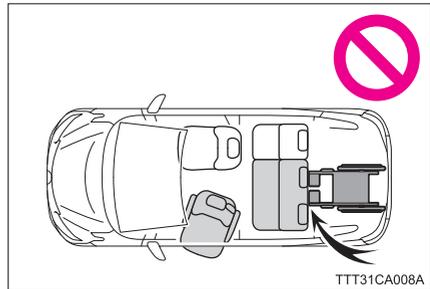
- ① 車いす乗車時、助手席側セカンドシートが折りたたみ状態のため、助手席回転チルトシートの操作はできません。

助手席回転チルトシートと助手席側セカンドシートがあたります。



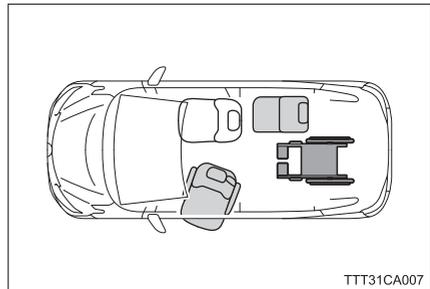
- ② 助手席回転チルトシート操作時、助手席側セカンドシートが着座状態のため、車いすでの乗車はできません。

車いす乗車時は助手席側セカンドシートを折りたたむ必要があります。



### ▶ 助手席側セカンドシート無

車いす乗車時でも、助手席回転チルトシートの操作が可能です。



## ■ 車いす乗車の方と助手席回転チルトシートをご利用の方が同乗するときは（タイプⅢ “助手席側セカンドシート付”）

**乗車時：**助手席回転チルトシートでの乗車を先に行い、助手席側セカンドシートを折りたたんでから車いす乗車の方が乗車してください。

**降車時：**車いす乗車の方が先に降車し、助手席側セカンドシートを着座状態にもどしてから、助手席回転チルトシートでの降車を行ってください。

## スマートエントリー&スタートシステム★について

スマートエントリー&スタートシステム★でのバックドアの施錠・解錠ができません。

バックドアを開閉するときは、車両側のワイヤレスリモコン（→標準車取扱書の「ワイヤレスリモコン」）で全ドアを解錠してから、バックドアを開けてください。

## 路面について

スロープは水平で平坦な場所での使用が条件になります。  
また、車両周辺・下側に突起物などがないことを確認してください。

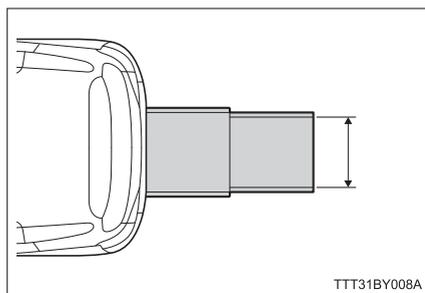
## 重量について

スロープの耐荷重は 200kg です。

- スロープ先端接地時、スロープに乗り入れる「車いす+車いす乗車の方+手荷物+介助の方」の合計重量が 200kg 以下であることを確認してください。
- スロープを前倒れにしたときは、スロープの上に載せる荷物の重量が 200kg 以下であることを確認してください。

## 手動スロープ内幅について

内幅：640mm



## 車いすのタイヤ空気圧について

車いすのタイヤが適正な空気圧でないと、車いすを固定する力が弱くなり、車いすを確実に固定することができません。お使いの車いすの取扱説明書を参照し、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

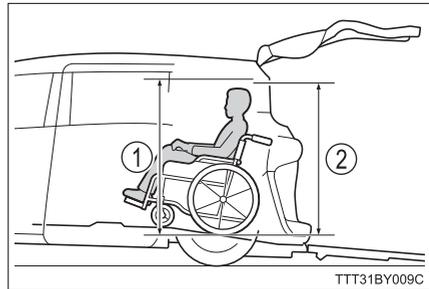


## 車いす乗車の目安

### ▶ 2 列目位置

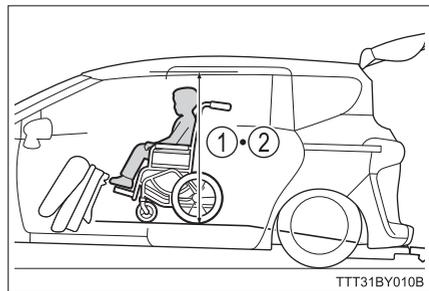
- ① 有効室内高：1280mm
- ② 乗車可能高：1275mm ※

※：首が曲がらない方の場合は、有効室内高ではなく、乗車可能高（1275mm）を乗車の目安にしてください。



### ▶ 1.5 列目位置（タイプⅡ）

- ① 有効室内高：1215mm
- ② 乗車可能高：1215mm

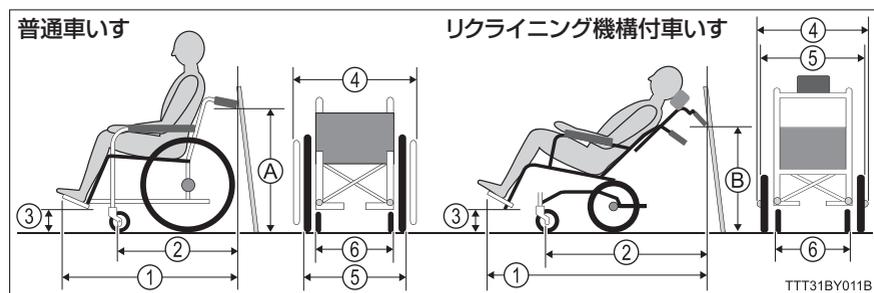


## 乗車可能な車いすについて

次の寸法を満たしていることを確認してください。

- 一部の電動車いすは乗車できないため、その際はトヨタ販売店にご相談ください。
- 車いすのフレーム形状によっては、車いす固定装置のフックが正しくかけられないときがあります（→ P.88, 101）。その際はトヨタ販売店にご相談ください。
- 車いすのアームレスト下側にカバーなどがある場合、シートベルトを正しく着用できないときがあります（→ P.112～116）。その際はトヨタ販売店にご相談ください。
- 電動3輪車・電動4輪車は乗車できません。

◆ 2列目位置（タイプⅠ“助手席側セカンドシート付” / タイプⅢ“助手席側セカンドシート付”）



- ① フットレストの先端から介助ハンドル後端までの距離  
 ② 前側フレームの後端から介助ハンドル後端までの距離  
 ③ 地面からフットレストの最下端までの距離  
     フットレスト自体よりフレームの方が低い場合、フレームの下端まで  
 ④ 車いす全幅  
 ⑤ 車いす後輪の幅（外寸）  
 ⑥ 車いす前輪の幅（外寸）  
 (A) (B) スロープ格納時の介助ハンドル後端高さ

	普通車いす		リクライニング機構付車いす	
	運転席側セカンドシート使用時	運転席側セカンドシート格納時	運転席側セカンドシート使用時	運転席側セカンドシート格納時
①	1200mm 以下※ <sup>1</sup>	1200mm 以下※ <sup>1</sup>	1130mm 以下※ <sup>1</sup>	1130mm 以下※ <sup>1</sup>
②	640mm 以下※ <sup>1</sup>	710mm 以下※ <sup>1</sup>	810mm 以下※ <sup>1</sup>	810mm 以下※ <sup>1</sup>
③	50mm 以上	50mm 以上	50mm 以上	50mm 以上
④	630mm 以下※ <sup>2</sup>	670mm 以下※ <sup>2</sup>	630mm 以下※ <sup>2</sup>	670mm 以下※ <sup>2</sup>
⑤	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>
⑥	490mm 以下	490mm 以下	490mm 以下	490mm 以下

※<sup>1</sup>：①・②は(A)・(B)により制約が異なります。表中の数値は(A)を800mm、(B)を900mmとした場合の数値です。(A)・(B)を930mmとした場合はそれぞれ90mmずつ増加します。

※<sup>2</sup>：スロープの最小幅は640mm、スロープフラッパー（スロープと車内フロアの接続板）の最小幅は620mmになります。

### ◆ 2列目位置（タイプⅠ “助手席側セカンドシート無” / タイプⅢ “助手席側セカンドシート無”）

	普通車いす		リクライニング機構付車いす	
	運転席側セカンドシート使用時	運転席側セカンドシート格納時	運転席側セカンドシート使用時	運転席側セカンドシート格納時
①	1470mm 以下※ <sup>1</sup>	1470mm 以下※ <sup>1</sup>	1420mm 以下※ <sup>1</sup>	1420mm 以下※ <sup>1</sup>
②	640mm 以下※ <sup>1</sup>	710mm 以下※ <sup>1</sup>	810mm 以下※ <sup>1</sup>	810mm 以下※ <sup>1</sup>
③	50mm 以上	50mm 以上	50mm 以上	50mm 以上
④	630mm 以下※ <sup>2</sup>	670mm 以下※ <sup>2</sup>	630mm 以下※ <sup>2</sup>	670mm 以下※ <sup>2</sup>
⑤	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>
⑥	490mm 以下	490mm 以下	490mm 以下	490mm 以下

※<sup>1</sup>：①・②は④・⑤により制約が異なります。表中の数値は④を800mm、⑤を900mmとした場合の数値です。④・⑤を930mmとした場合はそれぞれ90mmずつ増加します。

※<sup>2</sup>：スロープの最小幅は640mm、スロープフラッパー（スロープと車内フロアの接続板）の最小幅は620mmになります。

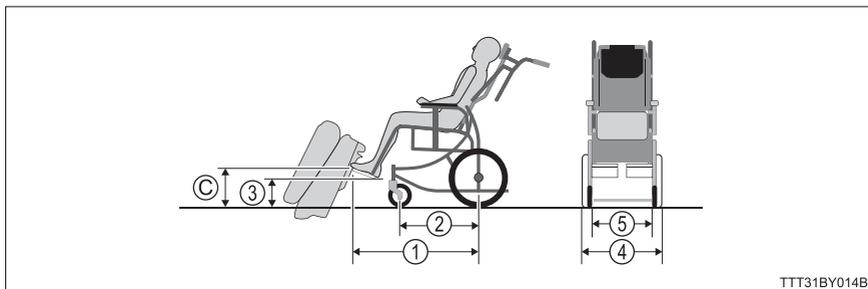
### ◆ 2列目位置（タイプⅡ）

	普通車いす		リクライニング機構付車いす	
	運転席側セカンドシート使用時	運転席側セカンドシート格納時	運転席側セカンドシート使用時	運転席側セカンドシート格納時
①	1510mm 以下※ <sup>1</sup>	1510mm 以下※ <sup>1</sup>	1460mm 以下※ <sup>1</sup>	1460mm 以下※ <sup>1</sup>
②	640mm 以下※ <sup>1</sup>	710mm 以下※ <sup>1</sup>	810mm 以下※ <sup>1</sup>	810mm 以下※ <sup>1</sup>
③	50mm 以上	50mm 以上	50mm 以上	50mm 以上
④	630mm 以下※ <sup>2</sup>	670mm 以下※ <sup>2</sup>	630mm 以下※ <sup>2</sup>	670mm 以下※ <sup>2</sup>
⑤	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>	620mm 以下※ <sup>2</sup>
⑥	470mm 以下	470mm 以下	470mm 以下	470mm 以下

※<sup>1</sup>：①・②は④・⑤により制約が異なります。表中の数値は④を800mm、⑤を900mmとした場合の数値です。④・⑤を930mmとした場合はそれぞれ90mmずつ増加します。

※<sup>2</sup>：スロープの最小幅は640mm、スロープフラッパー（スロープと車内フロアの接続板）の最小幅は620mmになります。

## ◆ 1.5 列目位置 (タイプII)



TTT31BY014B

- ① フットレストの先端から後輪中心までの距離
- ② 前輪中心から後輪中心までの距離
- ③ 地面からフットレストの最下端までの距離  
フットレスト自体よりもフレームの方が低い場合、フレームの下端まで
- ④ 車いす全幅
- ⑤ 車いす前輪の幅 (内寸)
- ③ フットレストの先端から地面までの距離

	車いす
①	870mm 以下※
②	540mm 以下
③	65mm 以上
④	500mm 以下
⑤	170mm 以上

※：①は③により制約が異なります。表中の数値は③を 130mm とした場合の数値です。

 **警告****■ 走行するときは**

→ P.20

**■ 車いすのタイヤ空気圧について**

→ P.22

**■ 車いすを車内に乗り入れたときは**

- タイプⅠ “助手席側セカンドシート無” / タイプⅡ / タイプⅢ “助手席側セカンドシート無” で 2 列目位置に車いすを乗り入れたときは、助手席シートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。

助手席シートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすることがあります。車いす乗り入れ後、助手席シートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

- 2 列目位置に車いすを乗り入れたときは、運転席側セカンドシートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。運転席側セカンドシートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすることがあります。車いす乗り入れ後、運転席側セカンドシートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

 **注意****■ 損傷を防ぐために**

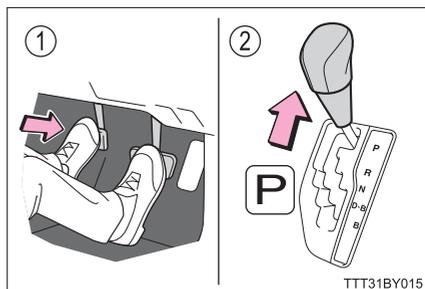
スロープの耐荷重 200kg (→ P.54) をこえないようにしてください。  
スロープが損傷するおそれがあります。

## スロープ使用前の準備・作動条件の確認

### 車両について

1 車両が安全で、平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車する

- ① パーキングブレーキをかける
- ② シフトレバーをPの位置にする



2 車両周辺・下側および後輪付近に人や突起物などがないことを確認する

3 バックドアを全開にする

### 各装置の作動条件について

車高降下装置、セーフティベルト（後退防止スイッチ）、車いす固定装置、夜間照明灯は、次の作動条件をすべて満たす場合に作動します。

装置	作動条件
車高降下装置	エンジン「かかっている」
	シフトレバー「Pの位置」
セーフティベルト (後退防止スイッチ)	エンジンスイッチ 「ON ★またはイグニッション ON モード★」※
車いす固定装置 (2列目位置)	パーキングブレーキ「かかっている」
	バックドア「開」
車いす固定装置 (1.5列目位置)	エンジンスイッチ 「ON ★またはイグニッション ON モード★」※
	パーキングブレーキ「かかっている」
夜間照明灯	バックドア「開」

※：エンジン停止でも作動しますが、バッテリーあがり防止のため、エンジンをかけた状態で使用してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■車両の駐車場所について**

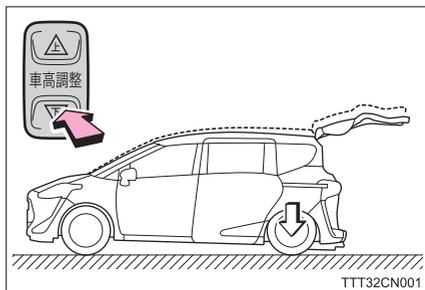
- 安全で平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPの位置にしてください。(→P.15)  
交通量の多い道路や狭いところ、不整地や傾斜地でスロープを使用すると、思わぬ事故や車両の損傷につながるおそれがあります。
- 乗降するときはヘッドランプを点灯および非常点滅灯を点滅させ、周囲へ注意をうながしてください。(→P.15)
- 階段や段差を利用して車いすの乗り入れをしないでください。(→P.15)  
段差を利用すると車いすがスロープから転落したり、スロープが段差からはずれて破損するなど、重大な事故につながるおそれがあります。
- 可燃物付近に駐車しないでください。(→P.16)  
車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると火災になるおそれがあります。  
スロープ使用時、車高降下により排気管の位置が大きく下がりますので、特に注意してください。

## 操作の流れ：2列目位置への乗降・固定

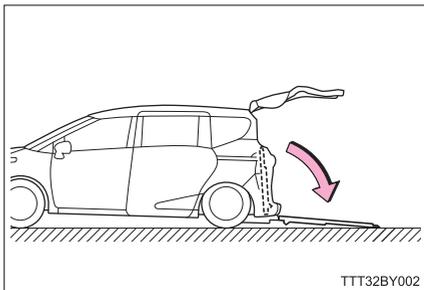
スロープ、セーフティベルトおよび車いす固定装置（2列目用）を使用して、車いすを車内外に乗降・固定するときは、次の手順で行います。すべての操作は必ず介助の方が行ってください。

### 車いすを車内に乗り入れ・固定するときは

- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 2 助手席回転チルトシートをご利用の方が乗車するときは、車いすを車内に乗り入れる前に助手席回転チルトシートを操作し、乗車する（タイプⅢ“助手席側セカンドシート付” → P.53）
- 3 助手席側セカンドシートを折りたたむ（タイプⅠ“助手席側セカンドシート付” / タイプⅢ“助手席側セカンドシート付” → P.37）  
車いすのサイズによっては運転席側セカンドシートも折りたたみます。
- 4 バックドアを全開にする
- 5 車高調整スイッチの「下」を押し、車高降下させる（→ P.70）



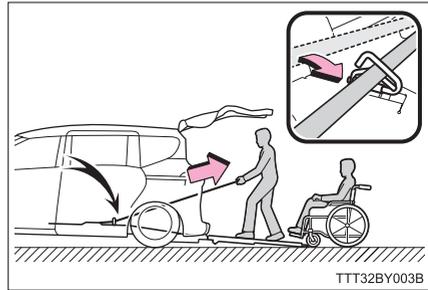
- 6 スロープを展開する（→ P.76）



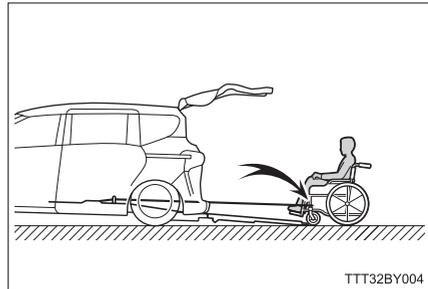
- 7 車いすをスロープに近付けて止め、車いすのブレーキを両輪ともかける（→ P.84）



- 8 後退防止スイッチの「解除」が押されていることを確認し、フックを持ってセーフティベルトを引き出し、乗車する車いすに合わせ、セーフティベルトをセーフティベルトガイドに通す (→P.85)

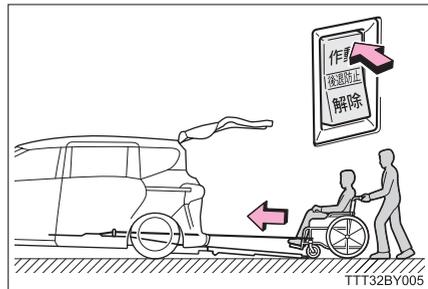


- 9 車いすの前部フレームのいちばん下の接合部にセーフティベルトのフックをかける (→P.86)



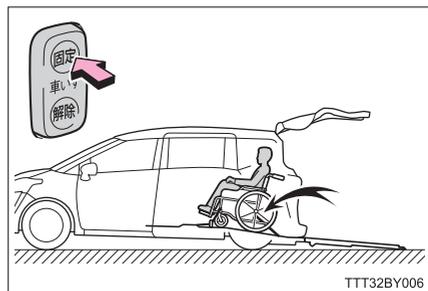
- 10 車いすを車内に乗り入れる

- ① 後退防止スイッチの「作動」を押す (→P.86)
- ② 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- ③ 車いすを車内 (2列目位置) の所定の位置まで乗り入れる (→P.87)



- 11 車いすを車内に固定する

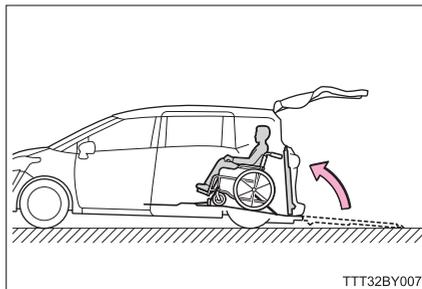
- ① 車いす固定装置からワイヤーを引き出し、車いすの後部フレームにフックをかける (→P.88)
- ② 車いす固定装置スイッチの「固定」を押し続ける (→P.88)



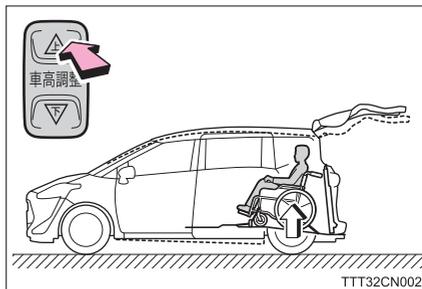
- 12 車いすのブレーキを両輪ともかける

- 13 車いす用シートベルトを着用する (→P.112)

- 14 スロープを格納する (→ P.77)



- 15 車高調整スイッチの「上」を押し、車高復帰させる (→ P.71)

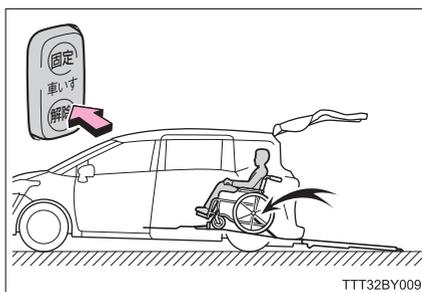


- 16 バックドアを閉める

### 車いすを車外に降ろすときは

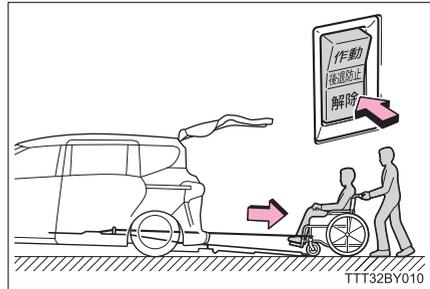
- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする
- 2 バックドアを全開にする
- 3 車高降下およびスロープを展開する (→ P.70, 76)
- 4 車いす用シートベルトをはずす (→ P.117)
- 5 車いすの固定を解除する

- ① 車いす固定装置スイッチの「解除」を押し続ける (→ P.90)
- ② 車いすの後部フレームから車いす固定装置のフックを取りはずす (→ P.90)



6 車いすのブレーキを両輪とも解除する

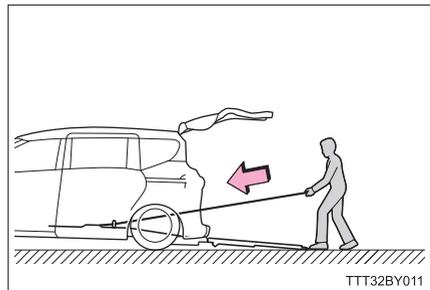
7 後退防止スイッチの「解除」を押し、車いすを車外に降ろす  
(→ P.91)



8 車いすのブレーキを両輪ともかける

9 セーフティベルトのフックを車いすの前部フレームから取りはずし、ベルトがねじれないように巻き取る

セーフティベルトガイドを使用しないときは、セーフティベルトガイドを車両後方に倒します。(→ P.91)



10 スロープを格納および車高復帰させる (→ P.71, 77)

11 バックドアを閉める

12 助手席回転チルトシートをご利用の方が降車するときは、車いすを車外に降ろしてから降車する (タイプⅢ “助手席側セカンドシート付” → P.53)

- ① 助手席側セカンドシートを着座状態にもどす
- ② 助手席回転チルトシートを操作し、降車する

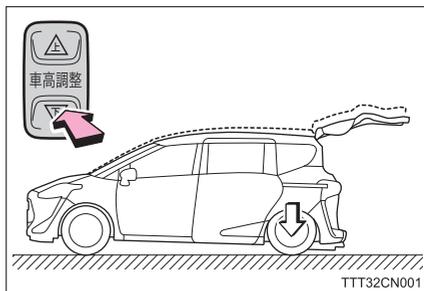
## 操作の流れ：1.5 列目位置への乗降・固定（タイプII）

スロープおよびフロント固定ベルト、車いす固定装置（1.5 列目用）を使用して車いす（主に小児用車いす）を車内外に乗降・固定するときは、次の手順で行います。

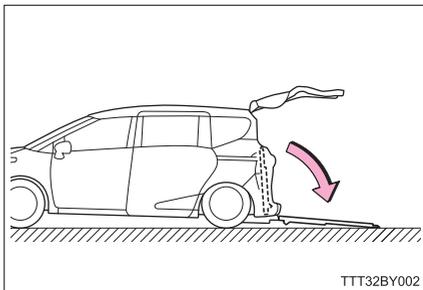
すべての操作は必ず介助の方が行ってください。

### 車いすを車内に乗り入れ・固定するときは

- 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P の位置にする
- 2 専用助手席シートを折りたたむ（→ P.31）
- 3 バックドアを全開にする
- 4 車高調整スイッチの「下」を押し、車高降下させる（→ P.70）



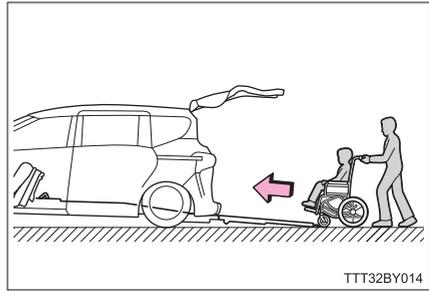
- 5 スロープを展開する（→ P.76）



- 6 車いすのブレーキを両輪とも解除し、車いすを車内（1.5 列目位置）まで乗り入れる  
（→ P.100）

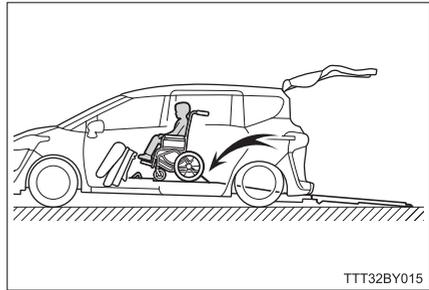
セーフティベルトは使用しません。

- ① 専用助手席シート後方までゆっくり乗車する
- ② 車いすの前輪が専用助手席シートの床面ロック手前の車止めにあたる位置で停止する



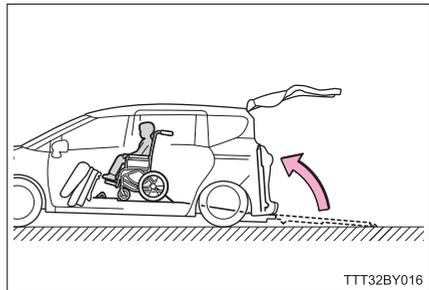
- 7 車いすのブレーキを両輪ともかける

- 8 車いす固定装置からワイヤーを引き出し、車いすの後部フレームにフックをかける（→ P.101）

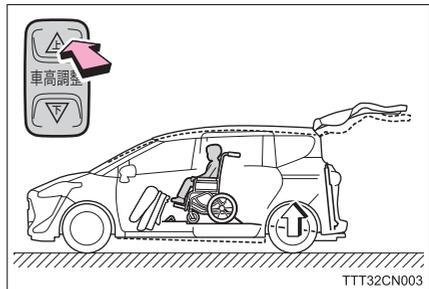


- 9 車いす用シートベルトを着用する（→ P.115）

- 10 スロープを格納する（→ P.77）



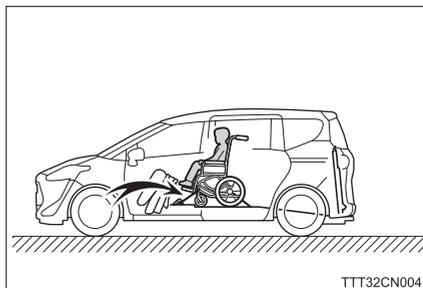
- 11 車高調整スイッチの「上」を押し、車高復帰させる（→ P.71）



### 12 バックドアを閉める

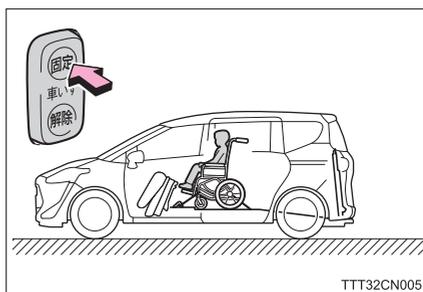
### 13 車いすの前輪のフレームにフロント固定ベルトの前輪固定フックをかける (→ P.102)

調整ベルトを引っ張り、フロント固定ベルトのたるみをなくします。



TTT32CN004

### 14 専用助手席シートの車いす固定装置スイッチの「固定」を押し続け、車いすを固定する (→ P.103)

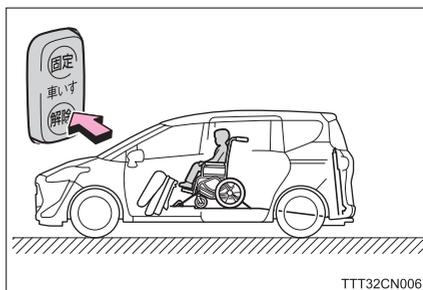


TTT32CN005

## 車いすを車外に降ろすときは

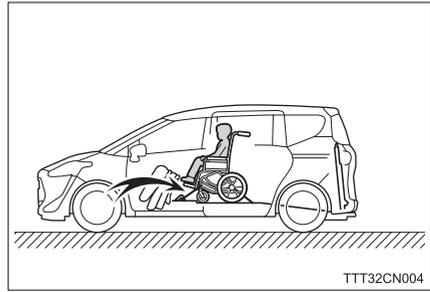
### 1 安全で平坦な場所にエンジンをかけたまま駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にする

### 2 専用助手席シートの車いす固定装置スイッチの「解除」を押し続け、車いすの固定を解除する (→ P.104)



TTT32CN006

- 3 車いすの前輪のフレームからフロント固定ベルトの前輪固定フックをはずす (→ P.104)

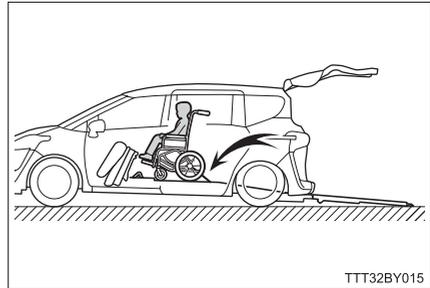


- 4 バックドアを全開にする

- 5 車高降下およびスロープを展開する (→ P.70, 76)

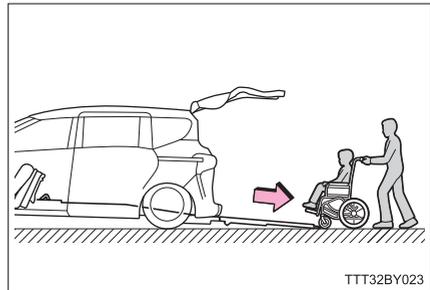
- 6 車いす用シートベルトをはずす (→ P.118)

- 7 車いすの後部フレームから車いす固定装置のフックを取りはずす (→ P.105)



- 8 車いすのブレーキを両輪とも解除する

- 9 車いすを車外に降ろす  
セーフティベルトは使用しません。



- 10 車いすのブレーキを両輪ともかける

- 11 スロープを格納および車高復帰させる (→ P.71, 77)

- 12 バックドアを閉める

## 車高降下装置

エアサスペンションにより車両後部の車高を低下させ、車いすの車内外への乗り降りを容易にします。

### 操作前の確認事項

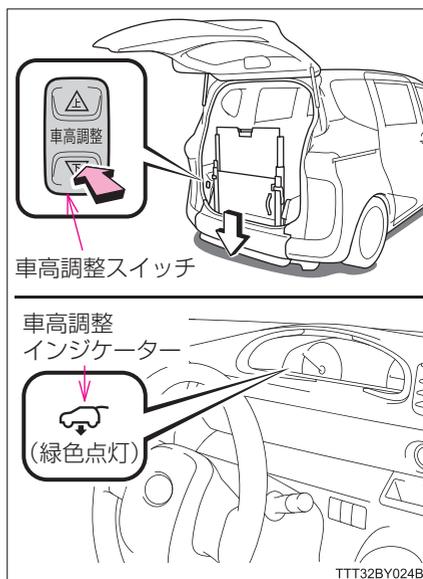
- 車高降下装置の作動条件を確認してください。(→ P.60)
- パーキングブレーキを確実にかけ、ブレーキペダルを踏まずに操作してください。

ブレーキペダルを踏んだまま操作すると、車高降下・復帰完了しません。

### 車高降下のしかた

車高調整スイッチの「下」を押す

- ・ 車両後部の車高が下がります。(メーター内の車高調整インジケータ-緑色点灯)
- ・ 車高降下が始まったらスイッチから指を離します。
- ・ 車高が下がるときと自動的に停止します。



### ■ 車高降下を途中でやめるときは

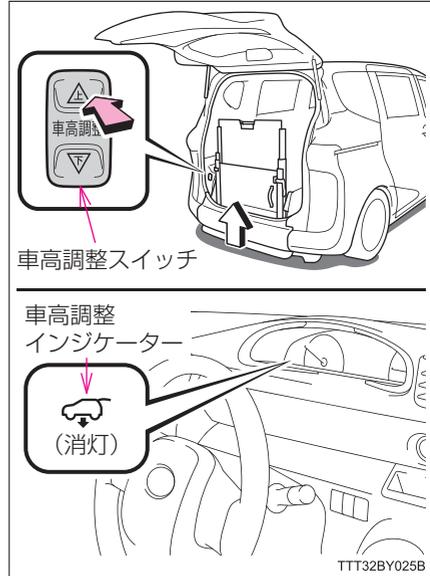
不測の事態により、車高降下を途中でやめたいときは、作動途中で車高調整スイッチの「上」「下」どちらかを押しと、車高降下が停止します。再度車高調整スイッチの「上」「下」どちらかを押しと、押した方向に車高が変化します。



## 車高復帰のしかた

車高調整スイッチの「上」を押す

- ・ 車両後部の車高がもどります。
- ・ 車高がもどり始めたらスイッチから指を離します。
- ・ 車高がもどりきると自動的に停止します。(メーター内の車高調整インジケータ消灯)



 知識**■ 車高復帰忘れ防止機能について**

万一、車高復帰を忘れた場合、シフトレバーをP以外の位置に操作すると、車高が自動復帰します。

**■ 車高降下装置について**

- ブレーキペダルを踏んだまま車高調整スイッチを押すと、車高降下時は5秒間作動後・車高復帰時は10秒間作動後に作動を中断します。
- 車高復帰中にブレーキペダルを踏むと、車高復帰を中断します。ブレーキペダルから足を離すと、再開します。
- 車高降下・復帰操作を短時間にくり返し（目安として4分間に3回以上）行くと、エアサスペンションのコンプレッサーの過熱防止（保護）のため、しばらく作動しなくなることがあります。
  - ・ エンジンスイッチ“ON”★またはイグニッションONモード★の状態では10分以上待機してから車高調整スイッチを押すと、再度車高降下装置が作動します。
  - ・ 再度車高降下装置が作動しなくなった場合は、エンジンスイッチ“ON”★またはイグニッションONモード★の状態では70分以上待機してから車高調整スイッチを押すと、再度車高降下装置が作動します。
- 氷・雪または石などがボデーに接触していると、車高降下を行っても車高降下速度が遅くなったり、車高降下が完了しないことがあります。この場合、エンジンを停止してから障害物を取り除いてください。
- エンジンを停止すると、気温の変化により多少車高がかわることがあります。その場合、エンジンを始動するとともにもどります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 知識

### ■ 車高降下装置の作動音について

次のようなときに、エアサスペンションが作動し、車両右側後方からコンプレッサーまたはバルブの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

- スイッチ操作による車高調整時  
車高調整スイッチにより、車高をかえたとき
- オートレベリング機能※による車高調整時
  - ・ 乗員や荷物など積載条件の変化により車高が変わり、車高調整が作動したとき
  - ・ エアサスペンションの温度変化により車高が変わり、車高調整が作動したとき
  - ・ 縁石に乗ったり降りたりして、車高調整が作動したとき  
車高が変化しても、一定時間経過しないと車高降下装置は作動しません。  
(作動までの時間は条件によって異なります)

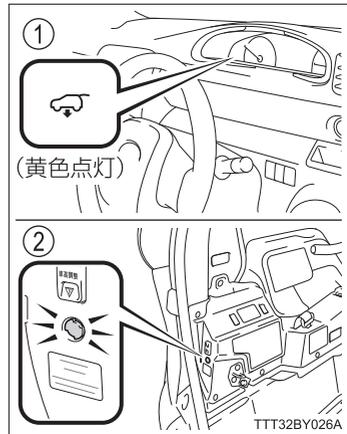
※：乗員の数や荷物などの積載条件が変わっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

### ■ 車高降下装置のシステムに異常が発生したときは

車高降下・復帰を中断し、異常が発生したことを次のようにお知らせします。

- ① メーター内の車高調整インジケーター：黄色点灯
- ② 助手席側デッキサイド部の車高降下装置異常ランプ：黄色点灯

上記の場合は、すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。



### ■ 車高調整インジケーターおよび車高降下装置異常ランプについて

作動確認のためにエンジンスイッチを“ON” ★またはイグニッション ON モード★にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯しますが、この場合は車高降下装置の異常ではありません。

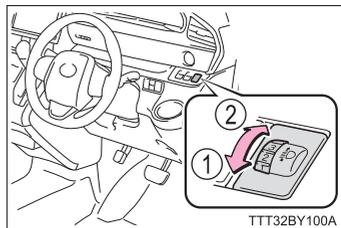
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 知識

### ■ヘッドランプ光軸切りかえについて（ハロゲンヘッドランプ装着車）

ヘッドランプ点灯状態で通行人や対向車がまぶしくないように、手動光軸調整ダイヤルを次のように操作してください。

- ① 車高降下前：手動光軸調整ダイヤルを“5”にし、ヘッドランプの光軸を下げてください。
- ② 車高復帰後：2列目位置に乗車時は、手動光軸調整ダイヤルを“0”と“1”の間に、それ以外の場合は“0”にもどし、ヘッドランプの光軸をもどしてください。



### ■ヘッドランプ光軸切りかえ機能（LEDヘッドランプ装着車）

ヘッドランプ点灯状態で車高降下中、通行人や対向車がまぶしくないように、ヘッドランプの光軸を自動で切りかえます。

## 警告

### ■車高降下・復帰させる前に

- 車両周辺・バックドア下側に人がいないこと、車両下側や後輪付近に突起物などが無いことを十分確認してください。  
車高降下時、車両後端が大きく下がるため、手足を挟むなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、車両を損傷するおそれもあります。  
バックドアも車高に合わせて動くため、バックドア端部などで顔や頭を打たないように注意してください。
- スロープに車いすをのせたときは、車高調整スイッチを押さないでください。  
スロープの角度が変わり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 操作前にパーキングブレーキを確実にかけ、車高降下装置作動中はブレーキペダルを踏まないでください。  
ブレーキペダルから足を離れたとき、車高が急にかわり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車高降下中、シフトレバーをP以外の位置にしないでください。  
P以外の位置にすると車高が自動復帰し、転倒するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## 警告

### ■エアサスペンションについて

次の状況ではエンジンを停止してください。  
エンジンがかかった状態だと、オートレベリング機能<sup>\*</sup>により車高がかわり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

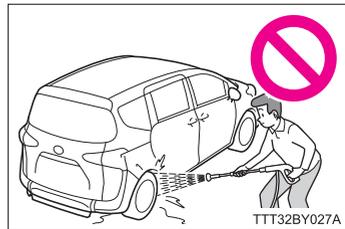
- 縁石などに乗り上げて駐車するとき
- 脱輪したとき
- ジャッキアップするとき
- タイヤチェーンを装着するとき
- レッカー車などで車を持ち上げてけん引するとき

<sup>\*</sup>：乗員の数や荷物などの積載条件がかわっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

## 注意

### ■故障・損傷・破損を防ぐために

- 砂利道など凹凸面のある路面では車高降下時、スロープの変形およびバンパー表面を傷付けるおそれがありますのでご注意ください。
- 車高を下げる前に、スロープが格納されていることを確認してください。スロープが傷付くおそれがあります。
- 車高変化が始まったら、車高調整スイッチから指を離してください。
- ドアを開けた状態で車高降下させるときは、ドア下部にドアと接触するおそれがあるようなものがないことを確認してください。
- 長期間にわたって駐車する場合、車高が自然に低下することがあります。(エンジンを始動すると、もとにもどります)  
長期間にわたって車両を駐車するとき、車高が下がった場合に、ボデーと接触するおそれのあるものがないことを確認してください。
- 高圧洗浄機を使用するときは、エアサスペンション部およびコンプレッサー部に直接水があたらないようにしてください。  
水圧が高いため、直接水があたるとエアサスペンション部およびコンプレッサー部の部品が破損するおそれがあります。



TTT32BY027A

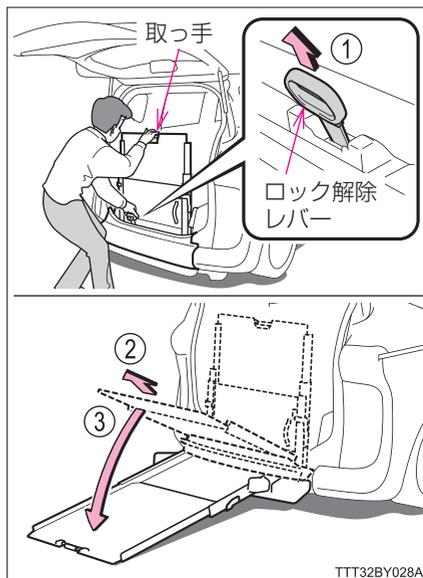
## 手動スロープ

手動スロープは、車いすまたは人を乗せた車いすをのせて車内外に乗り降りする装置です。

### 展開のしかた

スロープの展開は、必ずバックドアを全開にし、車高降下させた状態で行ってください。(→ P.70)

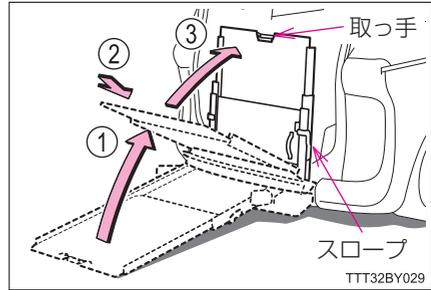
- ① スロープ先端の取っ手を片方の手で持ち、もう片方の手でロック解除レバーを引き、スロープのロックを解除する
- ② スロープ先端の取っ手をしっかり持って、スロープを車外へゆっくり引き出す
- ③ スロープをできるだけいっぱいまで引き出したら、静かに接地させる



TTT32BY028A

### 格納のしかた

- ① スロープ先端の取っ手をしっかり持って、スロープを少し持ち上げる
- ② スロープをいっぱいまで静かに押し込む
- ③ スロープをゆっくり立てて、静かに格納する
  - ・ いっぱいまで格納すると“カチ・カチ”と音がしてロックされます。
  - ・ スロープ先端の取っ手を持って前後左右にゆすり、確実にロックしていることを確認します。



## 手動スロープ前倒れ機能

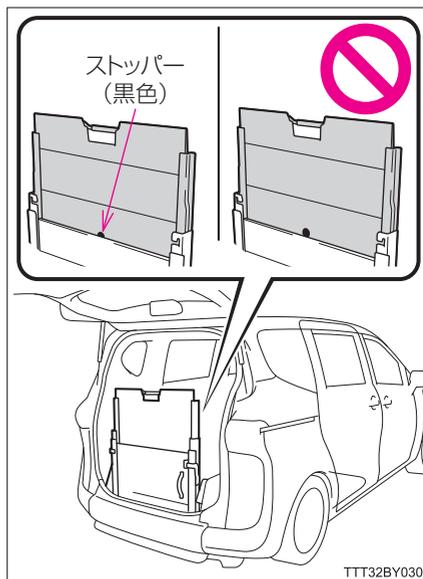
スロープを使用しないときは、スロープを前倒れにすることができます。

### ■ スロープの前倒れ・もどす操作をする前に

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にし、エンジンを停止する
- 2 スロープを格納する (→ P.77)

格納後、次のことを確認します。

- ・ スロープ先端の取っ手を持って前後左右にゆすり、起立位置で確実にロックしていること
- ・ スロープがいっぱいまで押し込まれ、ストッパー（黒色）が半分くらい隠れた状態になっていること





### ■ スロープの前倒れのしかた

- 1 スロープ左右の操作レバーを同時に引き、ロックを解除する  
スロープが前方に傾きます。



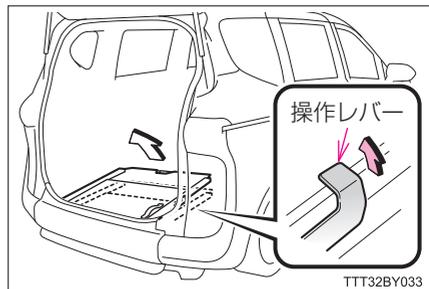
- 2 スロープ中央付近を押し、前方に倒す  
“カチッ”と音がするまで倒し、確実にロックさせます。



### ■ スロープの起こし方

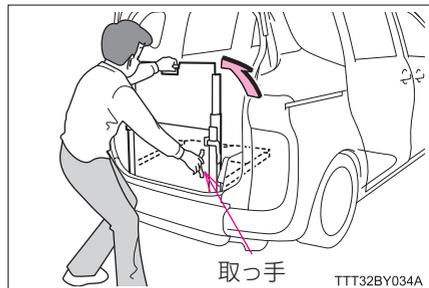
- 1 左手でスロープ中央付近を押さえながら、右手でスロープ右側の操作レバーを引き、ロックを解除する

- ・ 左側の操作レバーは操作しないでください。
- ・ ロック解除後、スロープから左手を離すとスロープが起き上がりますので、顔や体をスロープに近付けないでください。



- 2 スロープ先端の取っ手と、右側の取っ手を持ち、手前に起こす

- ・ “カチッ”と音がするまで起こし、確実にロックさせます。
- ・ 取っ手を持って前後左右にゆすり、確実にロックしていることを確認します。



 知識

### ■ スロープについて

スロープ引き出し部のレールをときどき点検し、石などの異物がつまっていないことを確認してください。異物がつまると、スロープの引き出し・格納ができなくなります。スロープの引き出し・格納がしづらくなったときは、スロープの清掃をしてください。(→ P.122)

### ■ スロープが起立状態以外でロック解除レバーを操作したときは

スロープ前倒れまたは前倒れ途中および起こす途中でロック解除レバー(→ P.76)を引いてしまった場合、スロープの展開方向のロックが半がかり状態になります。次の操作をし、スロープをロックさせてください。

- ① バンパー部分を前後左右にゆすり、スロープの展開方向のロックが半がかり状態であることを確認する
- ② スロープ先端の取っ手と、右側の取っ手を持って手前に起こし、ロックさせる(→ P.79)
- ③ スロープ先端の取っ手を持ち、通常の展開・格納操作をする(→ P.76, 77)

 警告

### ■ スロープを使用するときは

- スロープ展開後、スロープ先端が完全に接地していることを確認してください。  
段差やスロープ下部にものがあたるなどにより、スロープ先端の接地が不十分な状態で乗降すると、介助の方が足を踏みはずして転倒したり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、スロープが破損するおそれもあります。
- 必ず車高を下げてスロープを使用してください。  
車高を下げずに人が乗ったりすると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- スロープのロックを解除するときは、必ず片方の手でスロープ先端の取っ手を持ってください。  
スロープ先端の取っ手を持たずにスロープのロックを解除すると、スロープが不意に倒れ、けがをするおそれがあります。
- スロープの引き出し・格納をするときは、必ずスロープ先端の取っ手を持って操作してください。  
スロープ先端の取っ手以外の場所を持って操作すると、格納部やレール部で手を挟むなど、けがをするおそれがあります。

 **警告****■ スロープを使用するときは**

- スロープの引き出し・格納途中で絶対にスロープ先端の取っ手から手を離さないでください。  
スロープが落下し、足にあたってけがをしたり、スロープが損傷するおそれがあります。
- スロープの引き出し・格納をするときは、足元に注意しながら行ってください。  
スロープと地面のあいだで足を挟んだり、足がスロープにあたってけがをするおそれがあります。また、つまずいて転倒するおそれがあります。
- スロープを引き出すときは、できるだけいっぱいまで引き出してください。  
いっぱいまで引き出さずに使用すると、スロープが急角度になって乗降が困難になったり、路面によっては乗降時スライド部分が動き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- スロープに車いすをのせたときは、車高調整スイッチを押さないでください。  
スロープの角度が変わり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- スロープを展開したまま車を移動させないでください。  
そのまま移動するとスロープが損傷したり、スロープおよびバックドアが車外の人やものにあたるなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

**■ スロープの前倒れ・起こす操作をするときは**

- スロープを前倒れにするときは、スロープを倒す方向に人がいないことを確認してください。  
スロープ前倒れ時、スロープが人にあたったり、けがをするおそれがあります。
- スロープを前倒れにするときは、スロープ中央付近を押してください。  
スロープ両端のレール部などを持つと、手や指を挟むなど、けがをするおそれがあります。
- スロープ前倒れ状態で右側の操作レバーを操作するときは、スロープに顔や体を近付けないでください。  
操作レバーを操作してロックが解除されるとスロープが起き上がり、顔や体にあたったり、けがをするおそれがあります。
- スロープを起こすときは、必ずスロープ先端の取っ手と、右側の取っ手を持って操作してください。  
取っ手以外の場所を持って操作すると、ロック部や可動部で手や指を挟むなど、けがをするおそれがあります。

 **注意****■故障・破損・損傷を防ぐために**

- スロープ格納時、車内（2列目位置）で固定した車いすとスロープがあたらな  
ないことを確認してください。  
スロープを完全に格納することができないため、そのままバックドアを閉め  
ると、スロープとバックドアが傷付くおそれがあります。
- 車高を下げる前に、スロープが格納されていることを確認してください。  
スロープが傷付くおそれがあります。
- スロープを格納したときは、スロープ先端の取っ手を持って前後左右にゆす  
り、確実にロックしていることを確認してください。  
確実にロックしていないと、走行中異音が発生したり、バックドアにあたり  
損傷するおそれがあります。
- スロープを前倒れにする前に、スロープ前倒れ方向にもものが置かれていない  
ことを確認してください。  
そのままスロープを前倒れにすると、スロープがものにあたり、損傷するお  
それがあります。
- スロープを展開した状態で、操作レバーを操作しないでください。  
スロープの変形や、地面との接触によるバンパー傷付きの原因になります。

## 車いすの車内外への乗降・固定：2列目位置

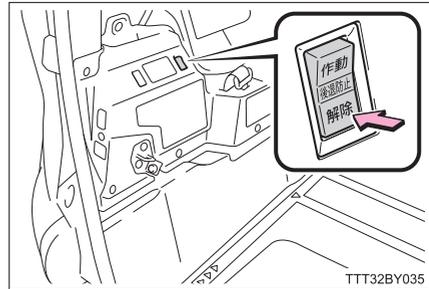
セーフティベルトを使用して、車いすを車内外に乗降します。  
車内に乗車後は、車いす固定装置（2列目用）を使用して車いすを固定します。

### 操作前の確認事項

セーフティベルト（後退防止スイッチ）および車いす固定装置（2列目用）の作動条件を確認してください。（→ P.60）

### 車いすを車内に乗り入れる前に

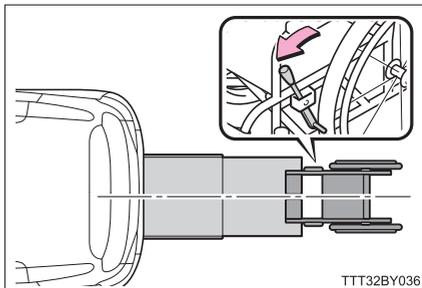
- 1 助手席側セカンドシートが着座状態になっているときは、助手席側セカンドシートを折りたたむ（タイプⅠ“助手席側セカンドシート付”／タイプⅢ“助手席側セカンドシート付”→ P.37）
- 2 車いす乗り入れ時、運転席側セカンドシートにあたる場合は、運転席側セカンドシートを折りたたむ（全車→ P.37）
- 3 セーフティベルトが後退防止作動していない（後退防止スイッチの「解除」が押されている）ことを確認する



**車いすを車内に乗り入れ・固定するとき**

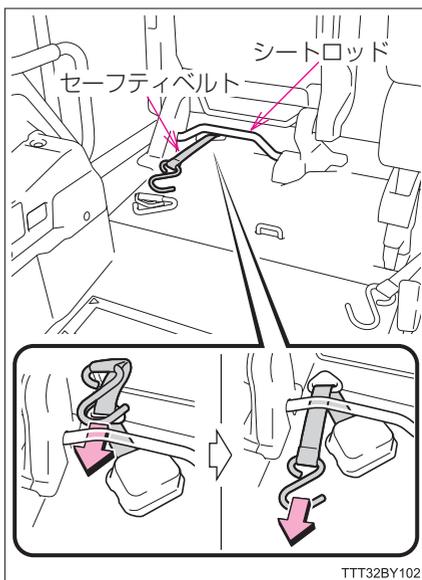
- 1 車いすをスロープの手前で停止し、車いすのブレーキを両輪ともかける

車いすの中央付近とスロープの中央付近を合わせます。



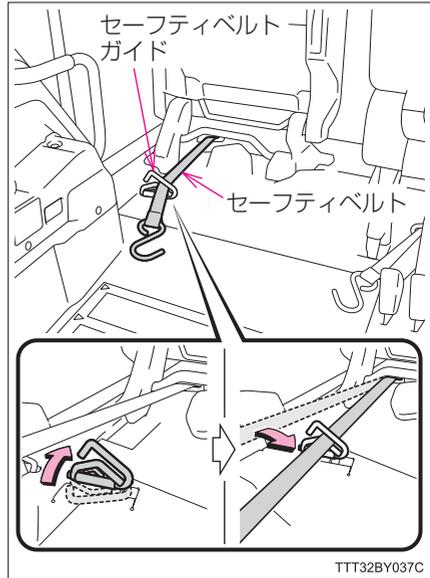
- 2 セーフティベルトをシートロッドの下へ通す

セーフティベルトを正しく通します。



- 3 セーフティベルトガイドを起こし、セーフティベルトがねじれないようにセーフティベルトガイドに通す

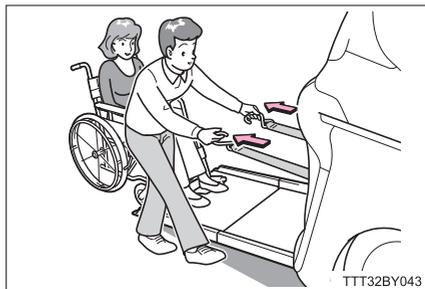
乗車される車いすの種類および運転席側セカンドシートの状態に合ったセーフティベルトガイドを使用してください。



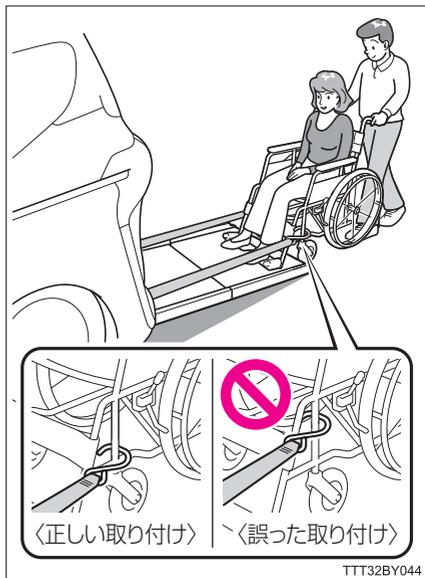
TTT32BY037C

	普通車いす	リクライニング機構付車いす
車いすの種類		
ガイドの使い方		
	運転席側セカンドシートの使用状況にかかわらず	運転席側セカンドシートを使用する場合 運転席側セカンドシートを使用しない場合
停止目安	後輪中央が 固定目安線（後）の位置	後輪中央が 固定目安線（前）の位置

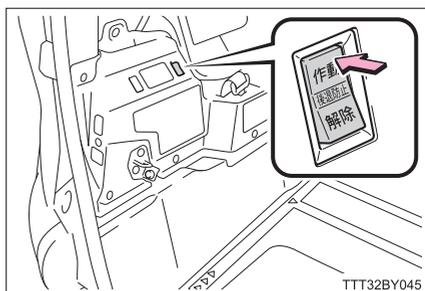
- 4 セーフティベルトのフックを持ち、手動でベルトを引き出ししながら、車いすに近づく  
ベルトがねじれないように引き出します。



- 5 ベルトにねじれがない状態で、車いすの前部フレームのいちばん下の接合部にフックをかける



- 6 後退防止スイッチの「作動」を押し、セーフティベルトを後退防止作動させる

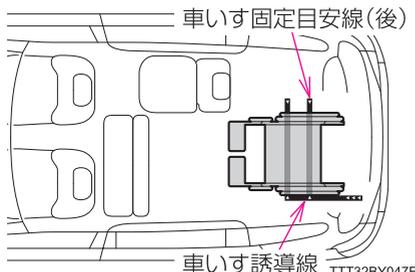
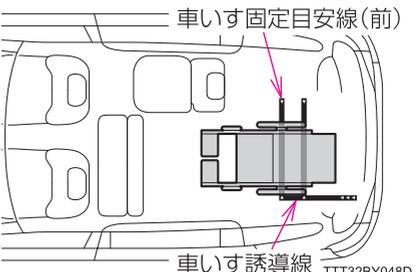




7 スロープが確実に接地していることを確認し、車いすのブレーキを両輪とも解除する

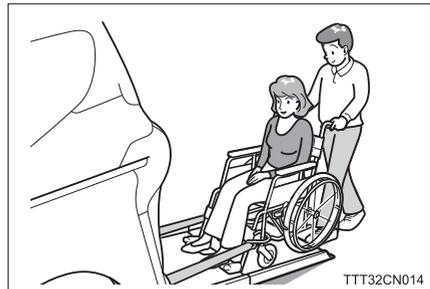
8 車いすを車内に乗り入れる

- ・床面の車いす誘導線に車いす左後輪を合わせながら、車内に乗り入れます。
- ・車いす乗車の方の足や車いすが他のシートにあたらないよう、注意しながら行います。
- ・セーフティベルトは車いすを車内に乗り入れると、自動的に巻き取られます。

普通車いす	リクライニング機構付車いす
 <p>車いす固定目安線(後)</p> <p>車いす誘導線 TTT32BY047E</p>	 <p>車いす固定目安線(前)</p> <p>車いす誘導線 TTT32BY048D</p>
<p>車いす固定目安線(後)と車いすの後輪中央が合う位置まで乗り入れる</p>	<p>車いす固定目安線(前)と車いすの後輪中央が合う位置まで乗り入れる</p>

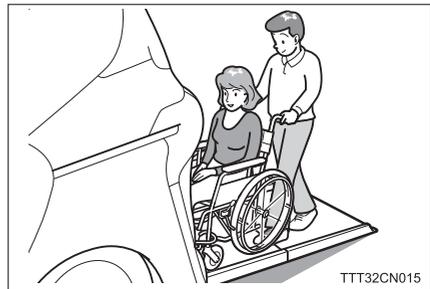
① 車いすの後輪がスロープに乗り入れたとき、一時停止し、セーフティベルトにたるみがないことを確認する

車いすを停止することで、セーフティベルトのたるみを取ります。



② 車いすが車内に乗り入れる直前に、一時停止し、セーフティベルトにたるみがないことを確認する

車いすを停止することで、セーフティベルトのたるみを取ります。



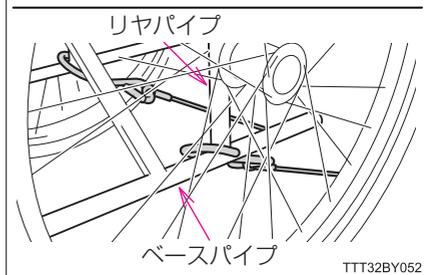
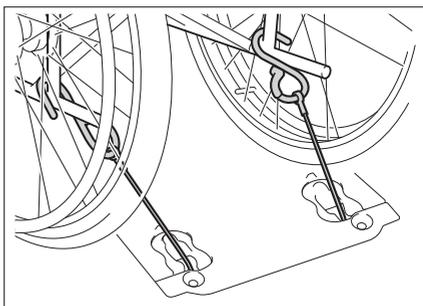
- ③ 車両に乗り入れ、車いすを車両うしろ側に引きセーフティベルトにたるみがない状態で車いす固定目安線の約5cmほど車両前側にあることを確認する

車いす固定目安線よりうしろ側になった場合は、固定目安線より前側になるように乗り入れます。



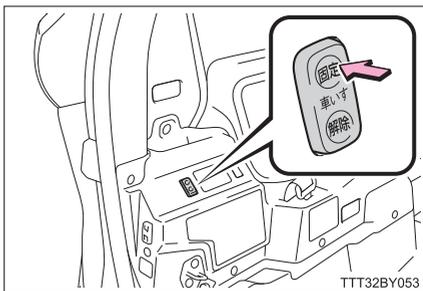
- 9 車いす固定装置のフックを床面の固定部から取りはずして引き出し、フックを車いすの後部フレームに引っかける

- ・ リヤパイプとベースパイプ接合部にフックを引っかけます。
- ・ ワイヤーにたるみが出ないようにします。



- 10 車いすが十分に引き込まれるまで車いす固定装置スイッチの「固定」を押し続け、車いす後部を固定する

「固定」を押すと、車いすが少しうしろに下がります。

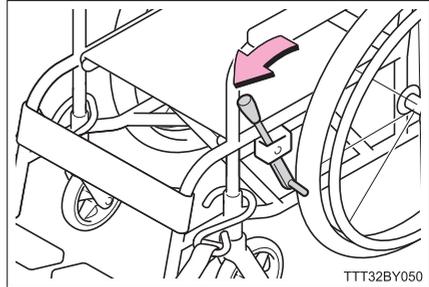


- 11 車いすの後輪中央が固定目安線より車両前側にあることを確認する

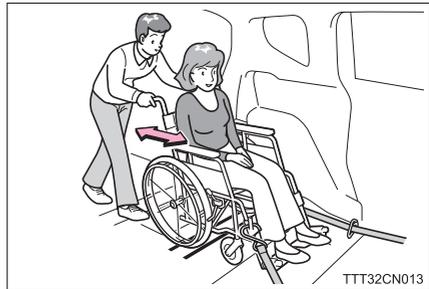
固定目安線よりうしろ側にあるときは、P.90「■車いす固定装置スイッチの「固定」を押し続けたとき、車いすが固定目安線の位置よりうしろ側に下がらずきたときは」を行い、固定し直します。



- 12 車いすのブレーキを両輪ともかける



- 13 車いすを前後にゆすり、ワイヤーにたるみがなく、車いすが確実に固定されていることを確認する



### ■ 車いす固定装置スイッチの「固定」を押し続けたとき、車いすが固定目安線の位置よりうしろ側に下がるときは

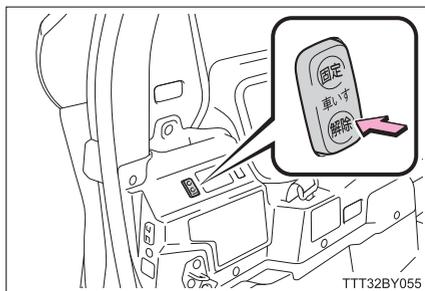
車いすとスロープ（スロープを格納した状態）があたる場合があります。このような場合は、次の手順で固定をやり直してください。

- 1 車いす固定装置スイッチの「解除」を押し続け、車いすの固定を解除する
- 2 フックを車いすの後部フレームから取りはずす
- 3 車いすのブレーキを両輪とも解除する
- 4 P.88 の **8** ③ からの操作を行い、車いすのブレーキを両輪ともかける。

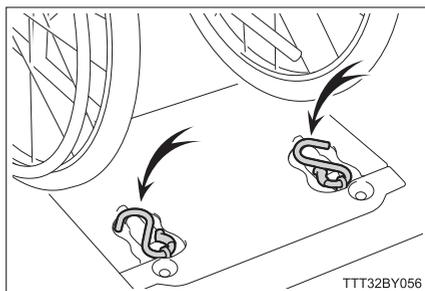
以上で車いすの車内への乗り入れ・固定は完了です。次に車いす用シートベルトを着用します。（→ P.112）

### 車いすの固定解除および車外に降ろすときは

- 1 車いす用シートベルトがはずしてあることを確認する（→ P.117）
- 2 車いす固定装置のワイヤーが完全にゆるむまで、車いす固定装置スイッチの「解除」を押し続け、車いす後部の固定を解除する

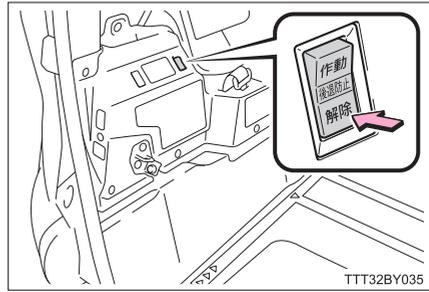


- 3 車いす固定装置のフックを車いすの後部フレームから取りはずす  
取りはずしたフックは床面の固定部に挿し込みます。



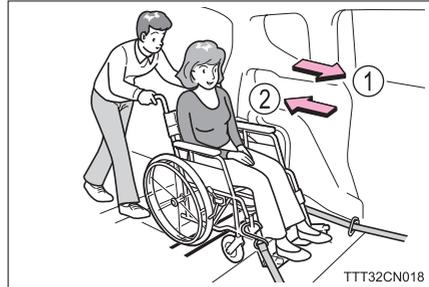
- 4 車いすのブレーキを両輪とも解除する

- 5 後退防止スイッチの「解除」を押し、セーフティベルトの後退防止作動を解除する



- 6 車いすを車外に降ろす

- ① 車いすを少し前に押し
- ② 車いすを後退させる
  - ・ セーフティベルトのフックを付けたまま車外に降ろします。
  - ・ 後退防止作動を解除しているため、介助の方は車いすのハンドルをしっかりと持ってください。



- 7 車いすのブレーキを両輪ともかける

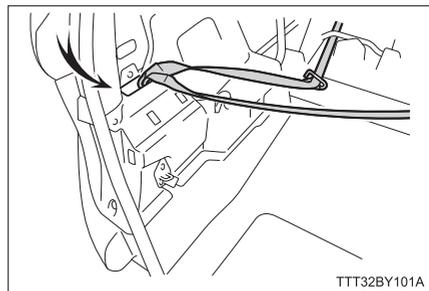
- 8 セーフティベルトのフックを手にとって車いすの前部フレームから取りはずす

フックは片方ずつ取りはずします。

- 9 セーフティベルトがねじれないように最後まで手を添えて巻き取る

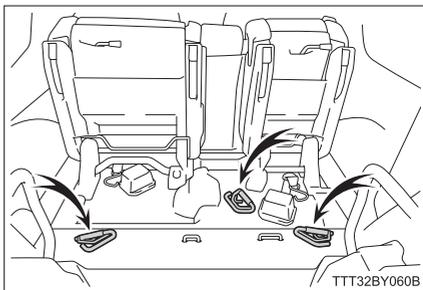
### ■ セーフティベルトの仮置き

セーフティベルトのフックを車いすから取りはずしたあと、セーフティベルト仮置きボックスに入れておくと、次に車いすを車内に乗り入れるとき、車内に入らずにベルト・フックを取り出すことができます。



### ■ セーフティベルトを使用しないときは

セーフティベルトをセーフティベルトガイドからはずし、セーフティベルトガイドを車両後方に倒す



### □ 知識

### ■ 車いすの乗車・降車方法のポイント

- お使いになっている車いすのタイプによっては、車いす乗車後、車いすとスロープ（スロープを格納した状態）があたる場合があります。このような場合は、次の確認および操作をしてください。

#### 車いすのハンドルなどとスロープがあたる

- 車いすが左右傾いて固定されていませんか？
- 乗車時に乗り入れ位置（→ P.87）まで車いすを乗り込ませましたか？（車いすの種類により、乗り入れ位置が異なります）
- セーフティベルトがたるんでいませんか？（→ P.87）

### ■ 車内でセーフティベルトのたるみを取るポイント

- ① 足があたらぬ程度に車いすを車両前方に押し込む
- ② 車いすをしっかりとうしろに引く
- ③ うしろに引いた状態で車いすの後輪中央が車いす固定目安線の約 5cm ほど前側になるまで①、②の操作を数回くり返す



①、②の操作をくり返すことで、徐々にセーフティベルトのたるみが取れます。

#### 車いすがうしろに下がってしまう

- 後退防止スイッチの「作動」が押されていますか？
- 車いすのブレーキは両輪ともかかっていますか？

- 降車時にセーフティベルトの後退防止作動が解除できないときは、いったん車いすを車両前方に少し押しします。

 知識

### ■ セーフティベルトガイドについて

車いすを車内に乗り入れるときは、車いすの種類および運転席側セカンドシートの状態に合ったセーフティベルトガイドを使用してください（→ P.85）。正しく使用しないと固定が不十分になったり、他の部品が損傷するおそれがあります。

### ■ セーフティベルトの後退防止装置の作動条件について

後退防止装置は、P.60の作動条件をすべて満たす場合に作動します。作動条件を1つでも満たさない場合は、後退防止スイッチの「解除」を押しても、セーフティベルトは常に後退防止作動状態を保持します。

作動条件	後退防止スイッチ	セーフティベルト
すべて満たす	作動	後退防止作動
	解除	後退防止作動解除
1つでも満たさない	作動	後退防止作動
	解除	

### ■ 車いす固定装置（2列目用）の作動条件について

車いす固定装置（2列目用）は、P.60の作動条件をすべて満たす場合に作動します。作動条件を1つでも満たさない場合は、車いす固定装置スイッチを押しても車いす固定装置は作動しません。

作動条件	車いす固定装置スイッチ	車いす固定装置
すべて満たす	固定	巻き締まり
	解除	ゆるむ
1つでも満たさない	固定	作動条件をすべて満たしていたときの状態を保持
	解除	

### ■ セーフティベルトについて

- セーフティベルトがねじれていないことを確認してください。  
セーフティベルトがねじれていると巻き取り不良になり、車いすを完全に車内に入れることができません。
- セーフティベルトを使用する前にセーフティベルトの点検をし、セーフティベルトにほつれ・すり切れができたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- セーフティベルトが汚れるとセーフティベルトのもどりが悪くなる場合があります。セーフティベルトのもどりが悪くなったときは、セーフティベルトの清掃をしてください。（→ P.124）

 知識

### ■ ワイヤーについて

- 車いす乗り入れ前にワイヤーの点検をし、ワイヤーにほつれ・すり切れができたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- ワイヤーが汚れるとワイヤーのもどりが悪くなることがあります。ワイヤーのもどりが悪くなったときは、ワイヤーの清掃をしてください。(→ P.125)

 警告

### ■ ウェルキャブ 車いす仕様車（スロープタイプ）の操作をするときは

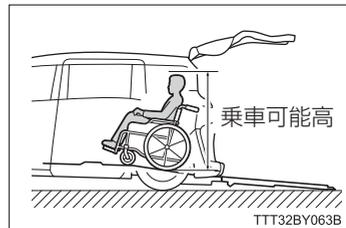
- 操作はすべて介助の方が行い、車いす乗車の方に合図し、安全に十分注意しながら行ってください。
  - ・ 車いす乗車の方が操作すると、手足を挟まれたり、車いすがスロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ 急に車いすの乗降を行うと、車いすが転倒するおそれがあり危険です。(車いすを車外に降ろすときは特にご注意ください)
  - ・ 車内を移動するときは、車いす乗車の方の手足や腕がシートなどに挟まれないように注意してください。
- 風の強い場所や風雨の強い日、また降雨時や降雪時など悪天候のときはスロープがすべりやすいので注意してください。
- スロープ表面がぬれている状態で車いすをスロープに乗り入れないでください。  
スロープ表面がぬれているとすべりやすくなります。スロープ表面の水分をふき取ってから使用してください。  
雨天時など、完全に水分をふき取れない場合は、足元に十分注意してください。
- 介助の方は、車いすに乗車されている方の手や足が車いすの内側にあることを確認してください。  
車内の部品やシートで手や足を挟み、けがをするおそれがあります。
- 介助の方が車いすから離れるとき（セーフティベルトのフックの脱着時や後退防止スイッチ操作時など）は、車いすのブレーキを両輪とも確実にかけてください。  
車いすのブレーキを両輪ともかけずに車いすから離れると、車いすが自重で後退するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



## 警告

### ■ 車いすの車内外への乗降操作をするときは

- スロープに乗降するときは足元に注意し、スロープ中央を通過してください。中央以外を通ると足を踏みはずし、スロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。  
傾斜したスロープは車いすがバランスをくずしやすく、脱輪や転倒のおそれがあります。車いすの動きに注意し、ゆっくり乗降してください。
- スロープ先端が完全に接地していることを確認してください。  
段差やスロープ下部にものがあたるなどにより、スロープ先端の接地が不十分な状態で乗降すると、介助の方が足を踏みはずして転倒したり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、スロープが破損するおそれもあります。
- スロープに車いすをのせたときは、不要なスイッチ類を押したり、シフトレバーをP以外の位置にしないでください。  
装置の不意な作動により、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ 車高調整スイッチの「上」を押すと、スロープの角度が変わり、車いすから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ 後退防止スイッチの「解除」を押すと、後退防止作動が解除され、車いすがスロープから滑り落ちるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ シフトレバーをP以外の位置にすると、車高が自動復帰するため、スロープの角度が変わり、車いすが転落するおそれがあり危険です。
- 車内外に乗降するときは、バックドア・ドア開口部および天井に頭をぶつけないように注意してください。  
(乗車可能高：1275mm)  
スロープに車いすを乗り入れるときや乗り入れ後に車外へ出る(もどる)とき、頭上の注意がおろそかになりやすいので、バックドア端部やバックドア開口部に注意してください。
- 車いすを勢いよく押し込まないでください。  
車いす乗車の方がシートや車内の部品にあたり、けがをするおそれがあります。



 **警告**

- 車いすは必ず所定の位置まで乗り入れてください。(→ P.87)  
車いすが所定の位置まで乗り入れていないと、正しく固定できない場合があります。
  - ・ 乗り入れ位置が前すぎると、車いす乗車の方の足がセカンドシートにあたるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
  - ・ 乗り入れ位置がうしろすぎると、車いすがスロープにあたり、スロープを完全に格納することができません。そのままバックドアを閉めると、スロープとバックドアが傷つくおそれがあります。
- 車いすを車内に乗り入れたときは、セーフティベルトのフックを車いすの前部フレームから取りはずさないでください。  
セーフティベルトは車いす前側の固定装置として使用します。セーフティベルトのフックを車いすの前部フレームから取りはずした状態では車いすが固定されず、走行中に車いすが動き出し、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 車いすを車内に乗り入れたときは、セーフティベルトがたるんでいないことを確認してください。(→ P.87)  
セーフティベルトが巻き締まらずたるんでいると、走行中にセーフティベルトがゆるんで車いすが動き、重大な事故につながるおそれがあり危険です。セーフティベルトが確実に巻き締まらない場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。
- 車いすを車外に降ろすときは、車いすのブレーキを解除する前に後退防止スイッチの「解除」を押さないでください。  
後退防止スイッチの「解除」を先に押すと、車いすのブレーキが解除されたらたん、車いすが傾いて重大な事故につながるおそれがあり危険です。
- 車いすを車外に降ろすときは、車いすのブレーキは介助の方が解除し、車いすが不意に動き出さないよう、介助の方がしっかり支えてください。  
しっかり支えていないと、車いすのブレーキが解除されたらたん、車いすが動き出し、スロープからすべり落ちるなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- セーフティベルトのフックを車いすから取りはずすときは、手に持ってゆっくりと行ってください。  
フックから急に手を離すと、セーフティベルトが勢いよく巻き取られ、けがををするおそれがあります。
- セーフティベルトガイドを使用しないときは、セーフティベルトガイドを必ず車両後方に倒してください。  
セーフティベルトガイドを立てたままにしておくと、車内を移動するときにつまずいて転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。(→ P.19)


**警告**
**■ 車いすを固定するとき**

- 車いすを固定する前に、セーフティベルトが車いす乗車の方の足や車いすのフットレストに引っかかっていないことを確認してください。  
そのまま車いすを固定すると、車いす乗車の方がけがをしたり、車いすの固定が不十分になり、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- フックを扱うときは、フックをしっかりと持ってください。  
車いす固定装置ワイヤーは自動巻き取り式のため、しっかり持たないとフックおよびワイヤーが手などにあたり、けがをするおそれがあります。
- 車いす固定装置のフックを車いすのフレームに脱着するときは、フックとフレームとのあいだで指などを挟まないよう注意してください。
- 車いすを固定したときは、車いすを前後にゆすり、ワイヤーにたるみがなく、確実に固定されていることを確認してください。  
固定がはずれると走行中に車いすが動き出し、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ・ 固定を確認しているときに、車いすとフックとのあいだで手を挟まないように注意してください。
  - ・ ワイヤーにねじれがないことを確認してください。ワイヤーがねじれていると十分に固定できない場合があります。
  - ・ 車いすの固定が不十分なときは、車いすの固定位置およびフックを引っかける位置を確認後、車いす固定装置スイッチの「解除」を押し、操作をやり直してください。
  - ・ 車いすが所定の位置よりうしろに下がったときは、車いす固定装置スイッチの「解除」を押し（→P.90）、操作をやり直してください。
  - ・ 車いす固定装置スイッチの「解除」を押しても車いす固定装置が作動しないときは、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 車いす固定装置のフックを取りはずしたときは、必ずフックを床面の固定部にもどしてください。  
フックを放置したままだと車いすを車外に降ろすとき、介助の方が足を引っかけたり、車いすにフックが引っかかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車いす固定装置使用中、ワイヤーが傷付いたりほつれたりした場合は、すぐにトヨタ販売店でワイヤーの交換を行ってください。  
そのまま使い続けると、走行中に車いすの固定がはずれ、車いす乗車の方が転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあります。

**■ 車内を移動するとき**

→ P.18

 **注意****■故障・損傷などを防ぐために**

- 車いす固定装置のフックを床面の固定部に収納したまま、車いす固定装置スイッチの「固定」を押さないでください。  
車いす固定装置が故障するおそれがあります。
- 車いすに車いす固定装置のフックを引っかけるときは、フックのワイヤーにねじれがないことを確認してください。  
ワイヤーが損傷するおそれがあります。

## 車いすの車内外への乗降・固定：1.5 列目位置（タイプⅡ）

車内に乗車後は、車いす固定装置（1.5 列目用）を使用して車いす（主に小児用車いす）を固定します。

### 操作前の確認事項

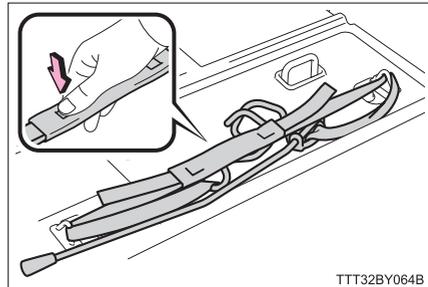
車いす固定装置（1.5 列目用）の作動条件を確認してください。（→ P.60）

### 車いすを車内に乗り入れる前に

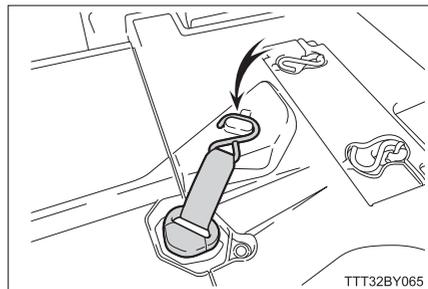
1 専用助手席シートを折りたたむ（→ P.31）

2 ベルトカバーのボタン部分を押しながらベルトをゆるめ、フロント固定ベルトの長さを調整する

お使いの車いすに対して、前輪固定フックのかけはずしが可能な範囲で極力ベルトを短く調整します。

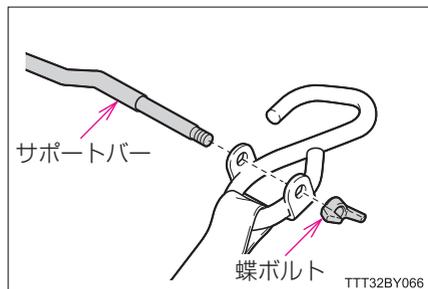


3 助手席側のセーフティベルトのフックを床面に固定する



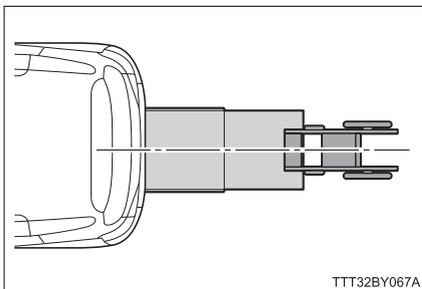
4 サポートバーが車いすにあたる場合は、フロント固定ベルトのサポートバーを取りはずす

蝶ボルトをゆるめてはずし、サポートバーを前輪固定フックから引き抜きます。



### 車いすを車内に乗り入れ・固定するとき

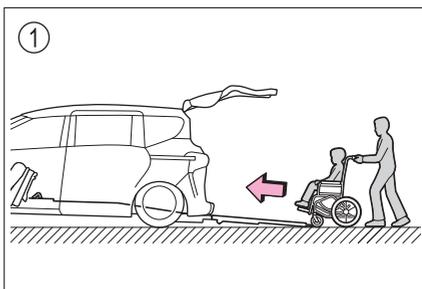
- 1 車いすの中央付近とスロープの中央付近を合わせて停止する



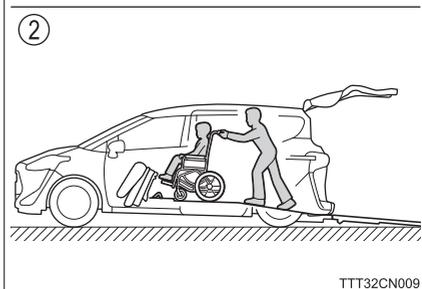
- 2 車いすのブレーキを両輪とも解除し、車いすを車内にゆっくり乗り入れる

セーフティベルトは使用しません。

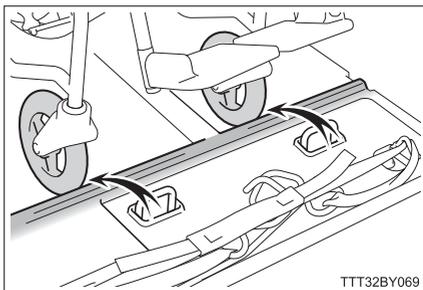
- ① 車いすを押してスロープをのぼる



- ② 車内に入ったら専用助手席シート後方までゆっくり進む  
車いす乗車の方の足や車いすが専用助手席シートにあたらないよう、注意しながら行きます。

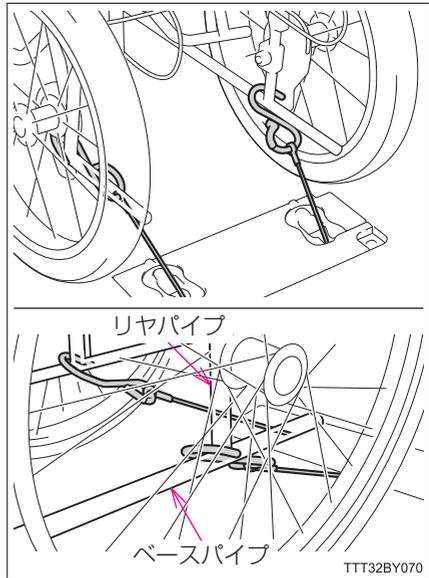


- 3 車いすの前輪が専用助手席シートの床面ロック手前の車止めにあたる位置で停止する



- 4 車いすのブレーキを両輪ともかける
- 5 車いす固定装置のフックを床面の固定部から取りはずして引き出し、フックを車いすの後部フレームに引っかける

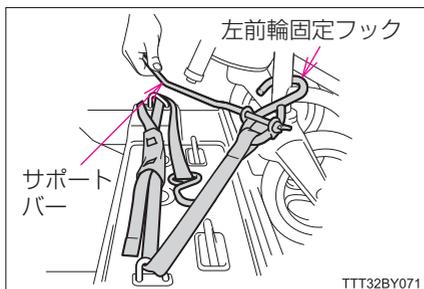
- ・ リヤパイプとベースパイプ接合部にフックを引っかけます。
- ・ ワイヤーにたるみが出ないようにします。



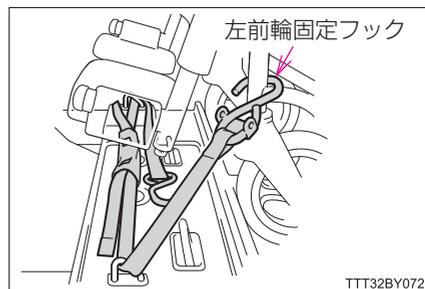
- 6 車いす用シートベルトを着用する (→ P.115)
- 7 スロープを格納する (→ P.77)
- 8 車高調整スイッチの「上」を押し、車高をもどす (→ P.71)
- 9 バックドアを閉める  
バックドアがスロープにあたらないことを確認しながらゆっくりと閉めます。

**10** 車いすの左前輪フレーム接合部に左前輪固定フックを引っかける

▶ サポートバーが車いすにあたらぬ場合



▶ サポートバーが車いすにあたる場合



① 運転席シートに座る

② サポートバーを手に持ち、車いすにフックを引っかける

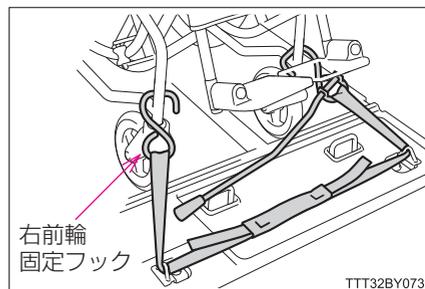
① 助手席ドアを開ける

② フックを手に持ち、車いすにフックを引っかける

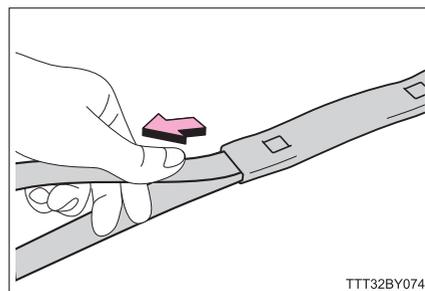
③ 助手席ドアを閉める

④ 運転席シートに座る

**11** 右前輪固定フックを手に持ち、車いすの右前輪フレーム接合部にフックを引っかける



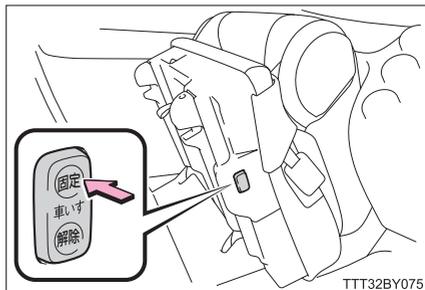
**12** 運転席側の調整ベルトを引っ張り、フロント固定ベルトのたるみを取る





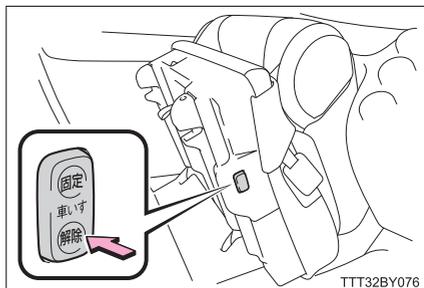
**13** 車いす固定装置のワイヤーが巻き締まりするまで、専用助手席シートの車いす固定装置スイッチの「固定」を押し続ける

- ・「固定」を押すと、車いすが少し後退します。
- ・車いすを軽くゆさぶり、ワイヤーにたるみがなく、確実に固定されていることを確認します。

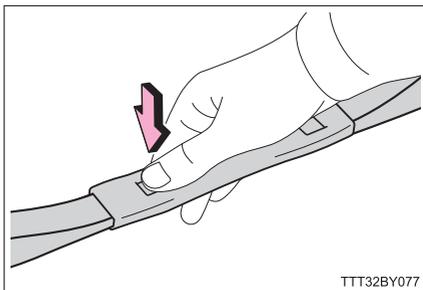


## 車いすの固定解除および車外に降ろすときは

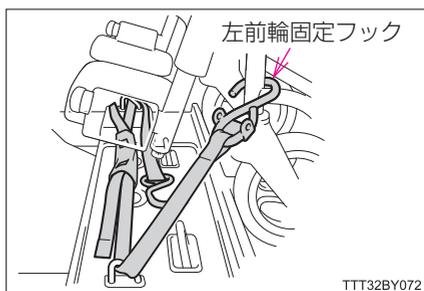
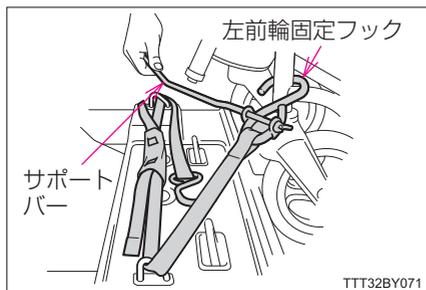
- 1 車いす固定装置のワイヤーが完全にゆるむまで、専用助手席シートの車いす固定装置スイッチの「解除」を押し続ける



- 2 ベルトカバーのボタン部分を押しながらフロント固定ベルトを引き、ベルトをゆるめる

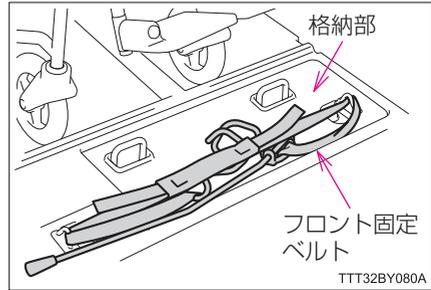


- 3 フロント固定ベルトの前輪固定フックを車いすの前輪フレームからはずす
- ▶ サポートバー使用時                      ▶ サポートバー不使用時



- ① 右前輪固定フック (→ P.102) を手に持ち、車いすの右前輪フレーム接合部からフックをはずす
- ② サポートバーを手に持ち、車いすの左前輪フレーム接合部から左前輪固定フックをはずす
- ① 右前輪固定フック (→ P.102) を手に持ち、車いすの右前輪フレーム接合部からフックをはずす
- ② 車外に出て助手席ドアを開ける
- ③ フックを手に持ち、車いすの左前輪フレーム接合部から左前輪固定フックをはずす
- ④ 助手席ドアを閉める

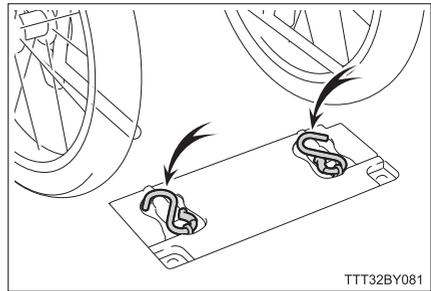
- 4 前輪固定フックおよびフロント固定ベルトを床面の格納部に格納する



- 5 バックドアを全開にする
- 6 車高調整スイッチの「下」を押し、車高を下げる (→ P.70)
- 7 スロープを展開する (→ P.76)
- 8 車いす用シートベルトをはずす (→ P.118)

- 9 車いす固定装置のフックを車いすから取りはずす

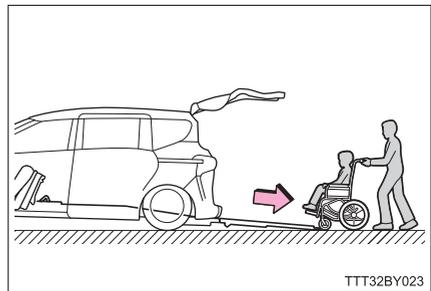
取りはずしたフックは床面の固定部に挿し込みます。



- 10 車いすのブレーキを両輪とも解除する

- 11 車いすを引き、ゆっくり車外に降ろす

セーフティベルトは使用しません。



- 12 車いすのブレーキを両輪ともかける

## 知識

### ■ 車いす固定装置（1.5 列目用）の作動条件について

車いす固定装置（1.5 列目用）は、P.60 の作動条件をすべて満たす場合に作動します。作動条件を 1 つでも満たさない場合は、車いす固定装置スイッチを押しても車いす固定装置は作動しません。

作動条件	車いす固定装置スイッチ	車いす固定装置
すべて満たす	固定	巻き締め
	解除	ゆるむ
1 つでも満たさない	固定	作動条件をすべて満たしていたときの状態を保持
	解除	

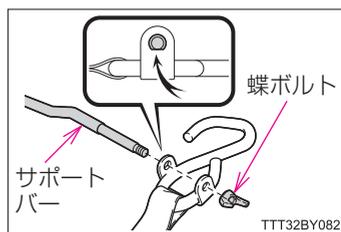
### ■ フロント固定ベルトおよび車いす固定装置のワイヤーについて

- 車いす乗り入れ前にベルトおよびワイヤーの点検をし、ベルトおよびワイヤーにほつれ・すり切れができたり、正常に作動しなくなったときは、トヨタ販売店で交換してください。
- ワイヤーが汚れるとワイヤーのもどりが悪くなることがあります。ワイヤーのもどりが悪くなったときは、ワイヤーの清掃をしてください。（→ P.125）

### ■ サポートバーを取りはずす必要がないときは

フロント固定ベルトのサポートバーを取り付けます。

- ① 左前輪固定フックの穴の形を参考に、サポートバーの水平面を下向きにして左前輪固定フックの穴に挿し込む
- ② 蝶ボルトを締め込み、サポートバーがはずれないようにする



 **警告****■ ウェルキャブ 車いす仕様車（スロープタイプ）の操作をするときは**

- 操作はすべて介助の方が行い、車いす乗車の方に合図し、安全に十分注意しながら行ってください。
  - ・ 車いす乗車の方が操作すると、手足を挟まれたり、車いすがスロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ 急に車いすの乗降を行うと、車いすが転倒するおそれがあり危険です。（車いすを車外に降ろすときは特にご注意ください）
  - ・ 車内を移動するときは、車いす乗車の方の手足や腕がシートなどに挟まれないように注意してください。
- 風の強い場所や風雨の強い日、また降雨時や降雪時など悪天候のときはスロープがすべりやすいので注意してください。
- スロープ表面がぬれている状態で車いすをスロープに乗り入れないでください。  
スロープ表面がぬれているとすべりやすくなります。スロープ表面の水分をふき取ってから使用してください。  
雨天時など、完全に水分をふき取れない場合は、足元に十分注意してください。
- 介助の方は、車いすに乗車されている方の手や足が車いすの内側にあることを確認してください。  
車内の部品やシートで手や足を挟み、けがをするおそれがあります。
- 介助の方が車いすから離れるとき（車いす用シートベルト装着時など）は、車いすのブレーキを両輪とも確実にかけてください。  
車いすのブレーキを両輪ともかけずに車いすから離れると、車いすが自重で後退するなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

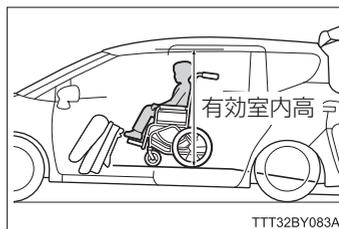
**■ 車いすの車内外への乗降操作をする前に**

助手席側のセーフティベルトのフックを床面に固定してください。（→ P.99）  
フックを放置したままだと車いすにフックが引っかかったり、車内を移動するときにつまずいて転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

## 警告

### ■ 車いすの車内外への乗降操作をするときは

- スロープに乗降するときは足元に注意し、スロープ中央を通過してください。中央以外を通ると足を踏みはずし、スロープから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。  
傾斜したスロープは車いすがバランスをくずしやすく、脱輪や転倒のおそれがあります。車いすの動きに注意し、ゆっくり乗降してください。
- スロープ先端が完全に接地していることを確認してください。  
段差やスロープ下部にものがあたるなどにより、スロープ先端の接地が不十分な状態で乗降すると、介助の方が足を踏みはずして転倒したり、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、スロープが破損するおそれもあります。
- スロープに車いすをのせたときは、車高調整スイッチの「上」を押したり、シフトレバーをP以外の位置にしないでください。  
装置の不意な作動により、スロープから車いすが転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ 車高調整スイッチの「上」を押すと、スロープの角度が変わり、車いすから転落するなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ シフトレバーをP以外の位置にすると、車高が自動復帰するため、スロープの角度が変わり、車いすから転落するおそれがあり危険です。
- 車内外に乗降するときは、バックドア・ドア開口部および天井に頭をぶつけないように注意してください。  
(有効室内高：1215mm)  
スロープに車いすを乗り入れるときや乗り入れ後に車外へ出る(もどる)とき、頭上の注意がおそれになりやすいので、バックドア端部やバックドア開口部に注意してください。
- 車いすを勢いよく押し込まないでください。  
車いすが車止めを乗り越えて、格納した専用助手席シートにあたるおそれがあります。
- 車いすは必ず所定の位置まで乗り入れてください。(→ P.100)  
車いすが所定の位置まで乗り入れていないと、正しく固定できない場合があります。
- 車いすを車外に降ろすときは、車いすのブレーキは介助の方が解除し、車いすが不意に動き出さないよう、介助の方がしっかり支えてください。  
しっかり支えていないと、車いすのブレーキが解除された瞬間、車いすが動き、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



 **警告****■ 車いすを固定するときは**

- フックを扱うときは、フックをしっかりと持ってください。  
車いす固定装置ワイヤーは自動巻き取り式のため、しっかり持たないとフックおよびワイヤーが手などにあたり、けがをするおそれがあります。
- 車いす固定装置のフックを車いすのフレームに脱着するときは、フックとフレームとのあいだで指などを挟まないよう注意してください。
- 車いすを固定したときは、必ず車いすを前後左右にゆすり、ベルトおよびワイヤーにたるみがなく、確実に固定されていることを確認してください。  
固定がはずれると走行中に車いすが動き出し、思わぬ事故の原因になって、重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ・ 固定を確認しているときに、車いすとフックとのあいだで手などを挟まないように注意してください。
  - ・ ワイヤーにねじれがないことを確認してください。ワイヤーがねじれていると十分に固定できない場合があります。
  - ・ 車いすの固定が不十分なときは、車いすの固定位置およびフックを引っかける位置を確認後、車いす固定装置スイッチの「解除」を押し、操作をやり直してください。
  - ・ フロント固定ベルトにねじれがないことを確認してください。フロント固定ベルトがねじれていると十分に固定できない場合があります。
  - ・ 車いす固定装置スイッチの「解除」を押しても車いす固定装置が作動しないときは、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 取りはずしたフロント固定ベルトおよび車いす固定装置のフックを床面に放置しないでください。  
車いすを車外に降ろすとき、介助の方が足を引っかけたり、車いすにフックが引っかかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車いす固定装置使用中、ワイヤーが傷付いたりほつれたりした場合は、すぐにトヨタ販売店でワイヤーの交換を行ってください。  
そのまま使い続けると、走行中に車いすの固定がはずれ、車いす乗車の方が転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあります。

**■ フロント固定ベルトのサポートバーを取りはずしたときは**

取りはずしたサポートバーおよび蝶ボルトを床面に放置しないでください。  
車いすの車輪にあたって乗車のさまたげになったり、車いすの車輪に引っかかって車いす転倒するなど、重大な傷害を受けるおそれがあります。

**■ 車内を移動するときは**

→ P.18

 **注意****■故障・破損・損傷を防ぐために**

- バックドアを閉めるときは、スロープが確実に格納されていることを確認してください。  
バックドアおよびスロープが破損するおそれがあります。
- 車いす固定装置のフックを床面の固定部に収納したまま、車いす固定装置スイッチの「固定」を押さないでください。  
車いす固定装置が故障するおそれがあります。
- 車いすに車いす固定装置のフックを引っかけるときは、フックのワイヤーにねじれがないことを確認してください。  
ワイヤーが損傷するおそれがあります。
- 取りはずしたフロント固定ベルトを床面に放置しないでください。  
フロント固定ベルトが床面に放置されていると、専用助手席シートを着座状態にもどすとき、専用助手席シートのロック機構にベルトを挟み込み、ベルトの切断やロック機構を破損するおそれがあります。



## 車いす用シートベルト

3点式のシートベルトです。

体の動きに合わせて伸縮しますが、強い衝撃で体が前へ倒れそうなきには、ベルトが自動的にロックされ体を固定します。

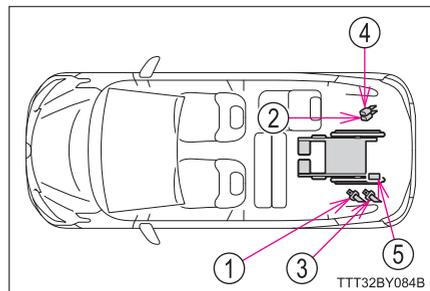
シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の方法に従って走行前に必ず着用してください。

シートベルトの着用は介助の方が行ってください。

### シートベルトの構成

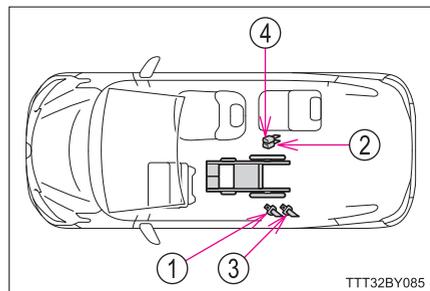
#### ◆ 2列目位置

- ① 腰部ベルト用プレート
- ② 腰部ベルト用バックル
- ③ 肩部ベルト用プレート
- ④ 肩部ベルト用バックル
- ⑤ シートベルトリルータ



#### ◆ 1.5列目位置 (タイプⅡ)

- ① 腰部ベルト用プレート
- ② 腰部ベルト用バックル
- ③ 肩部ベルト用プレート
- ④ 肩部ベルト用バックル



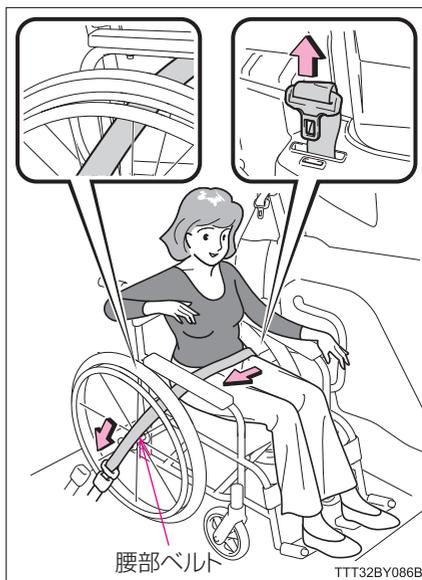
## 2 列目位置での着用のしかた

### 1 腰部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

### 2 腰部ベルトを車いすの左右の アームレストの下側および車い すのスポークのあいだを通し、 腰部ベルトを装着する

- ・“カチッ”と音がするまでプレート  
をバックルに挿し込みます。
- ・バックルは車いすに近い側のもの  
を使用してください。

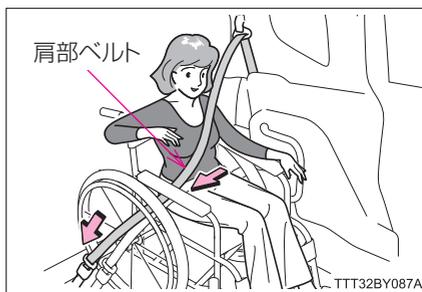


### 3 肩部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

### 4 肩部ベルトを車いす右側のア ームレストの下側および車いすの スポークのあいだを通し、肩部 ベルトを装着する

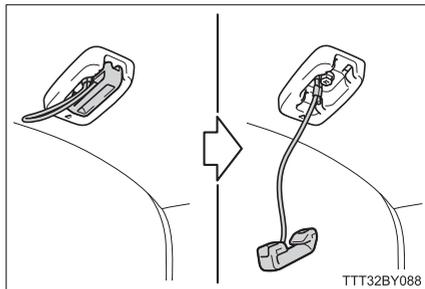
- ・“カチッ”と音がするまでプレ  
ートをバックルに挿し込みます。
- ・バックルは車いすから遠い側  
のものを使用してください。
- ・肩部ベルトが肩にかからない場  
合はシートベルトリルータを使  
います。(→ P.113)



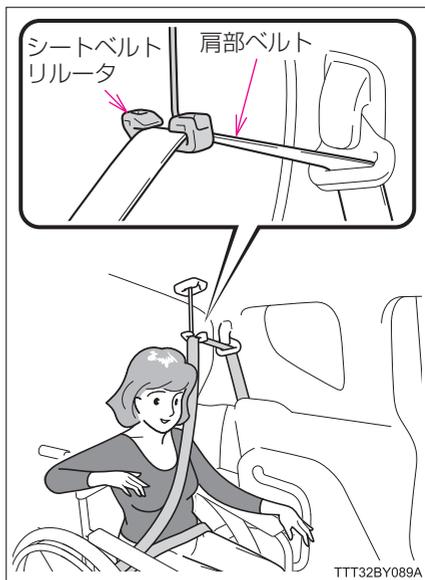
### ■ 肩部ベルトが肩にかからない場合

肩部ベルトが首にあたり、肩からはずれて腕にかかってしまうときは、肩部ベルトをシートベルトリルータに通します。

- 1 天井の格納部からシートベルトリルータを取り出す



- 2 肩部ベルトがねじれないことを確認し、肩部ベルトをシートベルトリルータに通す

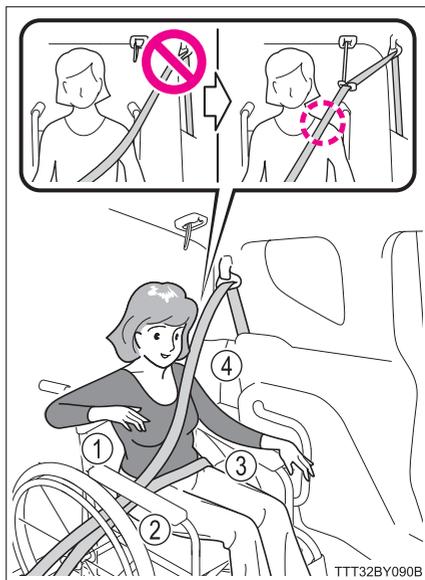


- 3 肩部ベルトをシートベルトリルータに通したまま、肩部ベルトを装着する

### ■ 正しく着用するには

シートベルトを調整し、ベルトにねじれがないことを確認し、次のとおり正しく着用する

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② 腰部ベルト・肩部ベルトとも、アームレストの下とスポークのあいだを通す
- ③ 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける
  - ・ 首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
  - ・ 肩部ベルトが肩にかからない場合はシートベルトリルータを使用してください。



## 1.5 列目位置での着用のしかた (タイプⅡ)

### 1 腰部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

### 2 腰部ベルトを車いすの左右の アームレストの下側および車い すのスポークのあいだを通し、 腰部ベルトを装着する

- ・“カチッ”と音がするまでプレート  
をバックルに挿し込みます。
- ・バックルは車いすに近い側のもの  
を使用してください。

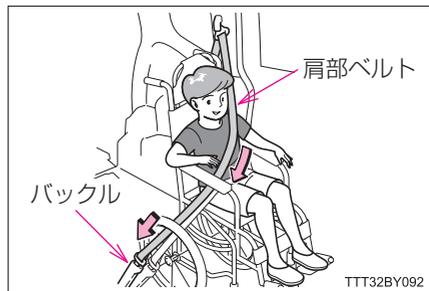


### 3 肩部ベルトを持って引き出す

ベルトにねじれがないことを確認しながら引き出します。

### 4 肩部ベルトを車いす右側のア ームレストの下側および車いすの スポークのあいだを通し、肩部 ベルトを装着する

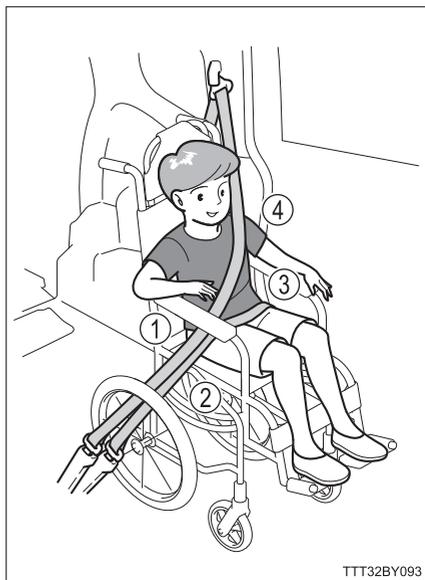
- ・“カチッ”と音がするまでプレ  
ートをバックルに挿し込みます。
- ・バックルは車いすから遠い側  
のものを使用してください。



**■ 正しく着用するには**

シートベルトを調整し、ベルトにねじれがないことを確認し、次のとおりに正しく着用する

- ① 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ② 腰部ベルト・肩部ベルトとも、アームレストの下とスポークのあいだを通す
- ③ 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- ④ 肩部ベルトを肩に十分かける首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。

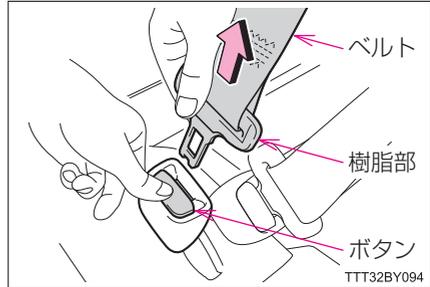


TTT32BY093

## 2 列目位置のシートベルトのはずし方

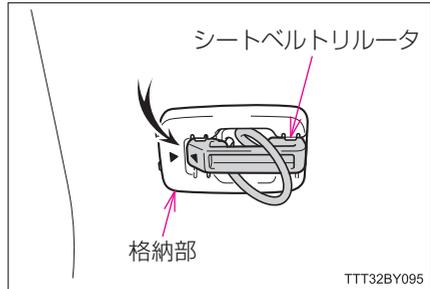
- 1 バックルのボタンを押してプレートはずす

- ① プレートの樹脂部を手で持つ
- ② バックルのボタンを押す
- ③ プレートの樹脂部を手で持ったまま、ベルトを巻き取らせる



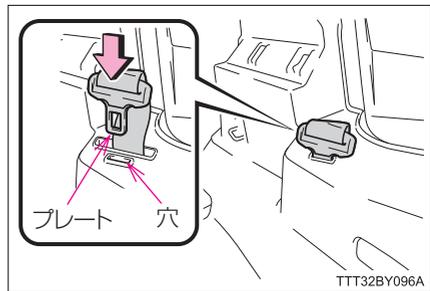
- 2 シートベルトリルータを使用したときは、天井の格納部にもどす

シートベルトリルータと格納部の▲マークが向き合うようにはめ込みます。



- 3 腰部ベルトのプレートを穴に挿し込み収納する

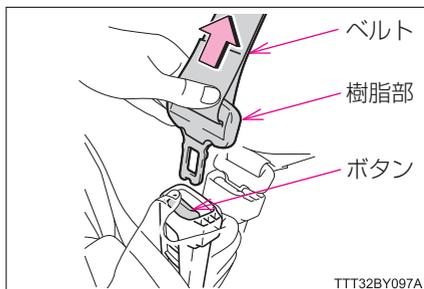
ベルトにねじれがなく、確実に挿し込まれたことを確認してください。



## 1.5 列目位置のシートベルトのはずし方 (タイプII)

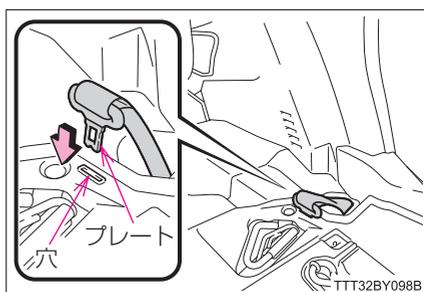
- 1 バックルのボタンを押してプレートをはずす

- ① プレートの樹脂部を手で持つ
- ② バックルのボタンを押す
- ③ プレートの樹脂部を手で持ったまま、ベルトを巻き取らせる



- 2 腰部ベルトのプレートを穴に挿し込み収納する

ベルトにねじれがなく、確実に挿し込まれたことを確認してください。



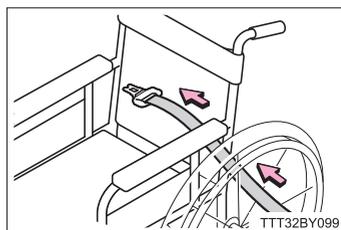
### 知識

#### ■ シートベルトがロックしたまま引き出せないときは

一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。

#### ■ 車いすの側板後部にスペースがある車いすをご使用の場合

右図のように腰部ベルトを通すと、腰骨のより低い位置に腰部ベルトがかけられます。





 **警告****■ シートベルトを着用するときは**

- シートベルトの着用は必ず助手の方が行い、正しく着用されていることを確認してください。  
シートベルトは正しく着用しないと、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 3点式シートベルトは必ず肩部ベルトと腰部ベルトの両方を着用してください。  
2列目位置で肩部ベルトが肩にかからないときは、シートベルトリルータを使用してください。(→ P.113)
- シートベルトを着用するときは、必ず車いすが固定されていることを確認してください。  
車いすの固定が悪いと車いすが動き出し、車いす乗車の方のシートベルトが正しく着用できなくなり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートベルトは必ずアームレストの下側およびスポークのあいだを通してください。  
シートベルトがアームレストにかかった状態で着用すると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ シートベルトをはずすときは**

- プレートバックルからはずすときは、必ずプレートの樹脂部を手で持ってからバックルのボタンを押してください。
  - ・ プレートの樹脂部を持ってはずさないで、プレートが勢いよくもどり、顔などにあたり、けがをするおそれがあります。
  - ・ 2列目位置の肩部ベルトのプレートをバックルからはずすときは、車いす乗車の方の頭や顔にあたるおそれがあるため、特に注意してください。
- 2列目位置でシートベルトリルータを使用しないときは、必ず天井の格納部に格納してください。  
シートベルトリルータを出したままだと、車内外に乗降時、シートベルトリルータが顔や頭などにあたり、けがをするおそれがあります。

## 走行する前に（2列目位置）

車いす用シートベルト着用後、車両を次の状態にします。

- 1 スロープを格納する（→ P.77）
- 2 車高をもどす（→ P.71）
- 3 バックドアを閉める  
バックドアがスロープにあたらないことを確認しながらゆっくりと閉めます。

### 警告

#### ■ 車いすを車内に乗り入れたときは

- タイプⅠ“助手席側セカンドシート無” / タイプⅡ / タイプⅢ“助手席側セカンドシート無”で2列目位置に車いすを乗り入れたときは、助手席シートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。

助手席シートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすることがあります。車いす乗り入れ後、助手席シートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

- 2列目位置に車いすを乗り入れたときは、運転席側セカンドシートの後方スライドや背もたれをうしろ側に倒す操作を急激に行わないでください。運転席側セカンドシートの操作を急激に行うと、車いす乗車の方にあたり、けがをすることがあります。車いす乗り入れ後、運転席側セカンドシートの調整をするときは、車いす乗車の方にあたらないことを確認しながらゆっくりと行ってください。

### 注意

#### ■ 破損を防ぐために

バックドアを閉めるときは、スロープが確実に格納されていることを確認してください。

バックドアおよびスロープが破損するおそれがあります。

## お手入れのしかた

# 4

### 4-1. お手入れのしかた

手動スロープの清掃 ..... 122

ベルトの清掃 ..... 124

車いす固定装置の清掃 ..... 125

### 4-2. 簡単な点検・部品交換

ガレージジャッキ ..... 126

## 手動スロープの清掃

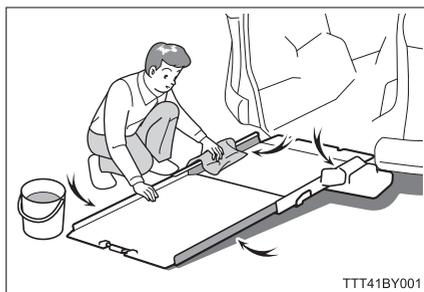
スロープの引き出しレール部に泥や小石、砂などの異物がつまると、スロープの引き出し・格納操作ができなくなります。  
次の方法でスロープを清掃してください。

### 清掃のしかた

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にし、エンジンを停止する
- 2 バックドアを全開にする
- 3 スロープを展開する（→ P.76）  
車高を降下させる必要はありません。
- 4 スロープを清掃する

#### ▶ 引き出しレール部

- ① 泥や小石、砂などの異物があつたらブラシなどを使用して取り除く
- ② 水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る



TTT41BY001

#### ▶ スロープ全体

水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る

スロープを持ち上げた状態でスロープ裏面などを清掃するときは、片方の手でスロープ先端の取っ手を持ってスロープを持ち上げ、もう片方の手で清掃します。



TTT41BY002

 **警告****■ スロープを清掃するときは**

- 必ずエンジンを停止してください。  
誤って車高調整スイッチが押された場合、不意に車高が変化し、手足を挟まれ重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- スロープの可動部や端部、突起部などを清掃するときは、手や指を挟まないよう、十分注意してください。
- スロープを持ち上げた状態でスロープ裏面などを清掃するときは、必ず片方の手でスロープ先端の取っ手を持ってスロープを持ち上げてください。  
スロープ先端の取っ手以外の部分を持つと、手を挟まれけがをするおそれがあります。

## ベルトの清掃

セーフティベルト、フロント固定ベルト（タイプⅡ）および車いす用シートベルトが汚れたときは、次の方法でベルトを清掃してください。

### 清掃のしかた

中性洗剤かぬるま湯を含ませた布で軽くふき取る

乾くまで使用しないでください。

### 警告

#### ■ベルトを清掃するときは

- ベルトの清掃にベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤を使用しないでください。  
有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤を使用すると、ベルトの性能が低下し、十分な効果を発揮せず、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。清掃するときは、中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでベルトを使用しないでください。
- セーフティベルトおよび車いす用シートベルトを清掃するときは、フックまたはプレートをしっかり持ち、ベルトの状態を確認しながら行ってください。ベルトが不意に巻き取られ、けがをするおそれがあります。

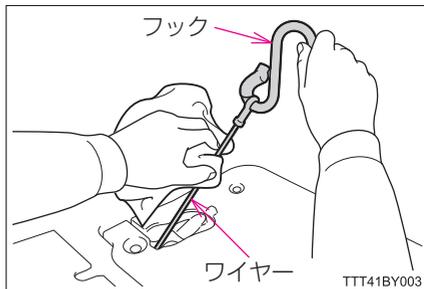
## 車いす固定装置の清掃

車いす固定装置のワイヤーが汚れると、ワイヤーのもどりが悪くなることがあります。次の方法でワイヤーを清掃してください。

### 清掃のしかた

フックを持ってワイヤーを引き出し、清掃します。

- ① ワイヤーに砂やほこりなどの汚れが付着していたら、ワイヤーの状態を確認しながら、ゆっくりとやわらかい布などで汚れをふき取る
- ② 潤滑剤を含ませた布で再度ワイヤーをふく



タイプⅡにお乗りの方は、2列目位置および1.5列目位置とも、同様の方法で行います。

### ⚠ 警告

#### ■ 車いす固定装置を清掃するときは

車いす固定装置に水をかけないでください。

電気部品に水がかかって故障の原因になったり、車両火災につながるおそれがあります。

万一、電気部品に水がかかってしまった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

#### ■ ワイヤーを清掃するときは

- フックをしっかり持ち、ワイヤーの状態を確認しながら行ってください。

フックから急に手を離すとワイヤーが不意に巻き取られ、けがをするおそれがあります。

- ワイヤーに直接ふれないでください。

ワイヤーに傷やほつれがあった場合、けがをするおそれがあります。

ワイヤーがほつれている場合は、ワイヤーの交換が必要です。車いす固定装置をそのまま使用せず、トヨタ販売店にご相談ください。

## ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

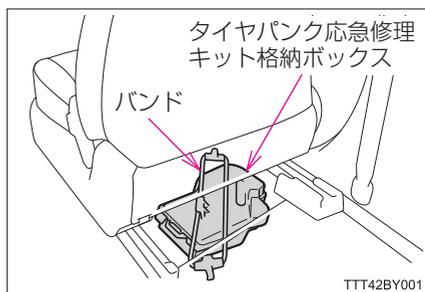
正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをしたりするおそれがあります。

フロント側のセット位置およびお守りいただきたいことは標準車と同様ですので、標準車取扱書の「ガレージジャッキ」を併せて参照してください。

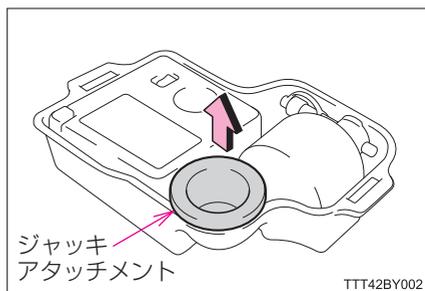
### ジャッキアタッチメントの取り出し

リヤ側にガレージジャッキをセットするときは、ジャッキアタッチメントを取り出し・使用します。

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にし、エンジンを停止する
- 2 運転席シートをいちばん前にスライドさせる（→標準車取扱書の「フロントシート」）
- 3 バンドをはずし、タイヤパンク応急修理キット格納ボックスを取り出す



- 4 フタを開けてジャッキアタッチメントを取り出す

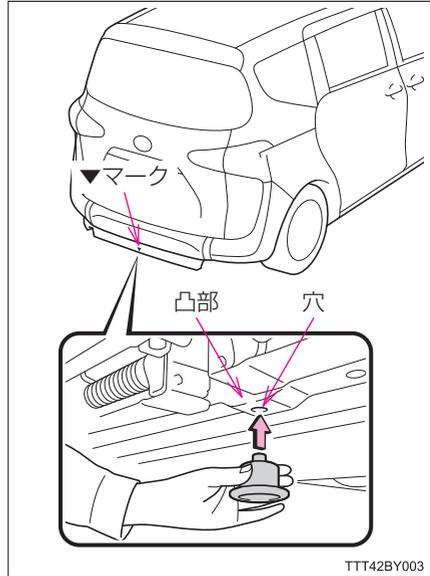




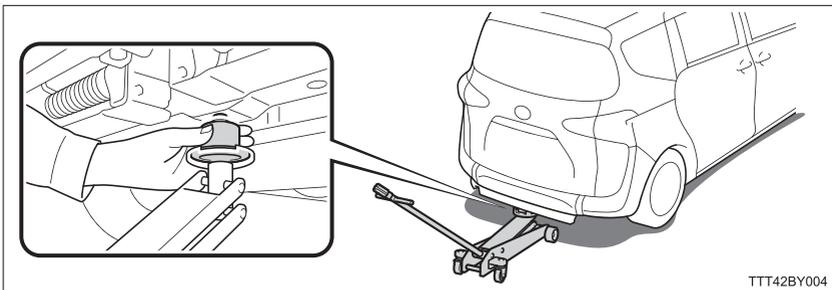
## ジャッキアタッチメントのセット位置

車両後側下部（リアバンパーの▼マークから少し奥側）の凸部の穴に、ジャッキアタッチメント先端の突起を押し込む

ジャッキアタッチメントは固定されませんので、使用するときにはジャッキアタッチメントの側面を持ちます。（絶対に底面を持たないでください）



## リヤ側のガレージジャッキのセット方法



- 1 ジャッキアタッチメントの側面を持った状態で、ガレージジャッキをジャッキアタッチメント底面にあてる
- 2 ジャッキアタッチメントが動かなくなったら、ジャッキアタッチメントから手を離し、車両から離れる

## 使用後は

- 1 ジャッキアタッチメントが車両後側下部の穴からはずれたことを確認する
- 2 ジャッキアタッチメントを元の場所に収納する

 **警告****■ ジャッキアタッチメントを使用するときは**

- ジャッキアタッチメントは必ず正しい位置に取り付けてください。  
誤った位置に取り付けた状態でジャッキアップすると、車両が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
また、車両に無理な力がかかり、車両の破損・損傷の原因にもなります。
- ガレージジャッキをセットするときは、必ずジャッキアタッチメントの側面を持ってください。  
ジャッキアタッチメントの底面を持つと、ガレージジャッキセット時に指などを挟み、骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ガレージジャッキをセット後、ジャッキアタッチメントが動かなくなったら車両から離れてください。  
車両の下に入ったまま車両を持ち上げると、万一ガレージジャッキがはずれたときに車両の下敷きになるなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 車両を持ち上げるときは**

必ずエンジンを停止してください。

エンジンがかかった状態だと、オートレベリング機能※により車高が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

※：乗員の数や荷物などの積載条件がかわっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

## 万一の場合には

# 5

### 5-1. パンクしたときは

タイヤパンク 応急修理キット.....	130
ジャッキ.....	131

### 5-2. 故障かな？と

#### お考えになる前に

ヒューズの交換 .....	133
車高降下装置が 作動しないときは.....	136
セーフティベルトが 引き出せない・後退防止作動 しないときは.....	137
車いす固定装置が 作動しないときは.....	138

### 5-3. 緊急時の対処法

けん引されるときは .....	139
-----------------	-----

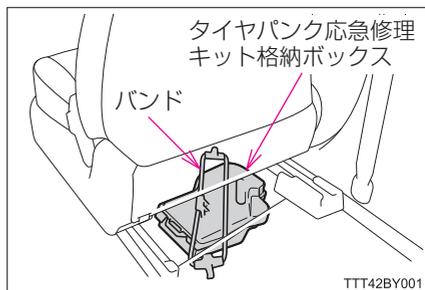
## タイヤパンク応急修理キット

運転席シート下部に装備されます。

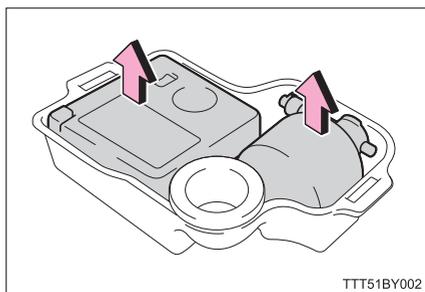
タイヤパンク応急修理キットの取り扱いについては、標準車取扱書の「パンクしたときは」を併せて参照してください。

### タイヤパンク応急修理キットの取り出し

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にし、エンジンを停止する
- 2 運転席シートをいちばん前にスライドさせる（→標準車取扱書の「フロントシート」）
- 3 バンドをはずし、タイヤパンク応急修理キット格納ボックスを取り出す



- 4 フタを開けてタイヤパンク応急修理キットを取り出す



### 知識

#### ■ タイヤパンク応急修理キットについて

この車両には応急用タイヤが搭載されていません。タイヤがパンクしたときにタイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。タイヤパンク応急修理キットの使用方法是標準車と同様ですので、標準車取扱書の「パンクしたときは」を併せて参照してください。

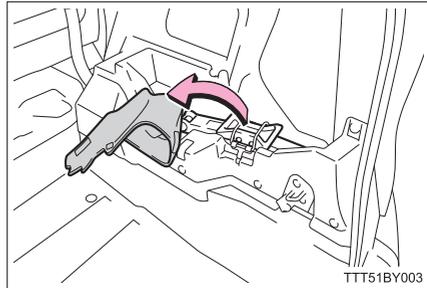
## ジャッキ

運転席側デッキサイド部に装備されます。

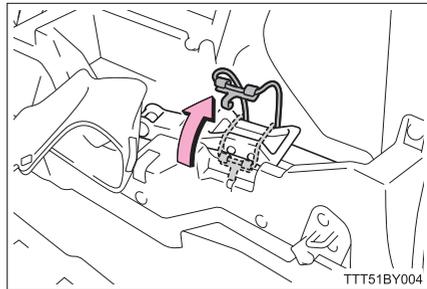
ジャッキの取り扱いについては、標準車取扱書の「パンクしたときは」を併せて参照してください。

### ジャッキの取り出し

- 1 安全で平坦な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPの位置にし、エンジンを停止する
- 2 運転席側デッキサイド部のカーペットをめくる



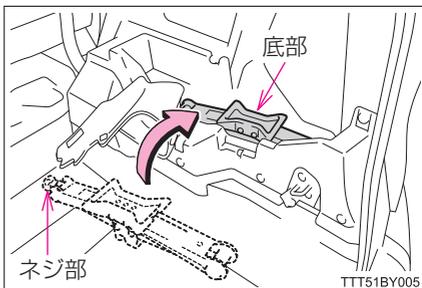
- 3 ゴムバンドのフックを収納ブラケットからはずす



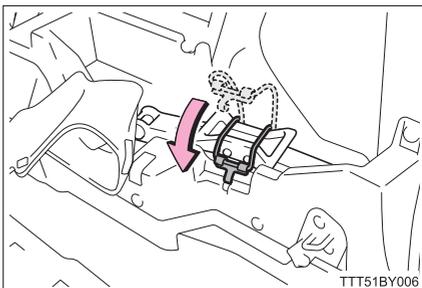
- 4 ジャッキを取り出す

## ジャッキの収納

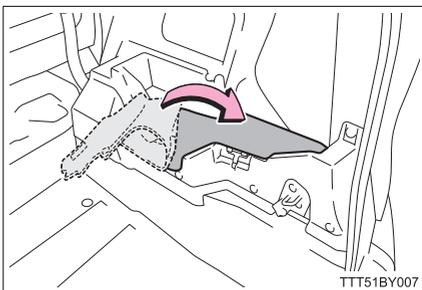
- 1 ジャッキの底部を上側・ネジ部を車両前方に向け、収納部に挿し込む



- 2 ゴムバンドのフックを収納ブラケットにかける



- 3 カーペットをもどす



### ⚠ 警告

#### ■ ジャッキの取り出し・収納をするときは

ゴムバンドの取り付け・取りはずし時、指などを挟まないように注意してください。

#### ■ ジャッキを使用したあとは

所定の場所に確実に保管してください。

車室内などに放置すると、乗降時につまずいたり、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに乗員にあたるなど、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

## ヒューズの交換

ヒューズを点検する前に、各装置ごとの作動条件（→P.60）をすべて満たしていることを確認してください。

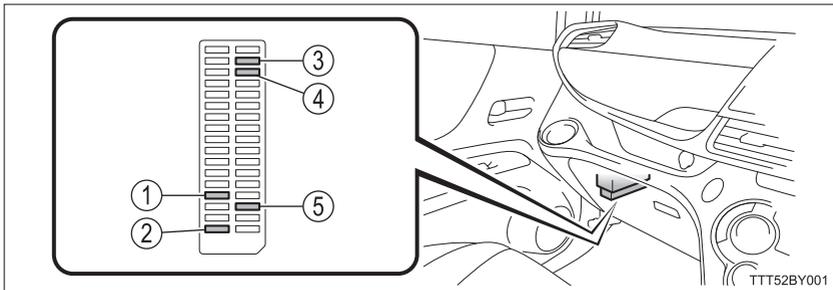
作動条件を確認したにもかかわらず、装置が正常に作動しないときは、ヒューズの点検を行ってください。

ヒューズが切れたときは、必ず規定容量のヒューズと交換してください。

### ヒューズ位置

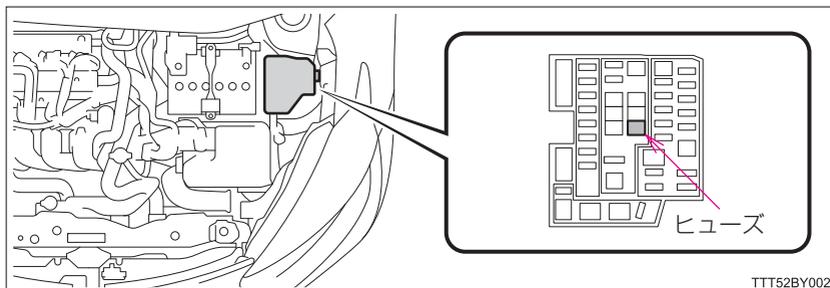
#### ■ 助手席側ヒューズボックス

ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
① SLOPE NO.2	20A	車いす固定装置（2列目用）
② ALT/DRL	10A	車いす固定装置（2列目用）
③ IG1 NO.3	10A	車いす固定装置（2列目用）
		車いす固定装置（1.5列目用）
④ IG1 NO.2	7.5A	車高降下装置
		セーフティベルト （後退防止スイッチ）
⑤ DOME	10A	夜間照明灯

### ■ エンジンルーム内ヒューズボックス：助手席側

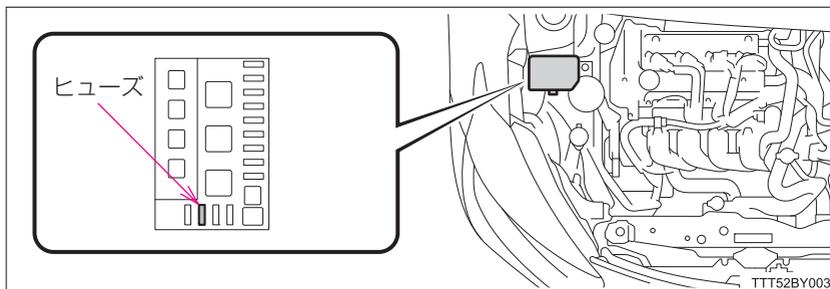


ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
AIR SUS	50A ※	車高降下装置

※：ヒューズの点検・交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

### ■ エンジンルーム内ヒューズボックス：運転席側（タイプII）

ヒューズの点検・交換方法については、標準車取扱書の「ヒューズの点検・交換」をお読みください。



ヒューズ名称	アンペア数	使用装置
SLOPE NO.1	20A	車いす固定装置（1.5列目用）



 知識

## ■ 車高降下装置について

- 車高降下・復帰操作をくり返し（目安として4分間に3回以上）行くと、エアサスペンションのコンプレッサーの過熱防止（保護）のため、しばらく作動しなくなることがありますが、ヒューズ切れではありません。
- メーター内の車高調整インジケーターおよび助手席側デッキサイド部の車高降下装置異常ランプが黄色点灯した場合は、車高降下装置のシステムに何らかの異常が発生していますので、すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。（→ P.73）

## ■ ヒューズを交換したあとは

次の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても電気系統の装置が働かないとき

 警告

## ■ 車の故障や火災を防ぐために

次のことをお守りください。  
お守りいただかないと車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズまたはヒューズ以外のものを使用しない
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用する
- ヒューズやヒューズボックスを改造しない

## 車高降下装置が作動しないときは

次の処置をしてください。

### 作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.60)

### ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.133, 134)

### 作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。  
修理が完了するまで、絶対にスロープに車いすを乗せないでください。

#### ■ 走行可能な車高の場合

そのまま運転してトヨタ販売店で点検を受けてください。

#### ■ 走行できない車高の場合

次の方法で車高復帰（上昇）させ、そのまま運転してトヨタ販売店で点検を受けてください。

1 パーキングブレーキを確実にかける

2 エンジンを始動する

3 ブレーキペダルを踏んでシフトレバーをP以外の位置に動かし、周囲の安全を確認後、ブレーキペダルから足を離す

- ・ 車高復帰忘れ防止機能により、車高が復帰（上昇）します。(→ P.72)
- ・ ブレーキペダルを踏んだままだと車高復帰しません。シフトレバーを動かしたあと、必ずブレーキペダルから足を離してください。
- ・ 車高復帰が完了すると、メーター内の車高調整インジケーターが消灯します。(→ P.71)
- ・ 車高が変化しなかった場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

## セーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しないときは

次の処置をしてください。

### 作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.60)

### ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても後退防止作動をしない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.133)

### 作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしてもセーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。  
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

#### ■ 車いす乗車の方のみ車外に降ろすときは

万一、セーフティベルトが引き出せず、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方のみ降ろしてください。

- 1 車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にする
- 2 車いす乗車の方を降ろす

#### ■ セーフティベルトが巻き取れないときは

セーフティベルトに雪や雨などが付着したり、寒冷時においてセーフティベルトが凍結した場合、セーフティベルトの巻き取りができなくなることがあります。

セーフティベルトの巻き取りができないときは、セーフティベルトに付着した雨や雪などをふき取ってから、セーフティベルトを巻き取ります。

## 車いす固定装置が作動しないときは

次の処置をしてください。

### 作動条件の確認

作動条件をすべて満たしていることを確認してください。(→ P.60)

### ヒューズの点検・交換

作動条件をすべて満たしていても作動しない場合は、ヒューズを点検・交換してください。(→ P.133, 134)

### 作動条件の確認およびヒューズの点検・交換をしても作動しない場合

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。  
修理が完了するまで、絶対に車いすを乗せないでください。

#### ■ 車いす乗車の方のみ車外に降ろすときは

万一、車いす固定装置が作動しなくなり、車いすを車外に降ろすことができなくなったときは、次の方法で車いす乗車の方のみ降ろしてください。

- 1 車いす乗車の方を降ろしやすい側のスライドドアを全開にする
- 2 車いす乗車の方を降ろす

## けん引されるときは

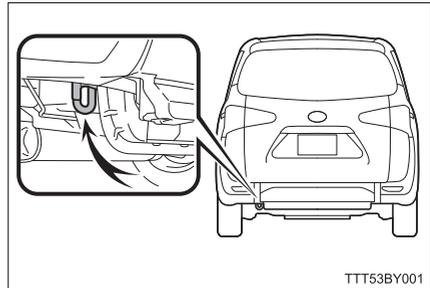
けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

ここでは標準車との相違点のみ記載しています。ここに記載してあること以外は標準車と同様ですので、標準車取扱書の「けん引について」を併せて参照してください。

### 緊急時のけん引

リヤの固縛用フックを緊急用フックとしても使用できます。

固縛用フックにロープなどをかけるときは、必ず助手席側の固縛用フックを使用してください。



### ⚠ 警告

#### ■ レッカー車などで車を持ち上げてけん引するときは

必ずエンジンを停止してください。

エンジンがかかった状態だと、オートレベリング機能※により車高が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

※：乗員の数や荷物などの積載条件が変わっても、常に一定の高さになるよう、自動で車高を制御する機能

### ⚠ 注意

#### ■ 損傷を防ぐために

運転席側の固縛用フックを使用したり、リヤバンパーおよびスロープにロープなどをかけないでください。

バンパーやスロープが損傷するおそれがあります。



## 点検・整備項目

# 6

### 6-1. 点検・整備項目

定期点検整備 ..... 142

## 定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために、定期点検整備をお願いします。  
点検結果を記録する際には、巻末の記録簿を A4 サイズにコピーして使  
用してください。

タイプⅢに装備される助手席回転チルトシートの定期点検整備につい  
ては、別冊の「ウェルキャブ 助手席回転チルトシート車取扱書」を参  
照してください。

点検整備項目	点検時期			交 換 時 期 (年)	備考
	日	自家用車			
		12 か 月 ご と	24 か 月 ご と		
ス ロ ー プ	各部取り付け部				
	ゆるみ、損傷		○		取り付け部のゆるみ、スロー プ本体の損傷、取っ手(スロー プ先端・右側)・リヤバンパー 部ロックの締め付け状態
	各部のガタ		○		格納(起立)時ロック・前 倒れ・展開状態のガタ
各部の機能					
作動状態	○			ロック解除レバー・操作レ バーのもどり不良、スロー プ引き出し・格納・前倒れ・ 展開操作の異音・荷重、バッ クドアの閉まり具合	

※：空欄については点検および交換の必要はありません。



点検整備項目	点検時期		交換 時期 (年)	備考
	日	自家用車		
		12 か 月 ごと		
リヤエアサスペンション	エアサスペンション			
	取り付け部のゆるみ	○		締め付けトルクが基準値内にあること
	損傷	○		エアサスペンションに亀裂・傷など損傷がないこと
	コンプレッサー			
	ゆるみ、ガタ	○		締め付けトルクが基準値内にあること
	作動中の異音	○		異音がないこと
配管・ジョイント部	配管・ジョイント部			
	損傷	○		損傷・エアもれがないか点検する
セーフティベルト	ベルトの損傷			
	汚れ、傷、ほつれ	○		ほつれが始まったら交換
	機能			
	引き出し、巻き取りの状態	○		
	ロック状態	○		
車いす固定装置	フロント固定ベルト(タイプⅡのみ)・ワイヤーの損傷(タイプⅡは1.5列目用、2列目用とも同時に点検する)			
	汚れ、傷、ほつれ	○		ほつれが始まったら交換
	機能(タイプⅡは1.5列目用、2列目用とも同時に点検する)			
	引き出し、巻き取りの状態	○		
	ロック状態	○		

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

点検整備項目	点検時期		交換 時期 (年)	備考
	日	自家用車		
		12 か 月 ごと		
車いす用シートベルト	ベルトの損傷			
	汚れ、傷、ほつれ	○		ほつれが始まったら交換

※：空欄については点検および交換の必要はありません。

### リヤエアサスペンションの締め付けトルク基準値

単位：N・m {kgf・cm}

部品	締め付けトルク基準値
コンプレッサーブラケット 取り付けボルト（1本）・ナット（2本）	29 {296}

### 消耗部品

次の部品は使用頻度・経年変化などにより、消耗・劣化する部品です。  
点検時に摩耗や損傷状態を見て早めに交換してください。

- 交換作業はトヨタ販売店にお申し付けください。

消耗部品
夜間照明灯の電球（12V/5W）

**さくいん**

こんなときは (症状別さくいん) .....	146
五十音順さくいん.....	152

## こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

タイプⅢに装備される助手席回転チルトシートについてお困りの際は、別冊の「ウェルキャブ 助手席回転チルトシート車取扱書」を参照してください。

## 車いすについて



### 車いすがスロープおよび車内の正しい位置に乗り入れできない

- 車いす乗車の目安を確認してください。（→ P.55）
- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。（→ P.55～58）
- スロープの耐荷重 200kg 以内で使用してください。（→ P.54）
- 車いすを車内に乗り入れる前に、シートを調整してください。（2 列目位置→ P.83 / 1.5 列目位置→ P.99）
- 正しい手順で乗り入れているか、確認してください。（2 列目位置→ P.84 / 1.5 列目位置→ P.100）



### 車いす固定装置・フロント固定ベルト（タイプⅡ）のフックが車いすにかからない

- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。（→ P.55～58）  
車いすのフレーム形状によっては、車いす固定装置のフックが正しくかけられないときがあります。
- 車いすを所定の位置まで乗り入れ、車いすのブレーキを両輪ともかけていますか？（2 列目位置→ P.87 / 1.5 列目位置→ P.100）
- 1.5 列目位置乗車時、サポートバーが車いすにあたる場合、フロント固定ベルトのサポートバーを取りはずしましたか？（→ P.99）



### 車いす用シートベルトが正しく着用できない

- 車いすのアームレスト下側にカバーなどありませんか？（→ P.55）
- シートベルトの着用手順を確認してください。（2 列目位置→ P.112 / 1.5 列目位置→ P.115）
- 2 列目位置で肩部ベルトが肩にかからない場合、シートベルトリルータを使用してください。（→ P.113）

**車高降下装置について****車高降下中、車高が自動復帰した**

- 車高降下中にシフトレバーを P 以外の位置にしませんでしたか？  
（→ P.72）

**車高調整スイッチを押しても車高が変化しない**

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.60）
- ブレーキペダルを踏んでいませんか？（→ P.70）
- 短時間にくり返し操作していませんか？（→ P.72）

**車高降下速度が遅い、または車高降下が完了しない**

- 氷・雪または石などがボデーに接触していませんか？（→ P.72）

**車両右側後方から音が聞こえる**

- エアサスペンションの作動音です。故障ではありません。（→ P.73）

**スイッチを操作しなくても車高がかわった**

- オートレベリング機能により車高調整が行われています。（→ P.73）

**車高調整インジケーターおよび車高降下装置異常ランプが黄色点灯し、車高降下・復帰が停止した**

- 車高降下装置のシステムに何らかの異常が発生しています。すみやかにトヨタ販売店に連絡してください。（→ P.73）

## スロープについて



### スロープの引き出し・格納ができない

- スロープの引き出しレール部に異物がないか確認し、異物があるときは清掃してください。（→ P.122）



### スロープの前倒れ・起立ができない

- スロープを前倒れにするときは左右の操作レバーを操作してください。（→ P.79）
- スロープを起こすときは右の操作レバーだけを操作してください。（→ P.79）

## 車いすの車内への乗り入れについて （セーフティベルト／車いす固定装置）



### 後退防止スイッチ・車いす固定装置スイッチの「解除」を押してもフックが引き出せない

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.60）



### 車いす乗車の方の足や車いすが、他の乗員やスロープにあたる

- お使いの車いすが乗車可能な車いすかどうか確認してください。（→ P.55～58）
- 2列目位置乗り入れ時、車いすの種類・運転席側セカンドシートの状態に合ったセーフティベルトガイドを使用していますか？（→ P.85）
- 車いすを所定の位置まで乗り込ませましたか？（2列目位置→ P.87 / 1.5列目位置→ P.100）
- セーフティベルトのたるみを取りましたか？（→ P.87）
- 車いすが左右傾いて固定されていませんか？（→ P.92）



### 車いすを車内に乗り入れたあと、車いすが下がってしまう

- 車いすのブレーキは両輪ともかけられていますか？  
（2列目位置→ P.89 / 1.5列目位置→ P.101）
- 作動条件をすべて満たした状態で後退防止スイッチの「解除」が押されていませんか？（→ P.91）
- 作動条件をすべて満たした状態で車いす固定装置スイッチの「解除」が押されていませんか？（2列目位置→ P.90 / 1.5列目位置→ P.104）



### 車いす固定装置が作動しない

- 作動条件をすべて満たしていますか？（→ P.60）



### 車いす固定装置スイッチの「固定」を押しても車いすが固定されない・「解除」を押しても車いすの固定が解除されない

- 車いす固定装置の作動が完了するまで「固定」・「解除」を押し続けましたか？（2列目位置→ P.88, 90 / 1.5列目位置→ P.103, 104）



### セーフティベルトが巻き取れない

- セーフティベルトがねじれていませんか？（→ P.93）
- セーフティベルトが汚れていませんか？（→ P.93）
- ベルトに雪や雨などが付着したり、ベルトが凍結していませんか？  
（→ P.137）



**故障かな？と思ったら****装置が作動しない**

- 各装置ごとの作動条件を確認してください。（→ P.60）

**夜間照明灯が点灯しない**

- バックドアは開いていますか？（→ P.45）

**トラブルが発生した****車高降下装置が作動しない**

- P.136のことを確認してください。  
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

**セーフティベルトが引き出せない・後退防止作動しない**

- P.137のことを確認してください。  
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

**車いす固定装置が作動しない**

- P.138のことを確認してください。  
作動条件およびヒューズの確認をしても作動しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## 五十音順さくいん

## あ

- 安全なドライブのために  
 車いすの固定およびシート  
 ベルトの着用について ..... 21  
 車いすの車内外への  
 乗降について ..... 14  
 車両火災・故障・損傷を  
 防ぐために ..... 24

## い

- 1.5 列目位置への乗降・固定  
 固定解除・車外への降車 ..... 104  
 車内に乗り入れる前に ..... 99  
 車内への乗り入れ・固定 ..... 100  
 操作前確認 ..... 99  
 乗り入れ位置 ..... 100

## う

- 運転席側セカンドシート乗車時 .... 25

## え

- エアサスペンション ..... 70, 75  
 オートレベリング機能 ..... 73

## お

- お手入れのしかた  
 車いす固定装置の清掃 ..... 125  
 手動スロープの清掃 ..... 122  
 ベルトの清掃 ..... 124

## か

- ガレージジャッキ ..... 126

## き

- 緊急時の対処法  
 けん引されるとき ..... 139

## く

- 車いす  
 車いす乗車の目安 ..... 55  
 車いすのタイヤ空気圧 ..... 54  
 重量 ..... 54  
 乗車可能な車いす ..... 55

## 車いす固定装置

- 1.5 列目位置 ..... 101, 105  
 作動しないとき ..... 138  
 作動条件 ..... 60  
 清掃 ..... 125  
 2 列目位置 ..... 88, 90

## 車いす固定装置スイッチ

- 1.5 列目位置 ..... 103, 104  
 2 列目位置 ..... 88, 90

## 車いす固定目安線 ..... 87

## 車いすの上手な乗車・

- 降車方法のポイント ..... 92

## 車いす誘導線 ..... 87

## 車いす用シートベルト

- 1.5 列目位置での着用 ..... 115  
 1.5 列目位置でのはずし方 ..... 118  
 構成 ..... 111  
 シートベルトリルータ ..... 113  
 清掃 ..... 124  
 2 列目位置での着用 ..... 112  
 2 列目位置でのはずし方 ..... 117

## け

- けん引されるとき ..... 139

## こ

後退防止スイッチ	
解除 .....	83, 91
作動 .....	86
作動条件 .....	60
故障かな?とお考えになる前に	
車いす固定装置が	
作動しないとき .....	138
車高降下装置が	
作動しないとき .....	136
セーフティベルトが引き出せない・	
後退防止作動しないとき .....	137
ヒューズの交換 .....	133

## さ

作動条件 .....	60
サポートバー	
車いすへのかけ方 .....	102
取り付け .....	106
取りはずし .....	99

## し

シート	
シートの構成および	
標準車との相違点 .....	28
専用助手席シート	
(タイプII) .....	30
専用セカンドシート .....	36
シートベルト	
1.5 列目位置 .....	115
構成 .....	111
シートベルトリルータ .....	113
清掃 .....	124
2 列目位置 .....	112

## 室内装備

収納装備一覧 .....	46
ハンドグリップ .....	44
夜間照明灯 .....	45
室内レイアウト .....	50 ~ 52
締め付けトルク基準値 .....	144
車高降下装置	
作動しないとき .....	136
作動条件 .....	60
車高降下 .....	70
車高降下を途中でやめるとき ..	70
車高調整インジケーター .....	70
車高調整スイッチ .....	70, 71
車高復帰 .....	71
操作前確認 .....	70
車高降下装置異常ランプ .....	73
車高調整スイッチ .....	70, 71
車高復帰忘れ防止機能 .....	72
ジャッキ	
収納 .....	132
取り出し .....	131
ジャッキアタッチメント	
使用後 .....	127
セット .....	127
取り出し .....	126
収納装備一覧	
停止表示板収納スペース .....	47
ボトルホルダー .....	46
乗車可能な車いす .....	55
乗車できないレイアウト .....	51, 52
消耗部品 .....	144
助手席回転チルトシート	
車いす乗車の方との同乗 .....	53
使用方法 .....	※
操作をするときは .....	53

※：助手席回転チルトシートの使用方法は、別冊「ウェルキャブ 助手席回転チルトシート車取扱書」を参照してください。

## す

スマートエントリー& スタートシステムについて .....	54
スロープ (手動スロープ)	
内幅 .....	54
格納 .....	77
使用前の準備 .....	60
清掃 .....	122
耐荷重 .....	54
展開 .....	76
前倒れ機能 .....	78
ロック解除レバー .....	76
スロープを使用する前に	
内幅 .....	54
車いす乗車の目安 .....	55
車いすのタイヤ空気圧 .....	54
ご使用前に確認して	
いただきたいこと .....	50
室内レイアウト .....	50 ~ 52
重量 .....	54
スマートエントリー& スタートシステム .....	54
乗車可能な車いす .....	55
路面 .....	54

## せ

セーフティベルト	
仮置きボックス .....	91
車外への降車 .....	90
車内への乗り入れ .....	84
手動での引き出し .....	86
乗車・降車方法のポイント .....	92
清掃 .....	124
引き出せない・後退防止作動 しないとき .....	137
セーフティベルトガイド .....	85, 92
専用助手席シート (タイプII)	
折りたたみ .....	31
調整 .....	30
ヘッドレスト .....	30
専用セカンドシート	
ISOFIX ロアアンカレッジ .....	41
折りたたみ .....	37
調整 .....	36
トップテザーアンカレッジ .....	41
ヘッドレスト .....	36

## そ

操作の流れ	
1.5 列目位置への乗降・固定 (タイプII) .....	66
2 列目位置への乗降・固定 .....	62

## て

定期点検整備記録簿 .....	巻末
停止表示板収納スペース .....	47
点検・整備項目	
締め付けトルク基準値 .....	144
消耗部品 .....	144
定期点検整備 .....	142

## に

2 列目位置への乗降・固定	
車いすの上手な乗車・	
降車方法のポイント.....	92
固定解除・車外への降車.....	90
車内に乗り入れる前に.....	83
車内への乗り入れ・固定.....	84
乗り入れ位置.....	87
走行する前に.....	120
操作前確認.....	83

## は

パンクしたとき	
ジャッキ.....	131
タイヤパンク	
応急修理キット.....	130
ハンドグリップ.....	44

## ひ

ヒューズ	
エンジンルーム内	
ヒューズボックス.....	134
助手席側ヒューズボックス....	133

## ふ

フロント固定ベルト..	99, 102, 104
-------------	--------------

## へ

ヘッドランプ光軸切りかえ.....	74
ベルトの清掃.....	124

## ほ

ボトルホルダー.....	46
--------------	----

## ま

万一の場合には	
緊急時の対処法.....	139
故障かな？と	
お考えになる前に.....	133
パンクしたときは.....	130

## や

夜間照明灯.....	45
------------	----



お問い合わせ、ご相談は  
下記へお願いいたします。

**トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター**  
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を  
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、  
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、  
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載して  
おります。

**トヨタ自動車株式会社**  
<http://toyota.jp>



M 52J82

01999-52J82

NAT-2018年9月4日

2018年9月11日 初版

シエンタ

車いす仕様車(スロープタイプ)